

令和2年度

男女共同参画に関する市民意識調査

報 告 書

令和 2 年11月調査

大分市 男女共同参画センター



## < 目 次 >

調査の概要.....	1
あなたご自身のことについて.....	2
1. 男女平等に関する意識について.....	6
2. 政策・方針決定の場への女性の参画について.....	17
3. 仕事と家庭生活等の両立について.....	19
4. 子育て・介護について.....	29
5. ハラスメントについて.....	34
6. ドメスティック・バイオレンス（DV）について.....	38
7. メディアでの表現について.....	44
8. 男女共同参画に関する施策などについて.....	46
9. 男女共同参画および女性問題等に対するご意見.....	53

# 調査の概要

## 1. 調査の目的

第3次おおいた男女共同参画推進プラン（平成29年度～令和3年度）の期間満了に伴う次期プラン策定の基礎資料とするとともに、市民の男女共同参画に関する意識啓発を行うことを目的とする。

## 2. 調査対象者

住民票登録状況より無作為抽出した大分市内在住の18歳以上の男女各1,500人

## 3. 調査方法

郵送配布

## 4. 回答方法

郵送またはインターネットによる回収

## 5. 調査期間

令和2年11月1日 ～ 令和2年11月30日

## 6. 回収状況

発送数 3,000件

回収数

調査票 566件

インターネット 188件

計 754件

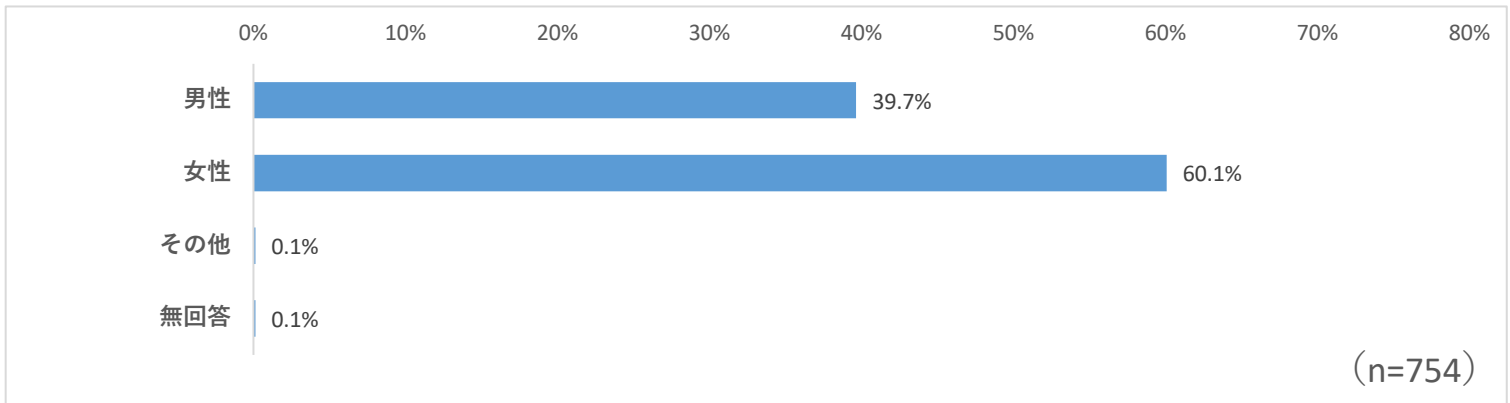
回収率 25.1%

## 7. 調査報告書の読み方

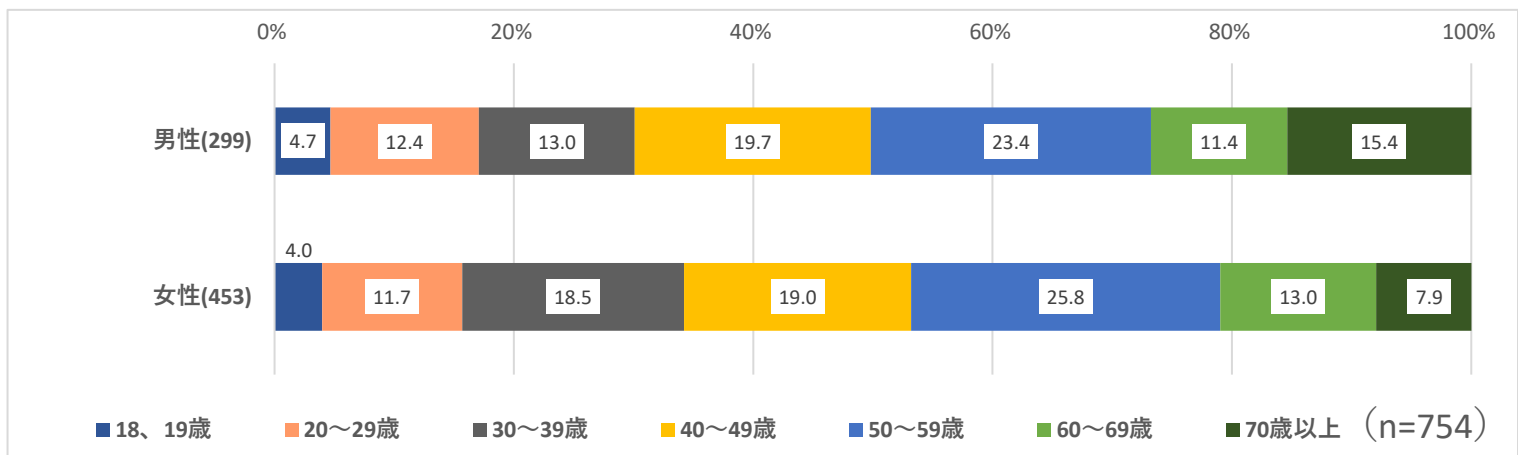
- (1) 調査結果の構成比はすべて百分率(%)で表しており、その質問の回答者総数を基数として、少数第2位以下を四捨五入して算出している。なお、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- (2) 質問項目は回答率(%)で示している。
- (3) 複数回答形式の場合、構成比の合計は通常100%を超える。
- (4) グラフ中の「n」(net)とは、その質問への回答者数を表す。

# あなたご自身のことについて

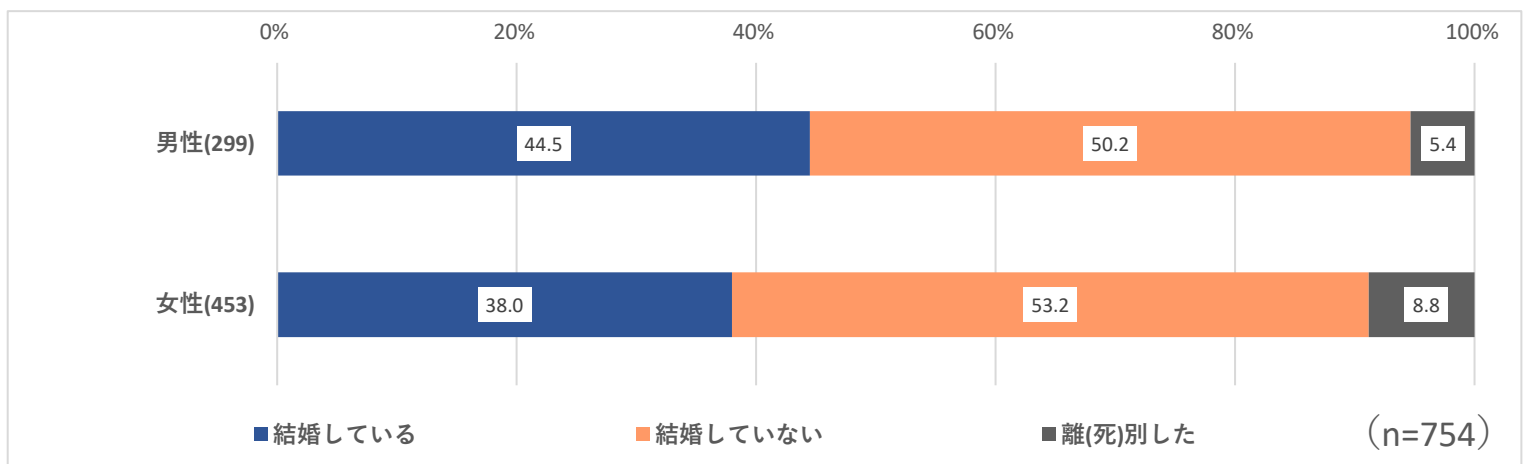
問1. 性別を教えてください。



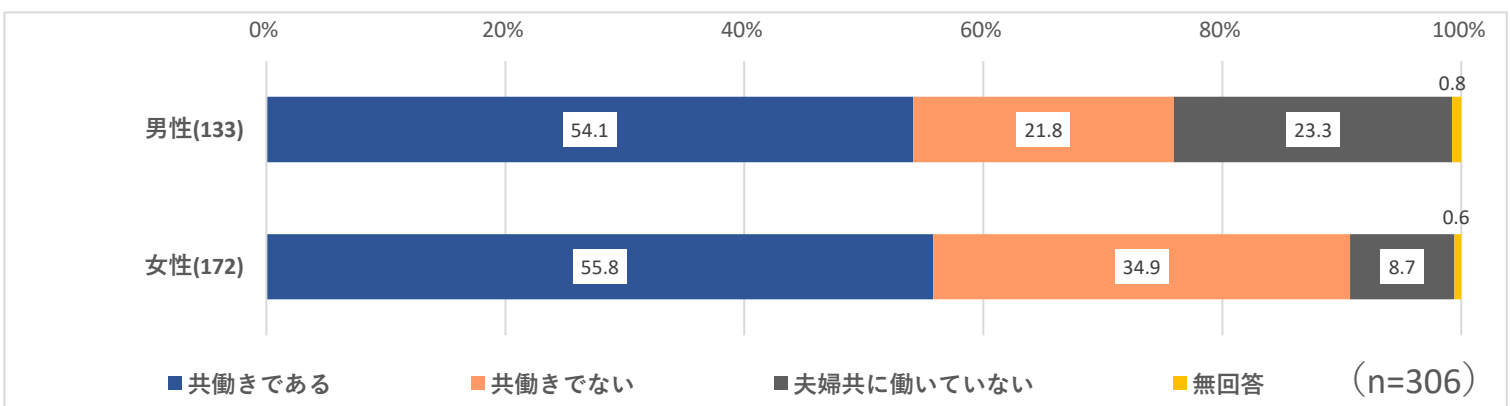
問2. 年齢は次のどれにあたりますか。



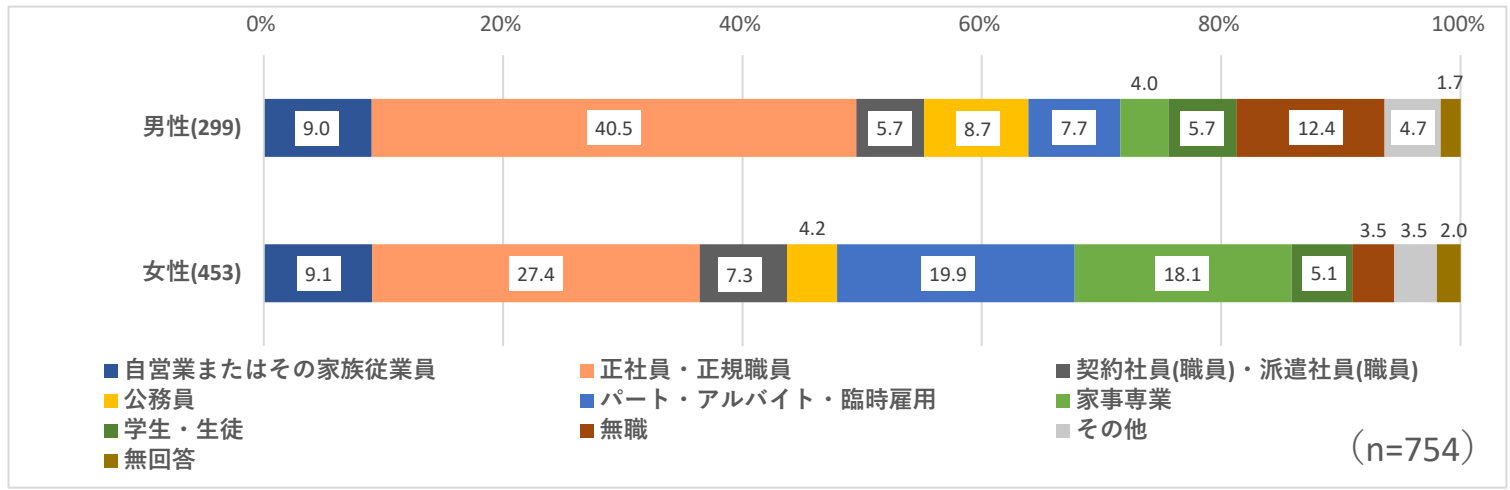
問3. 現在結婚されていますか。(結婚には、事実婚も含みます)



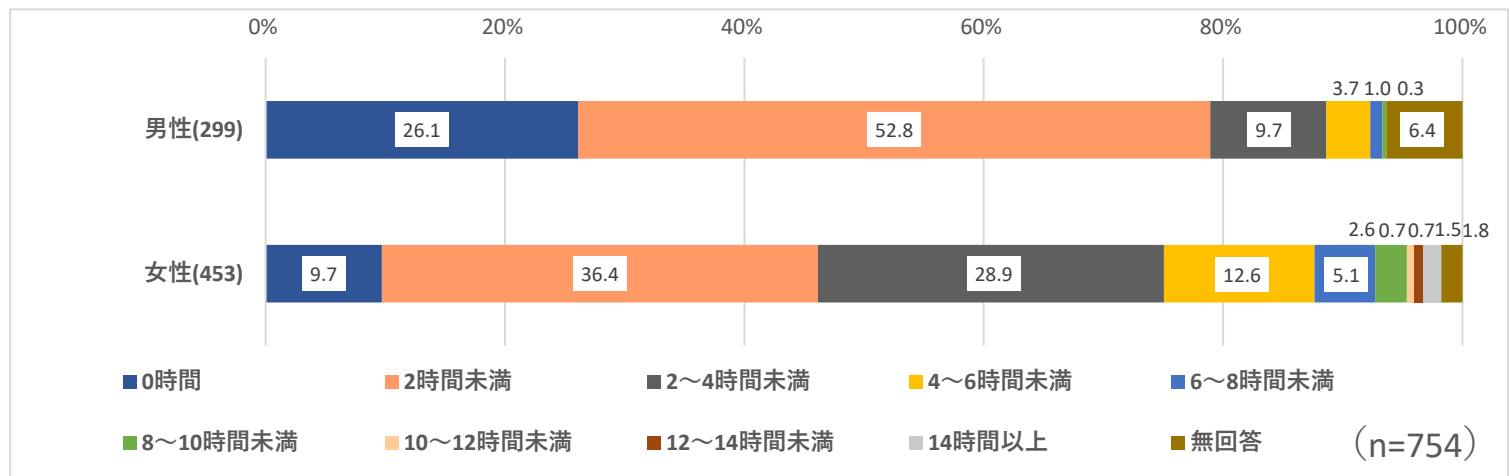
問4. 問3で「結婚している」を選んだ方にお聞きします。  
共働きされていますか。(パート・アルバイト・臨時雇用含む)



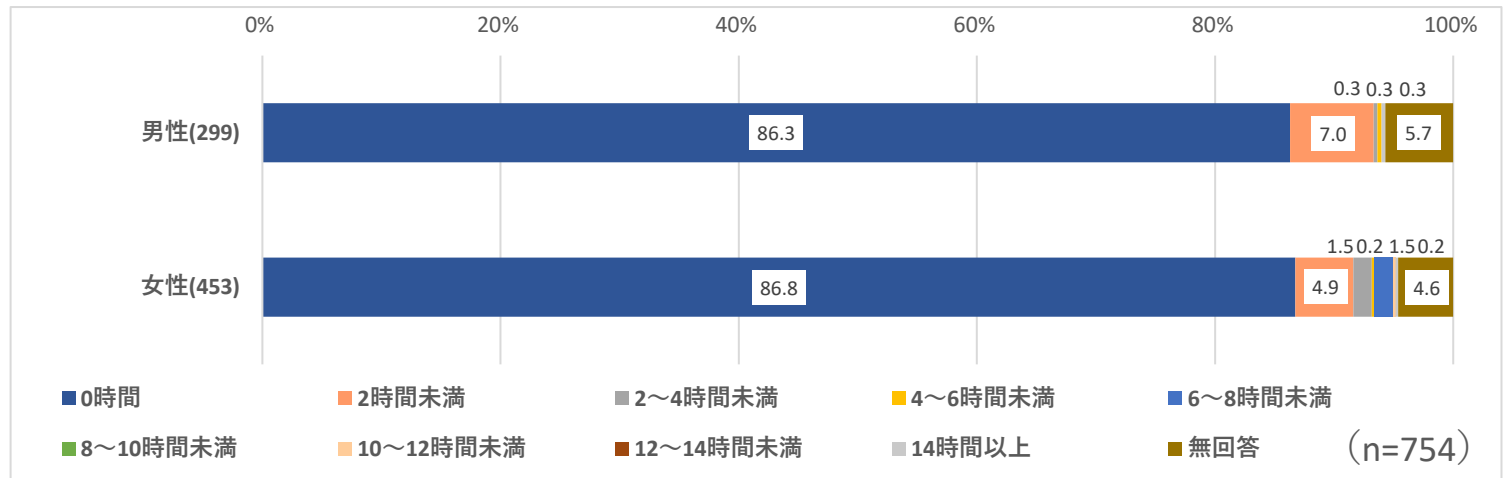
問5. お仕事を教えてください。



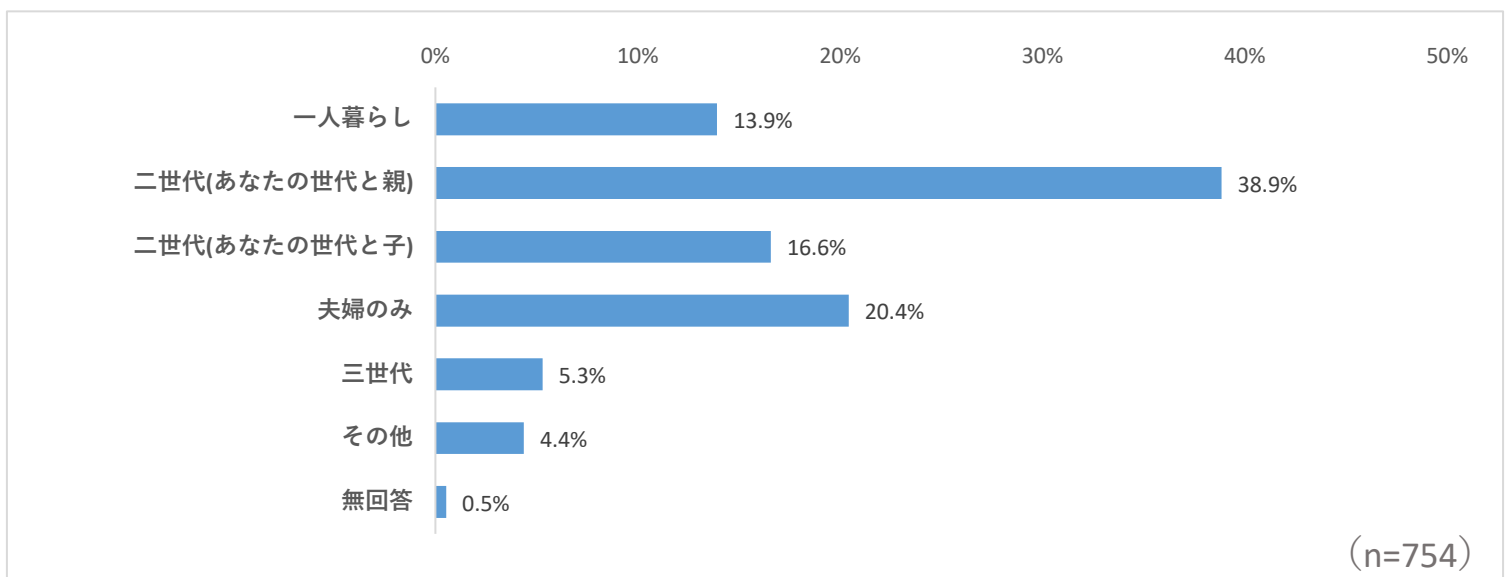
問6. ① 1日の平均家事・育児時間は何時間ですか。



② 1日の平均介護時間は何時間ですか。

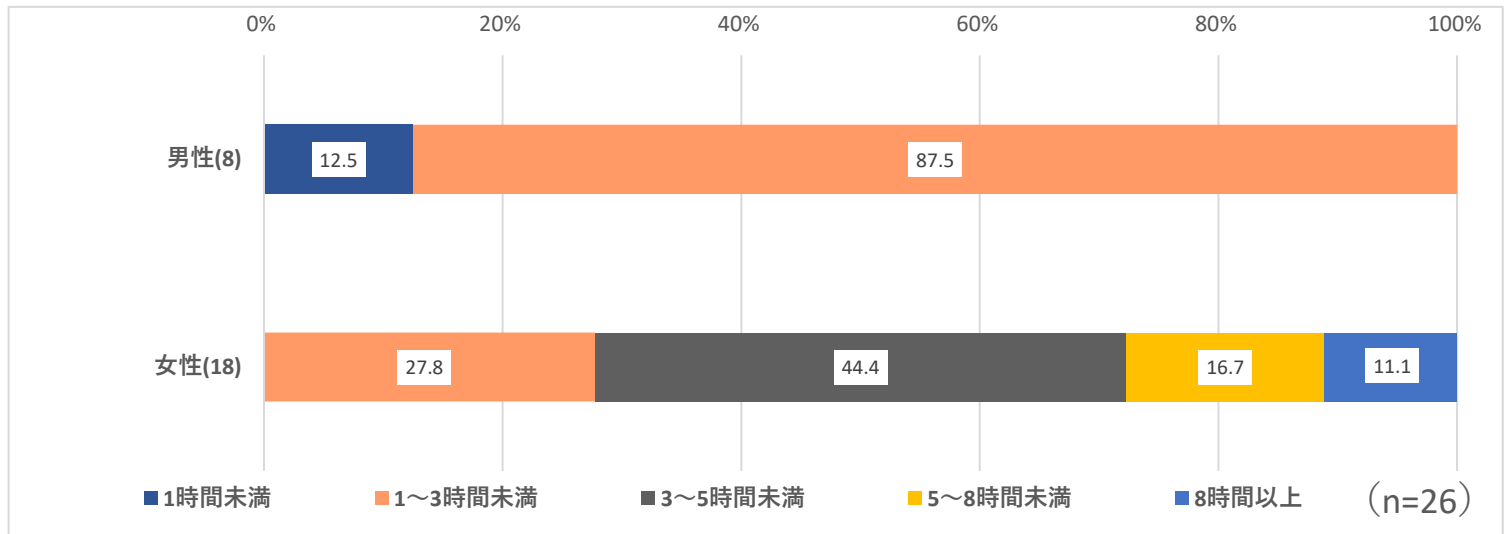


問7. 現在、同居している家族の構成は次のどれにあたりますか。

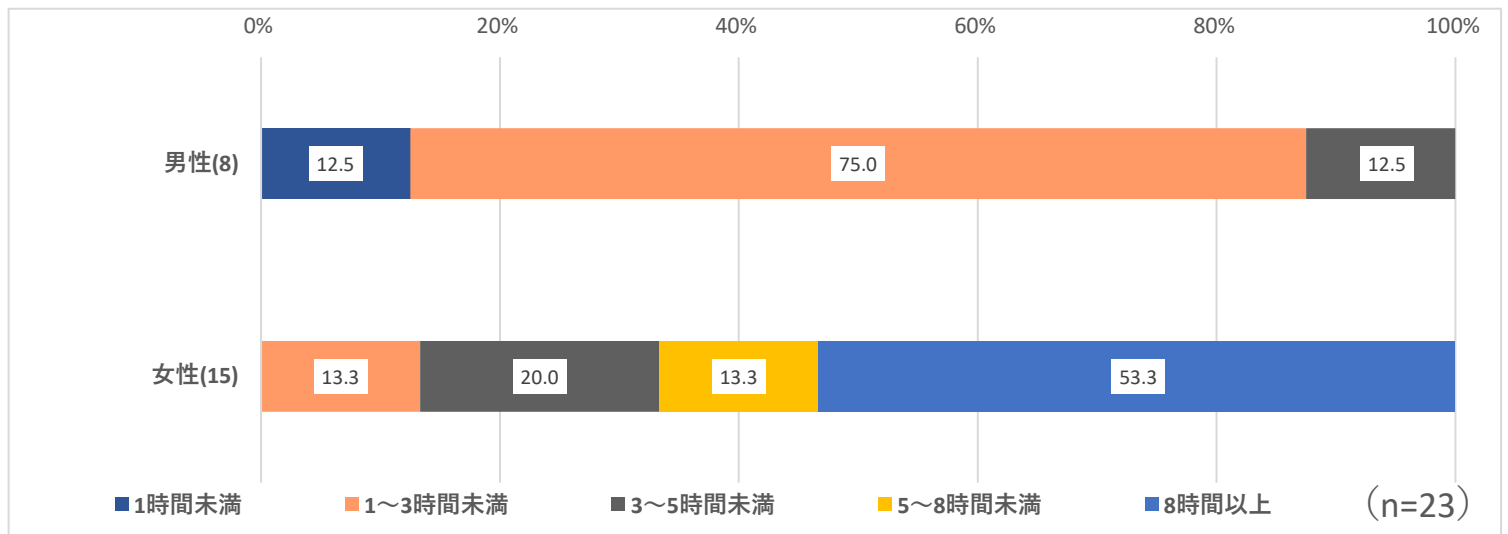


問8. この設問は、6歳未満の子どもがいる方のみお答えください。  
 一日平均どのくらい家事・育児をおこなっていますか。

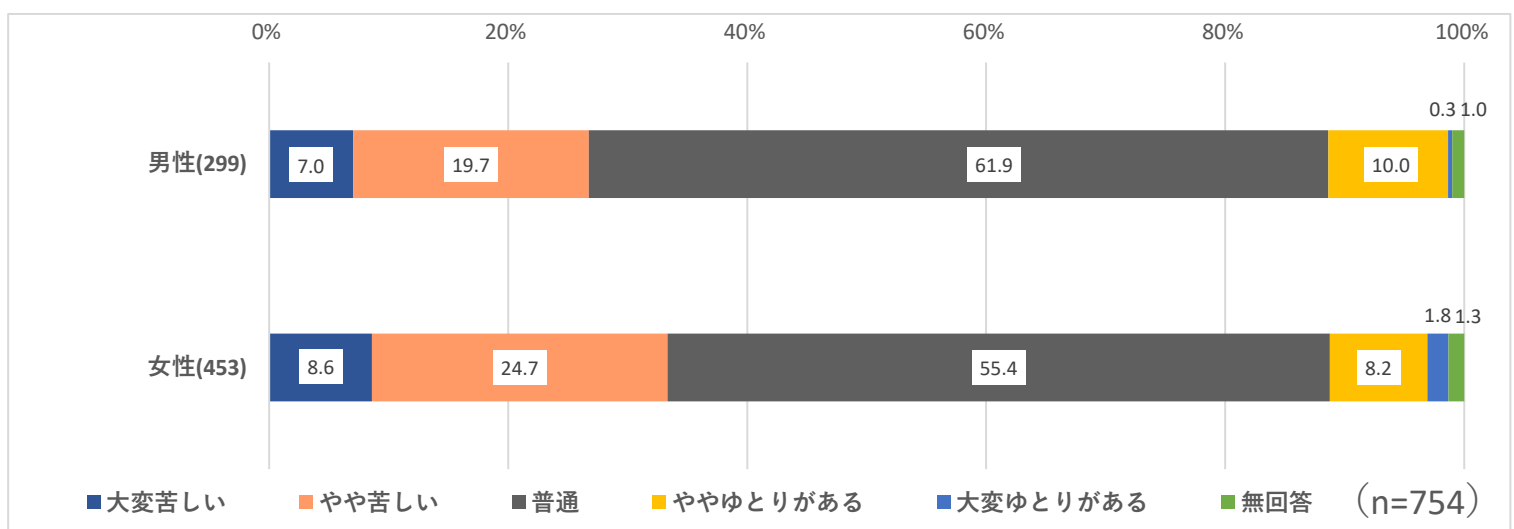
(1) 家事時間



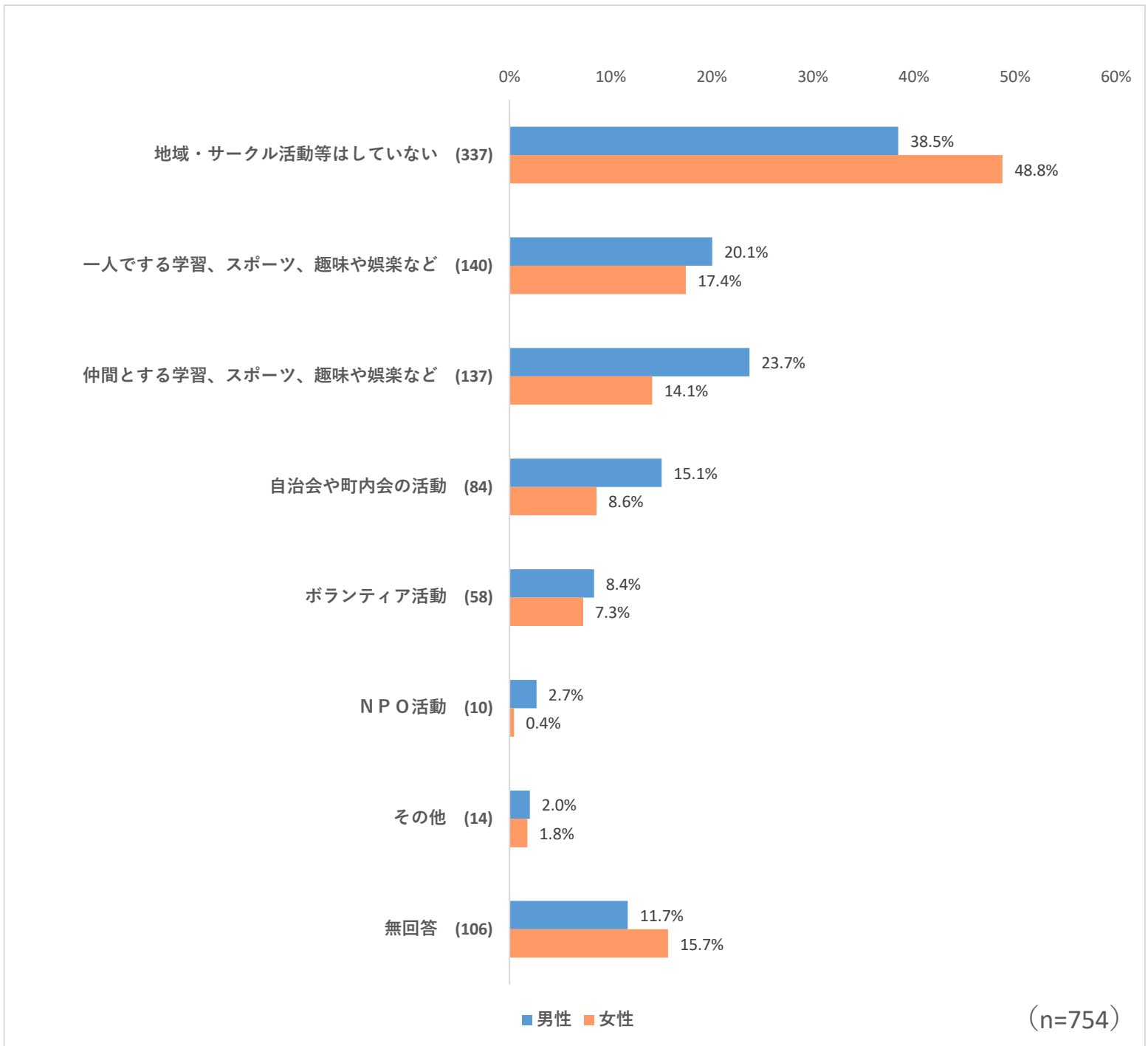
(2) 育児時間



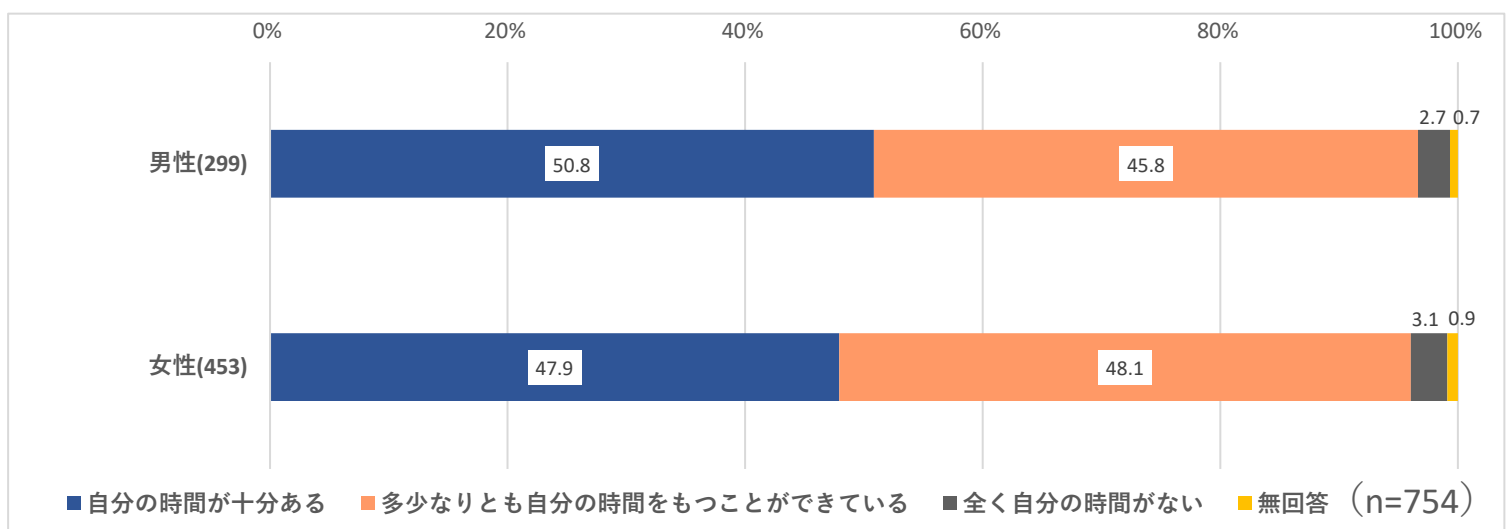
問9. 現在の暮らしの状況はどうか。(○は1つだけ)



問10. 現在、地域・サークル活動等に参加していますか。(○はいくつでも)

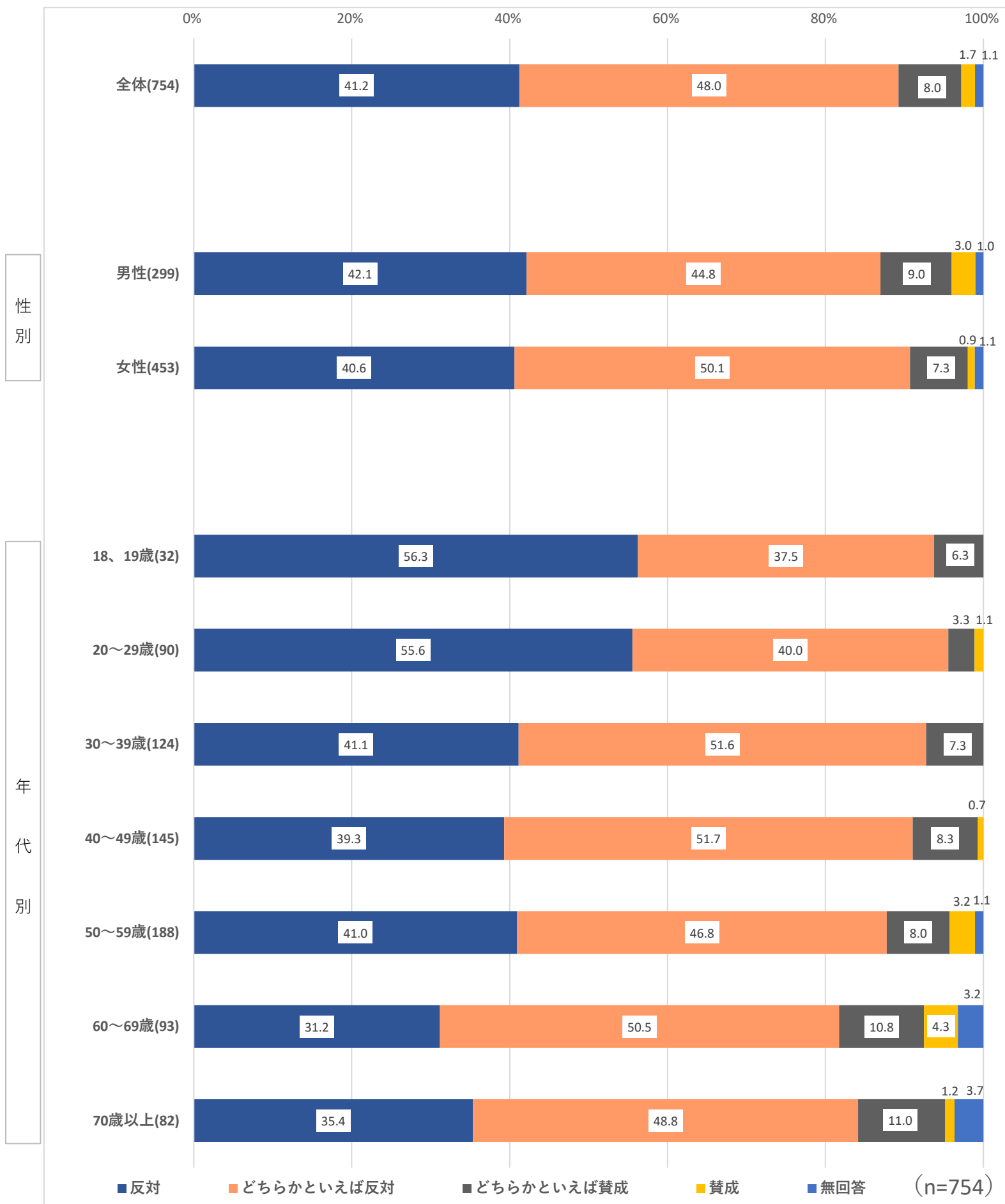


問11. あなた自身の時間を持つことができますか。(○は1つだけ)



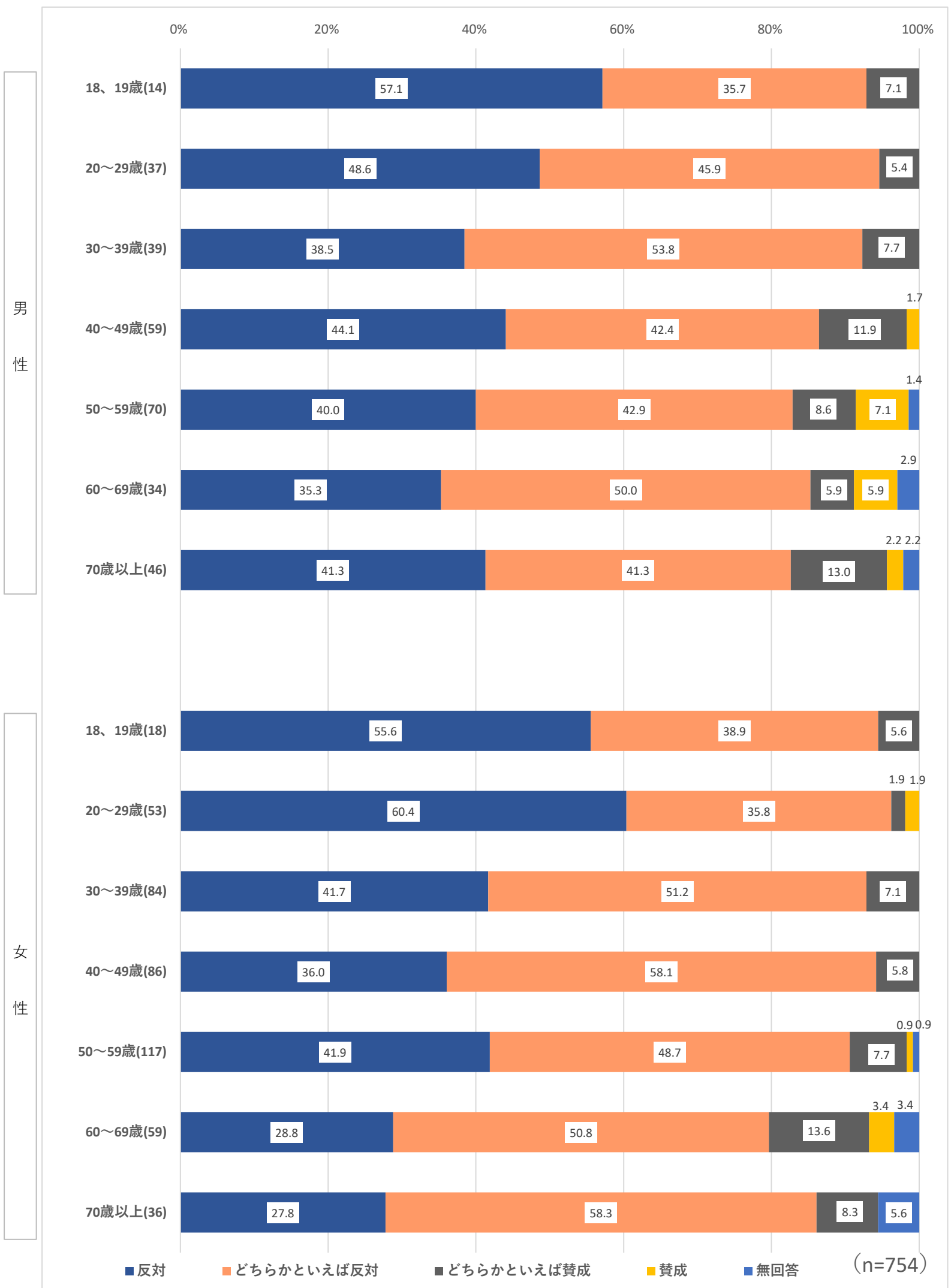
# 1. 男女平等に関する意識について

問 1 2. 「男は仕事、女は家庭」、「男だから…、女だから…」といった性別による役割を固定した考え方(性別による固定的役割分担意識)についてどう思いますか。(○は1つだけ)



- 性別にみると、男女とも「どちらかといえば反対」が最も高くなっているが、男性の44.8%に対し、女性は50.1%と高くなっている。
- 年代別にみると、18、19歳、20～29歳では「反対」が最も高く、30歳以上では「どちらかといえば反対」が最も高くなっている。





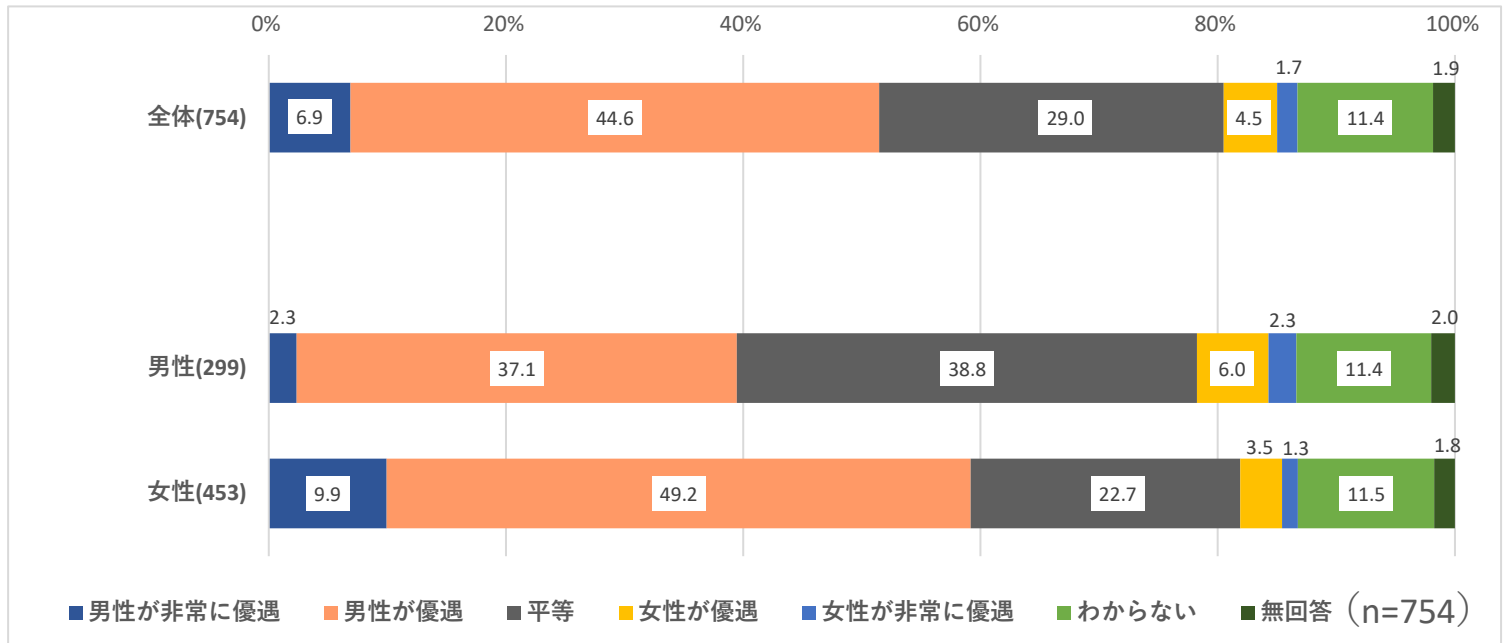
●男女それぞれの年代別で見ると、「反対」「どちらかといえば反対」を合わせるとほぼ全ての世代（60～69歳の女性以外）で80%を超えている。

その反面、「どちらかといえば賛成」「賛成」を合わせた割合は40歳以上の男性、60～69歳の女性で10%を超えている。

問13. 次のいろいろな分野で男女の意識や地位は平等になっていると思いますか。

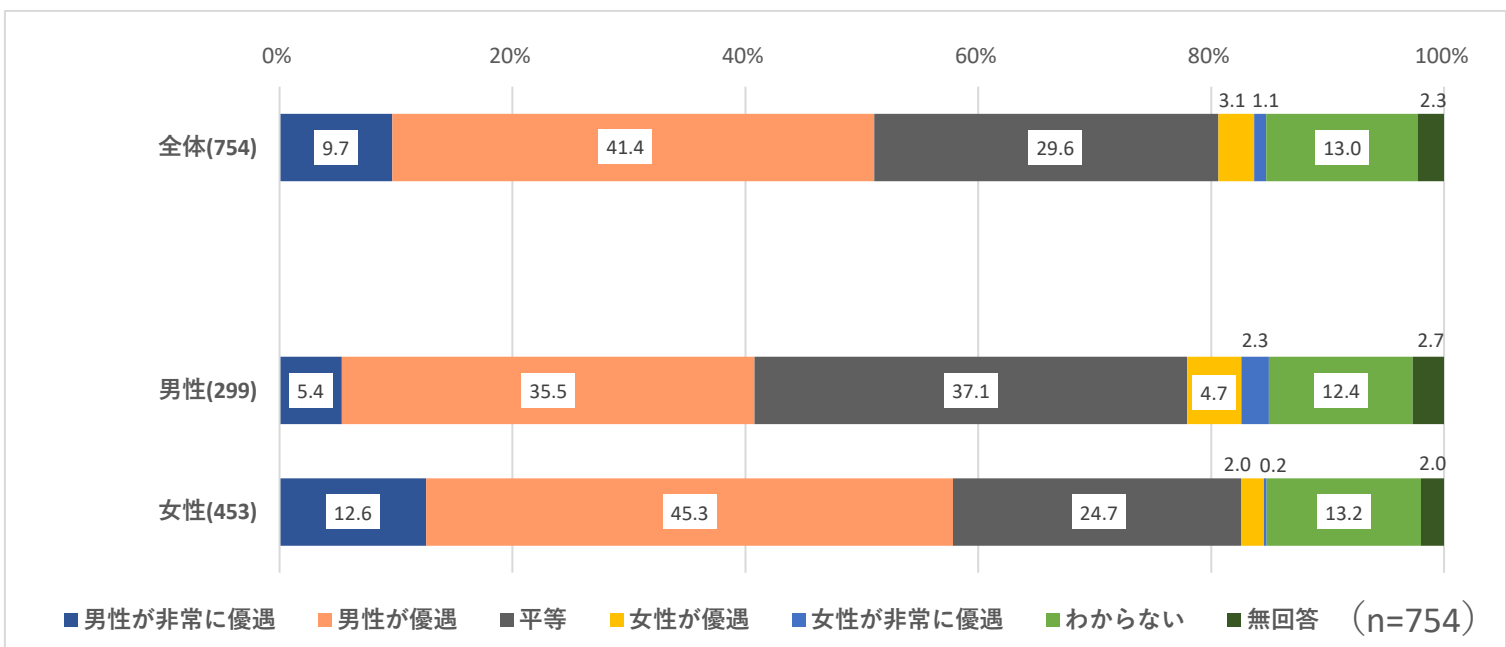
(○はそれぞれ1つつ)

【a. 家庭生活では】



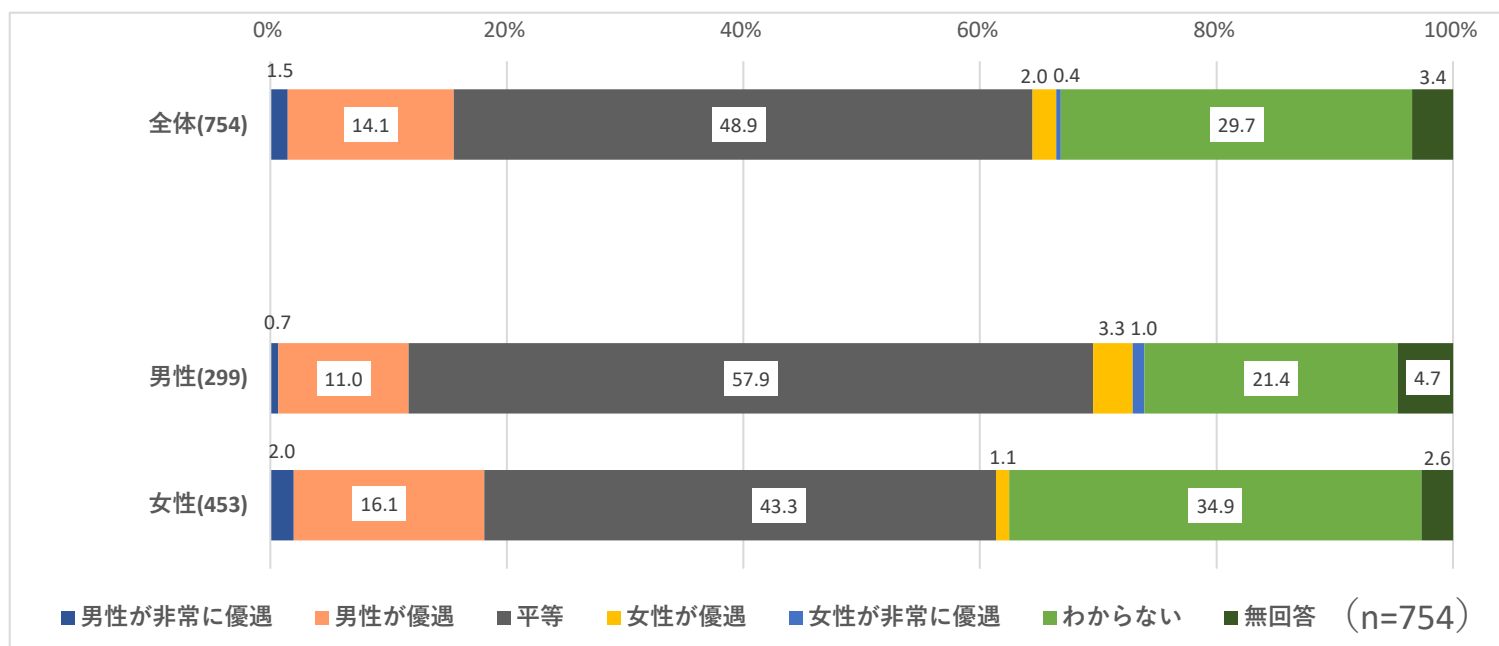
●性別にみると、男性は「平等」が38.8%で最も高くなっているが、女性は「男性が優遇」が49.2%で最も高くなっており、男女間での認識の差が伺える。

【b. 職場では】



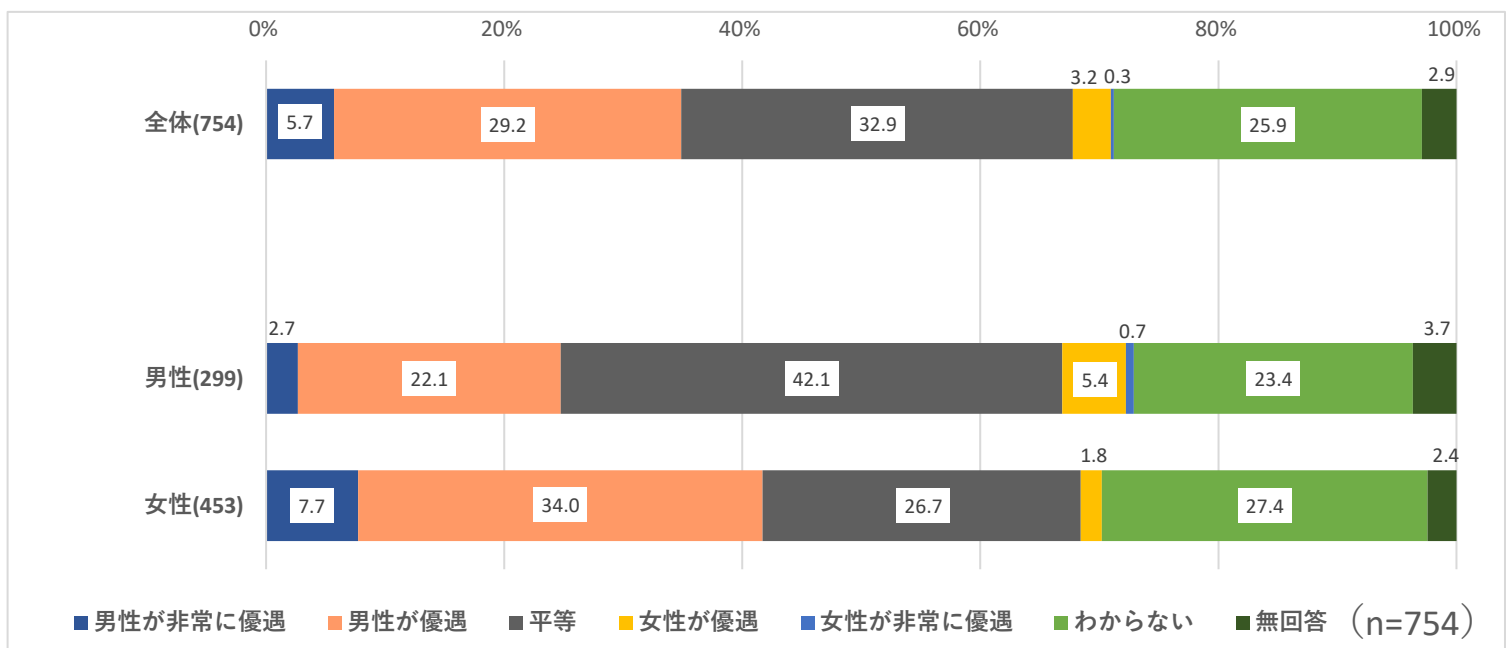
●性別にみると、男性は「平等」が37.1%で最も高くなっているが、女性は「男性が優遇」が45.3%で最も高くなっており、男女間での認識の差が伺える。

【c. 学校教育の場では】



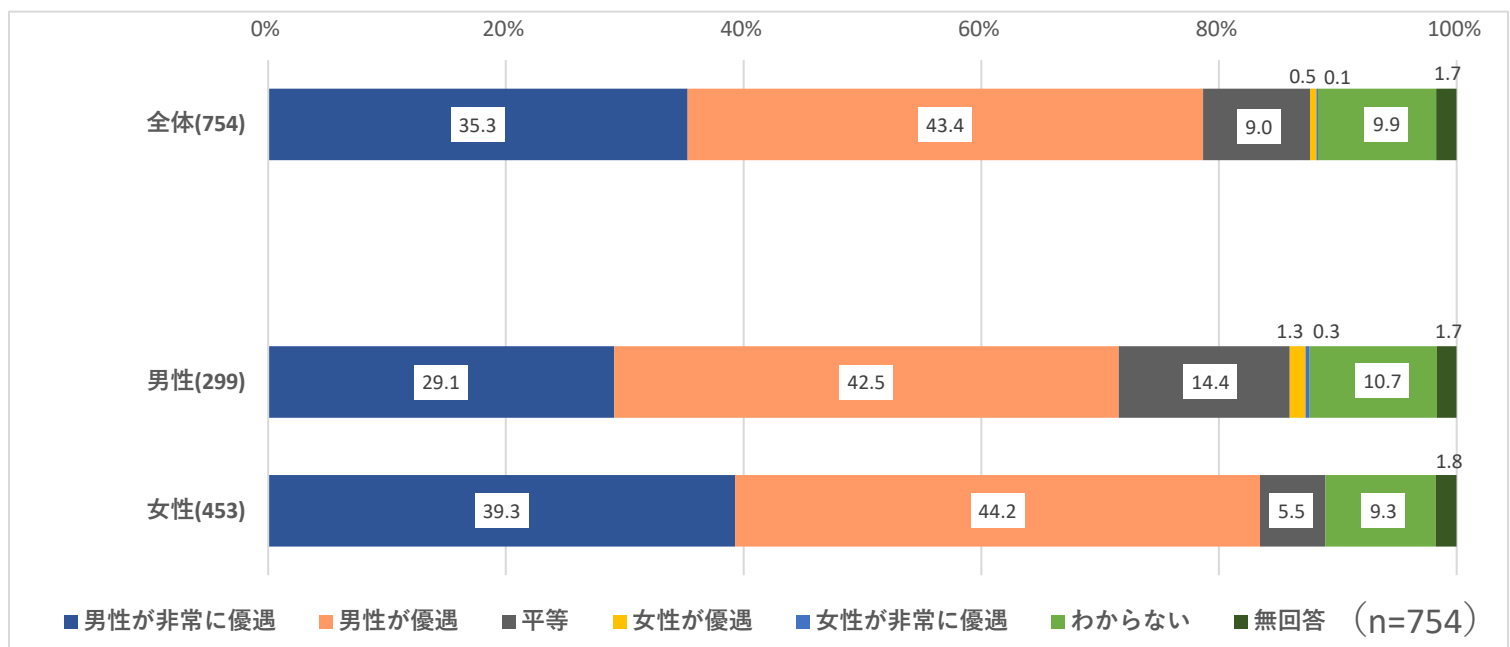
●性別にみると、男女とも「平等」が最も高く、次いで「わからない」が高くなっている。

【d. 地域活動・社会活動の場では】



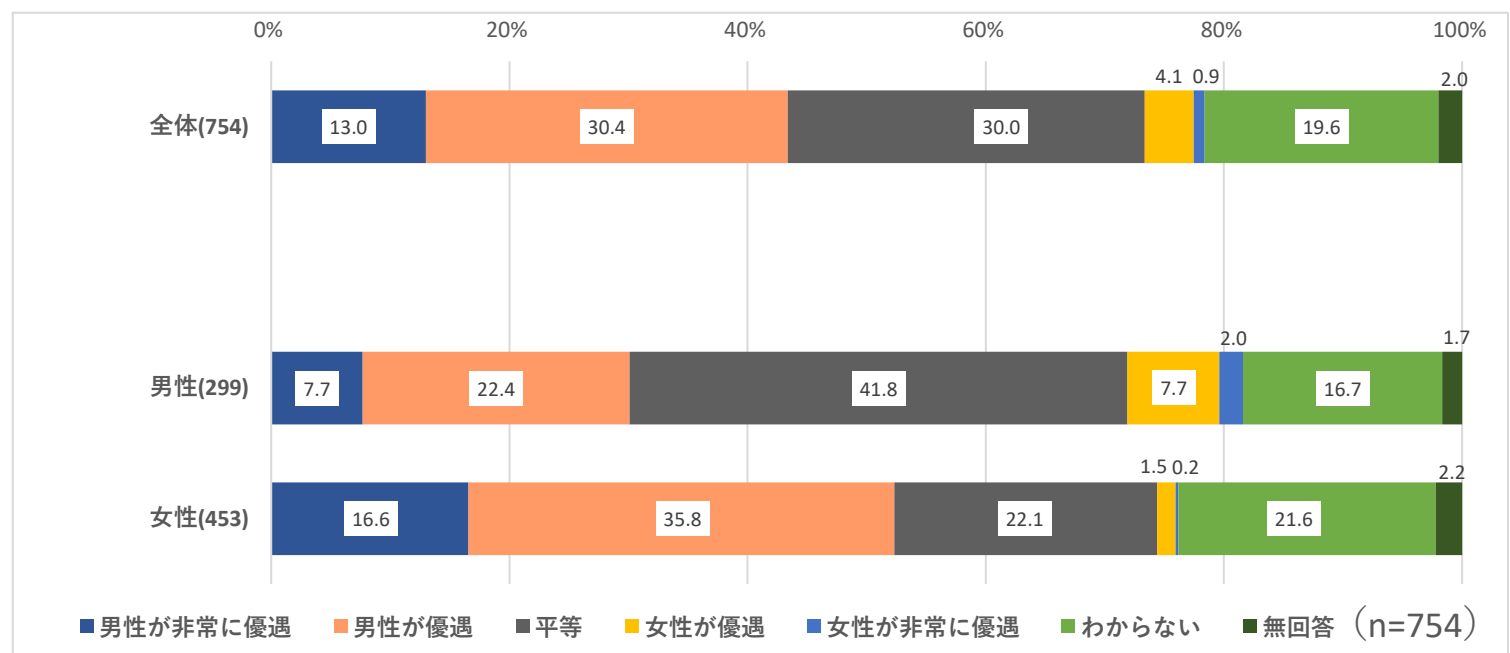
●性別にみると、男性は「平等」が42.1%で最も高くなっているが、女性は「男性が優遇」が34.0%で最も高くなっており、男女間での認識の差が伺える。

### 【e. 政治の場では】



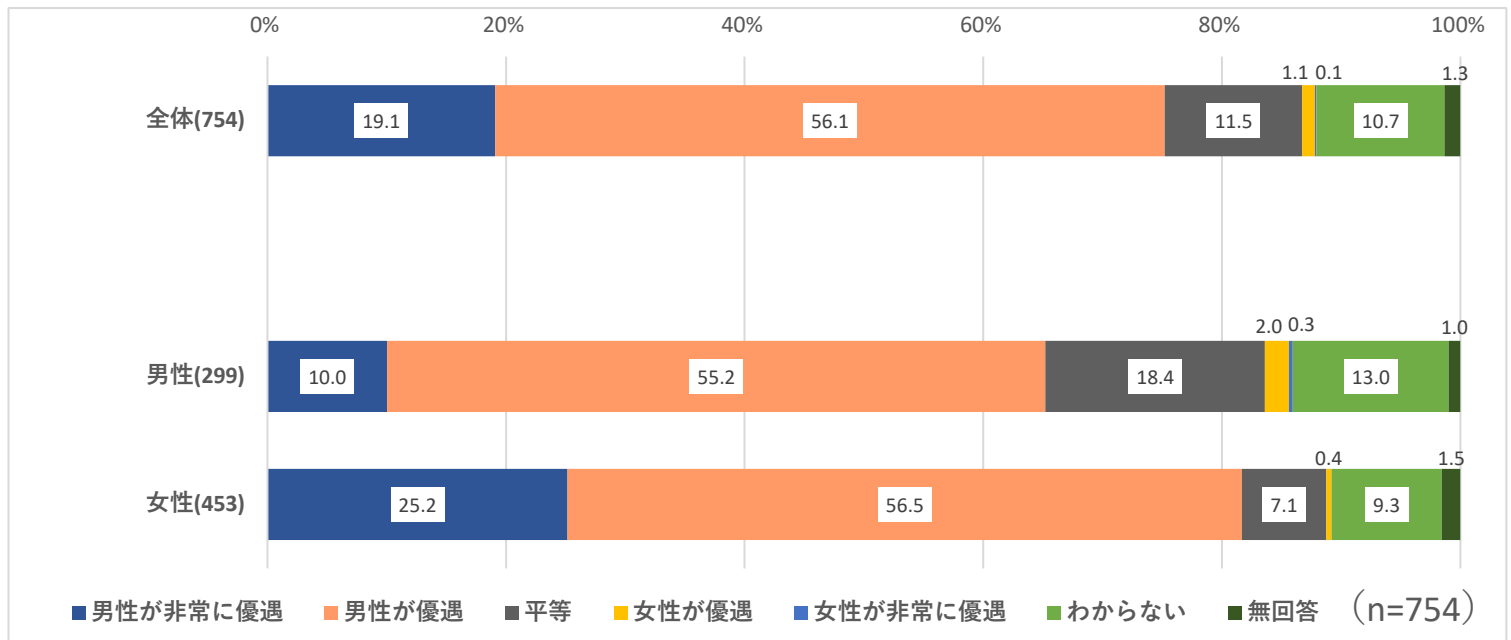
●性別にみると、男女とも「男性が優遇」が最も高くなっている（男性42.5%、女性44.2%）。次いで「男性が非常に優遇」（男性29.1%、女性39.3%）となっている。

### 【f. 法律や制度のうえでは】



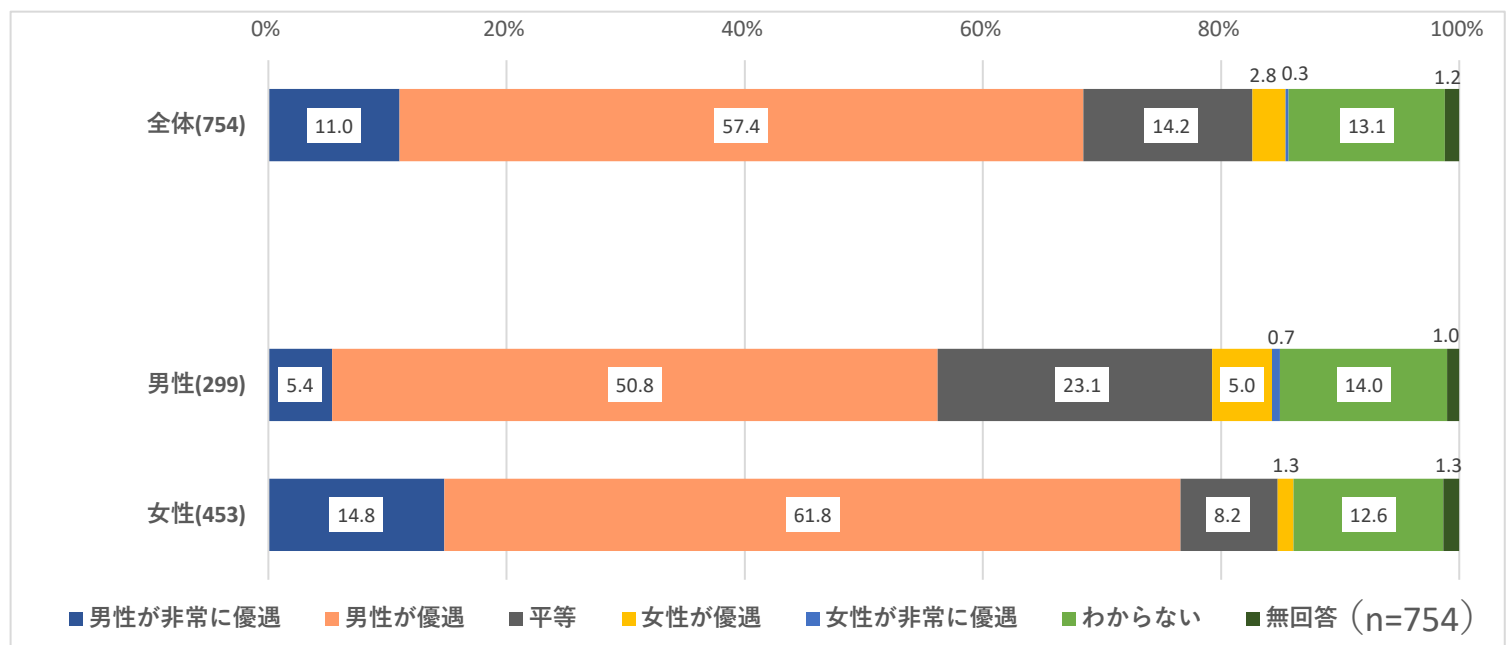
●性別にみると、男性は「平等」が41.8%で最も高くなっているが、女性は「男性が優遇」が35.8%で最も高くなっているおり、男女間での認識の差が伺える。

### 【g. 社会の慣習やしきたりなどでは】



●性別にみると、男女とも「男性が優遇」が最も高く（男性55.2%、女性56.5%）、次いで男性では「平等」（18.4%）となっているが、女性は「男性が非常に優遇」（25.2%）となっている。

### 【h. 社会全体では】

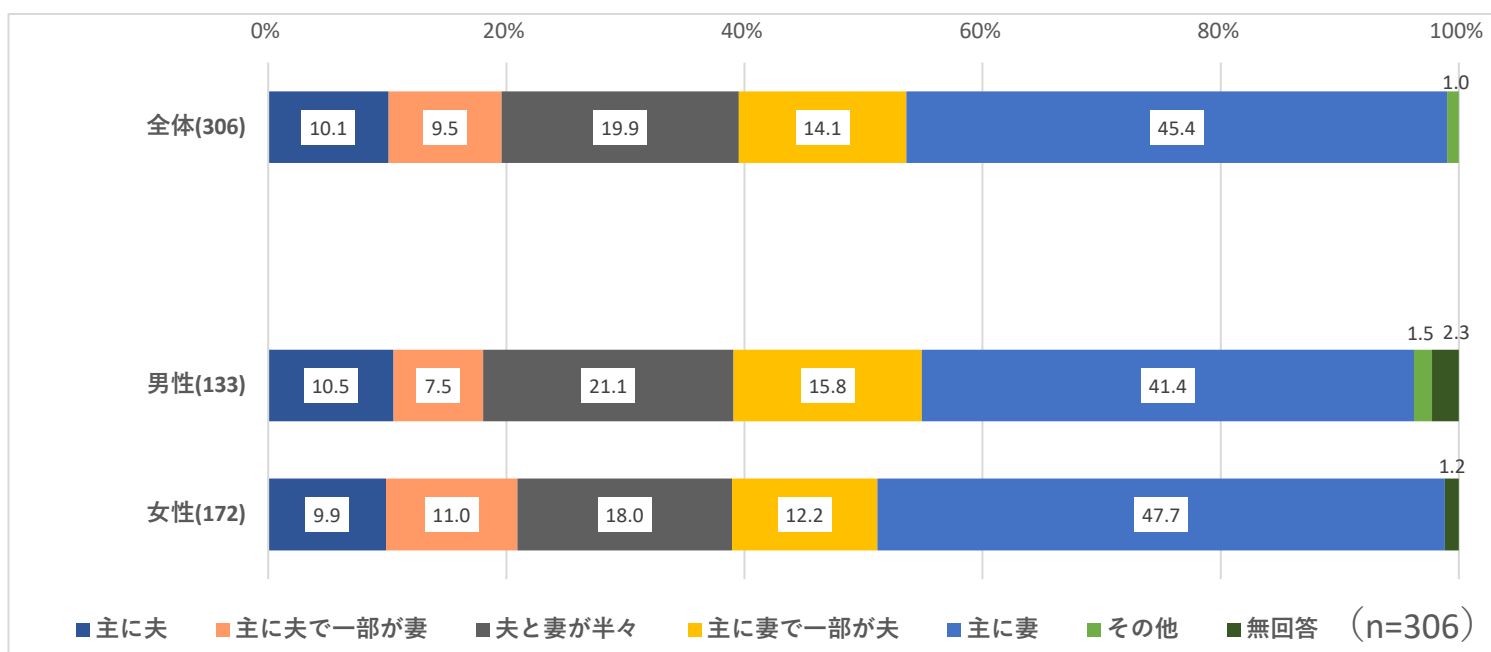


●性別にみると、男女とも「男性が優遇」が最も高く（男性50.8%、女性61.8%）、次いで男性では「平等」（23.1%）となっているが、女性は「男性が非常に優遇」（14.8%）となっている。「男性が優遇」と「男性が非常に優遇」とを合わせた割合は、男性が56.2%に対し、女性は76.6%と高くなっている。

問14. 問3で「結婚している」を選んだ方にお聞きします。

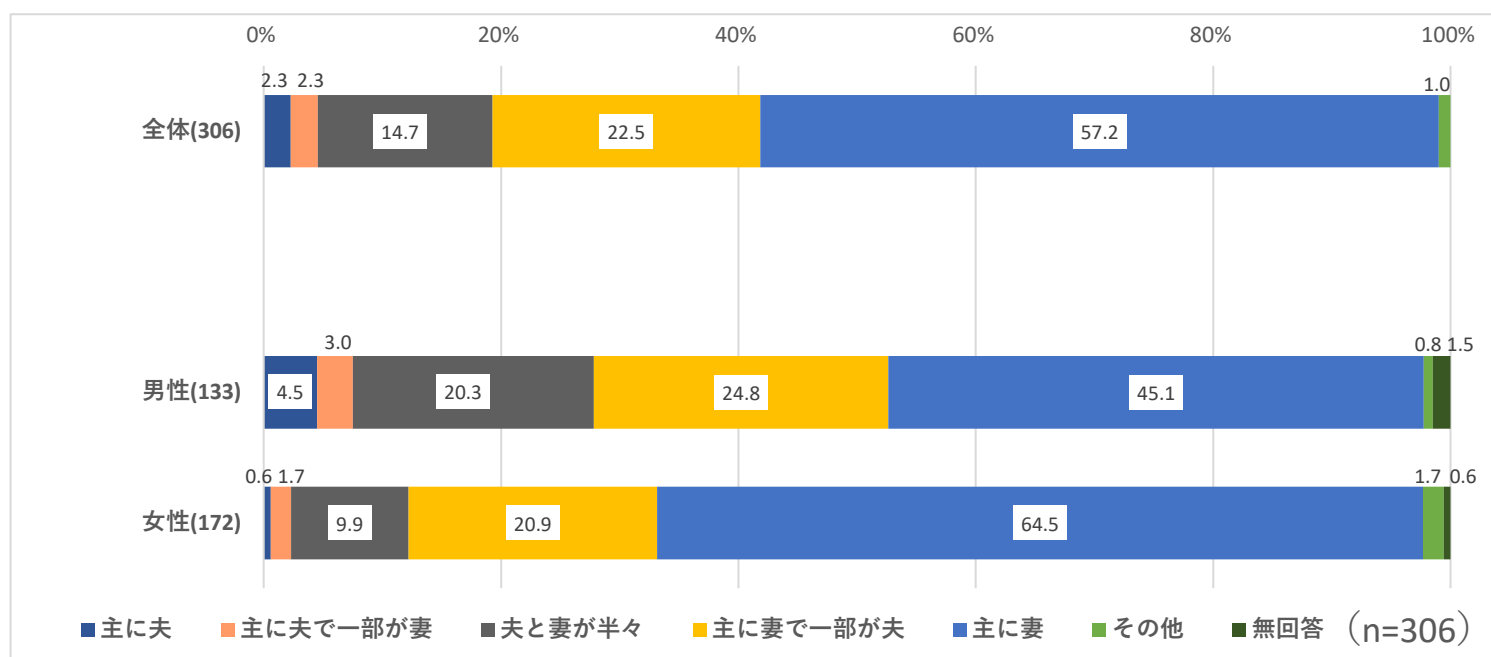
ご家庭で、次にあげる家事等は何が主に行っていますか。(○はそれぞれ1つつ)

【a. 家計の管理】



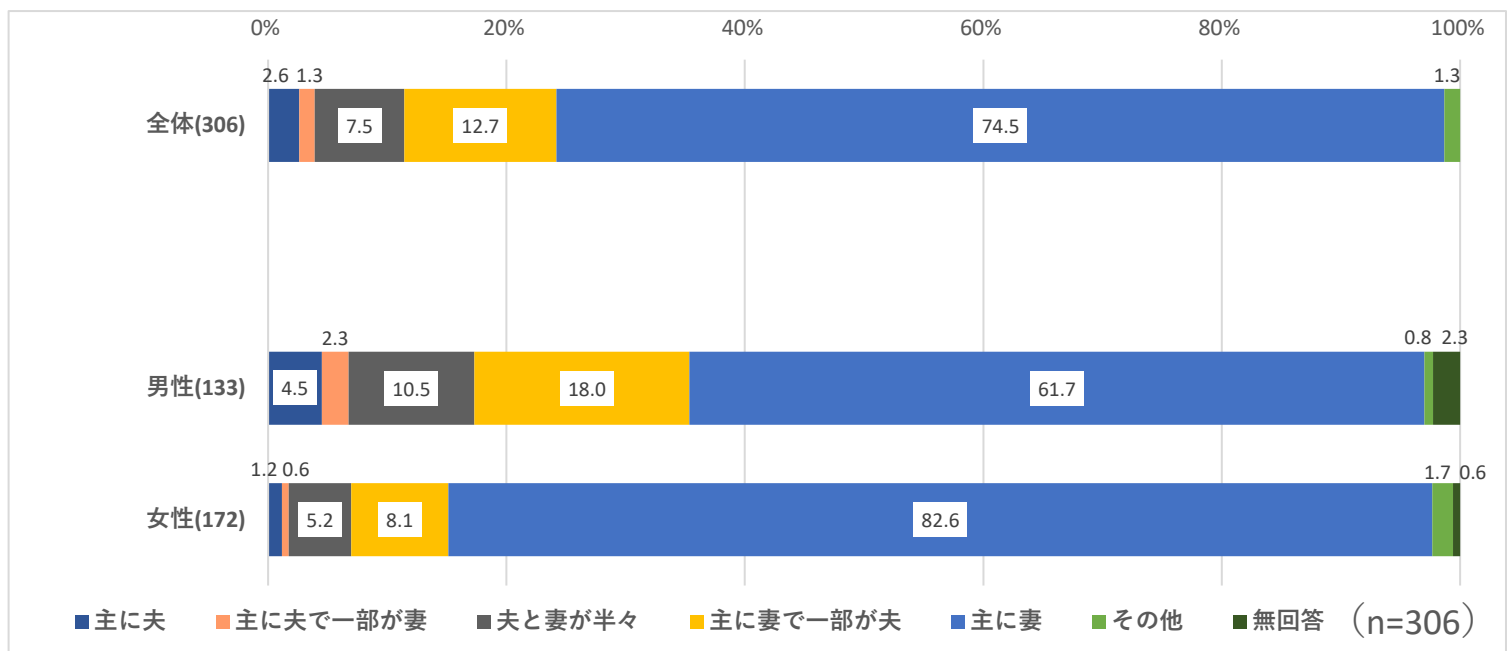
●性別にみると、男女とも「主に妻」が4割以上と最も高く（男性41.4%、女性47.7%）、次いで「夫と妻が半々」、「主に妻で一部が夫」となっている。

【b. 食料品などの買い物】



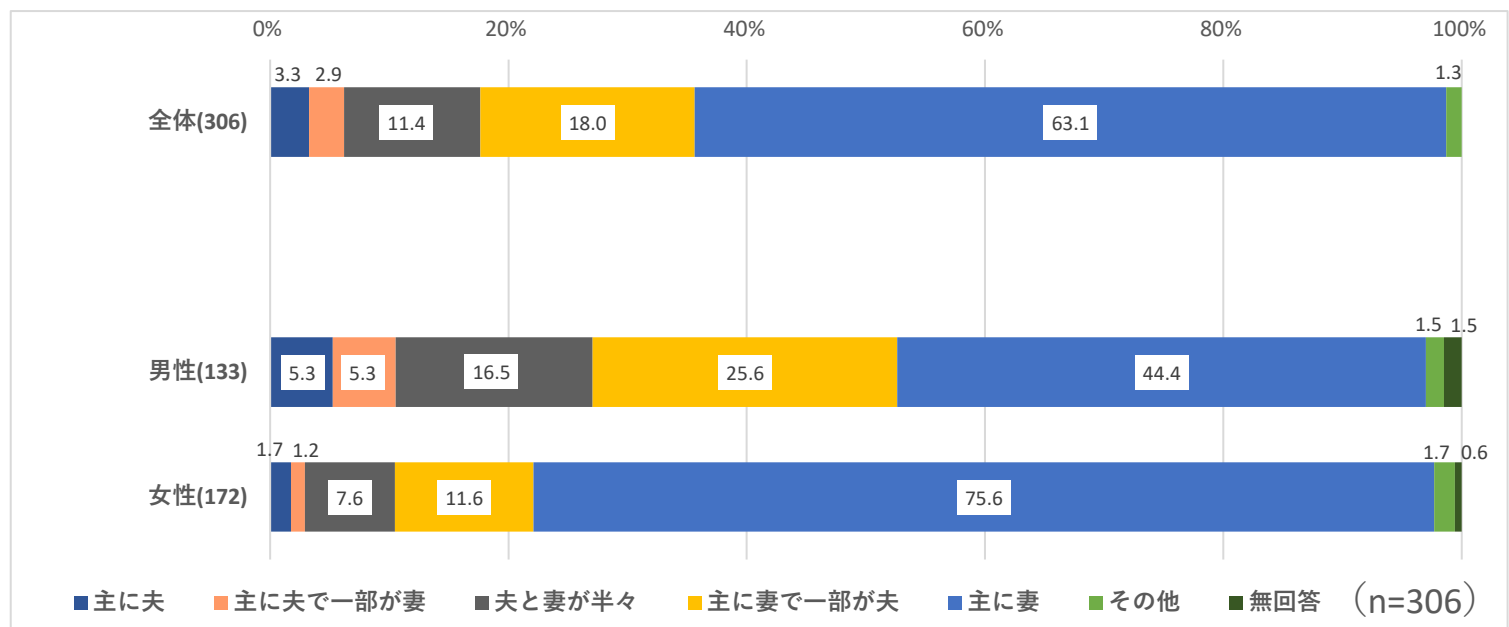
●性別にみると、男女とも「主に妻」が最も高く（男性45.1%、女性64.5%）、次いで「主に妻で一部が夫」、「夫と妻が半々」となっている。

### 【c. 食事のしたく】



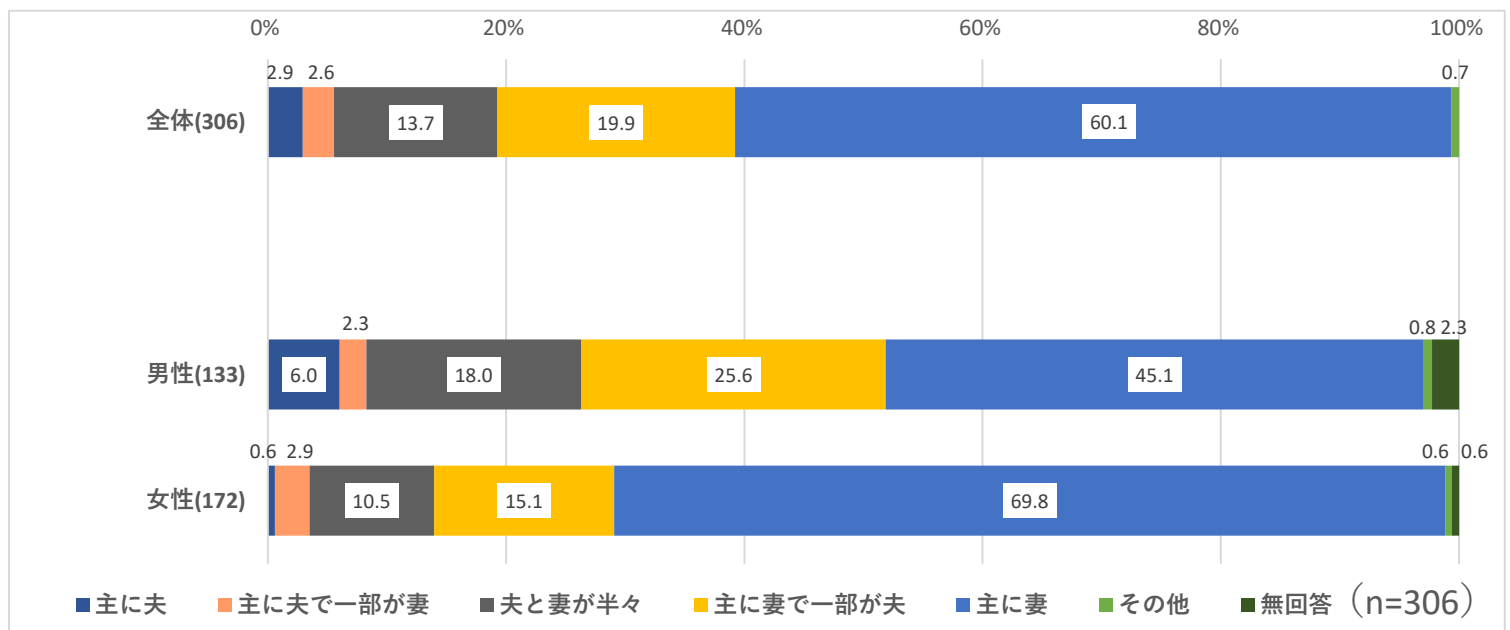
●性別にみると、男女とも「主に妻」が最も高く（男性61.7%、女性82.6%）、次いで「主に妻で一部が夫」、「夫と妻が半々」となっている。

### 【d. 食後の片付け】



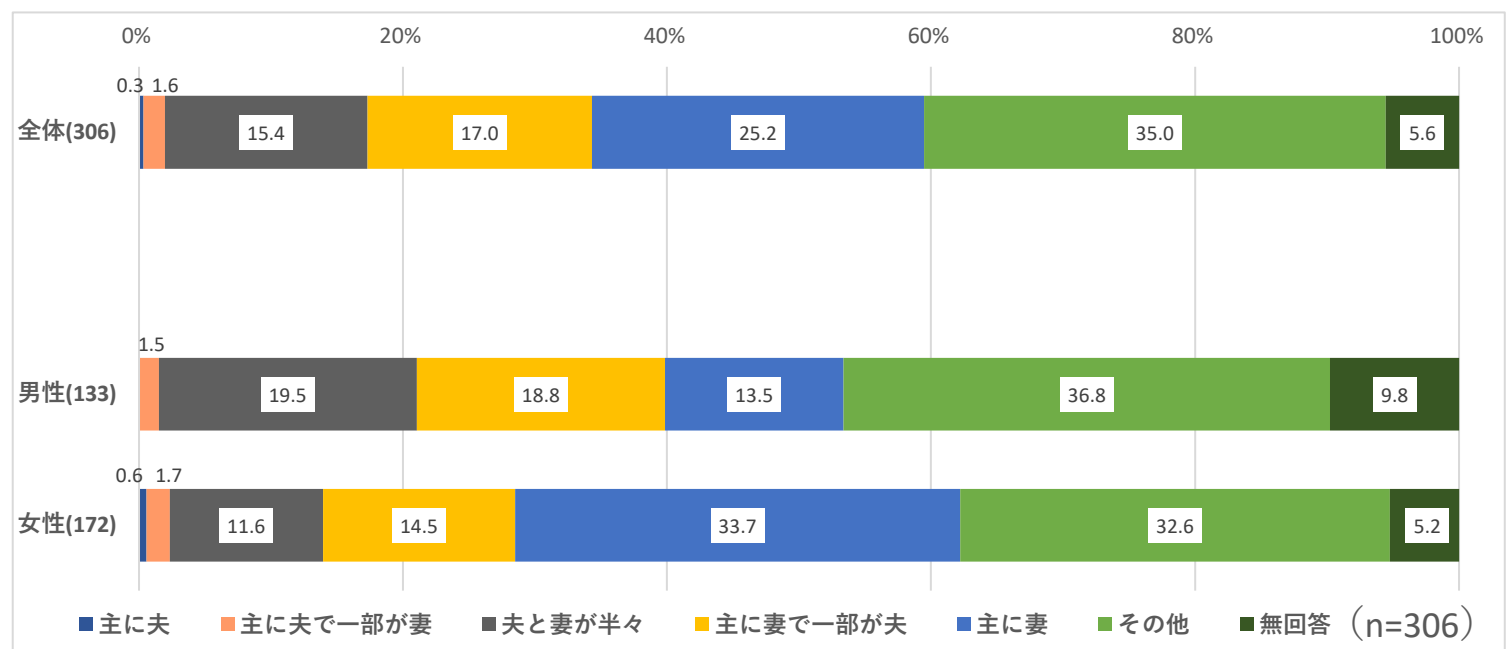
●性別にみると、男女とも「主に妻」が最も高く（男性44.4%、女性75.6%）、次いで「主に妻で一部が夫」、「夫と妻が半々」となっているが、「主に妻」の割合は男女間で大きな差が見られる。

### 【e. 掃除・洗濯】



●性別にみると、男女とも「主に妻」が最も高く（男性45.1%、女性69.8%）、次いで「主に妻で一部が夫」、「夫と妻が半々」となっている。

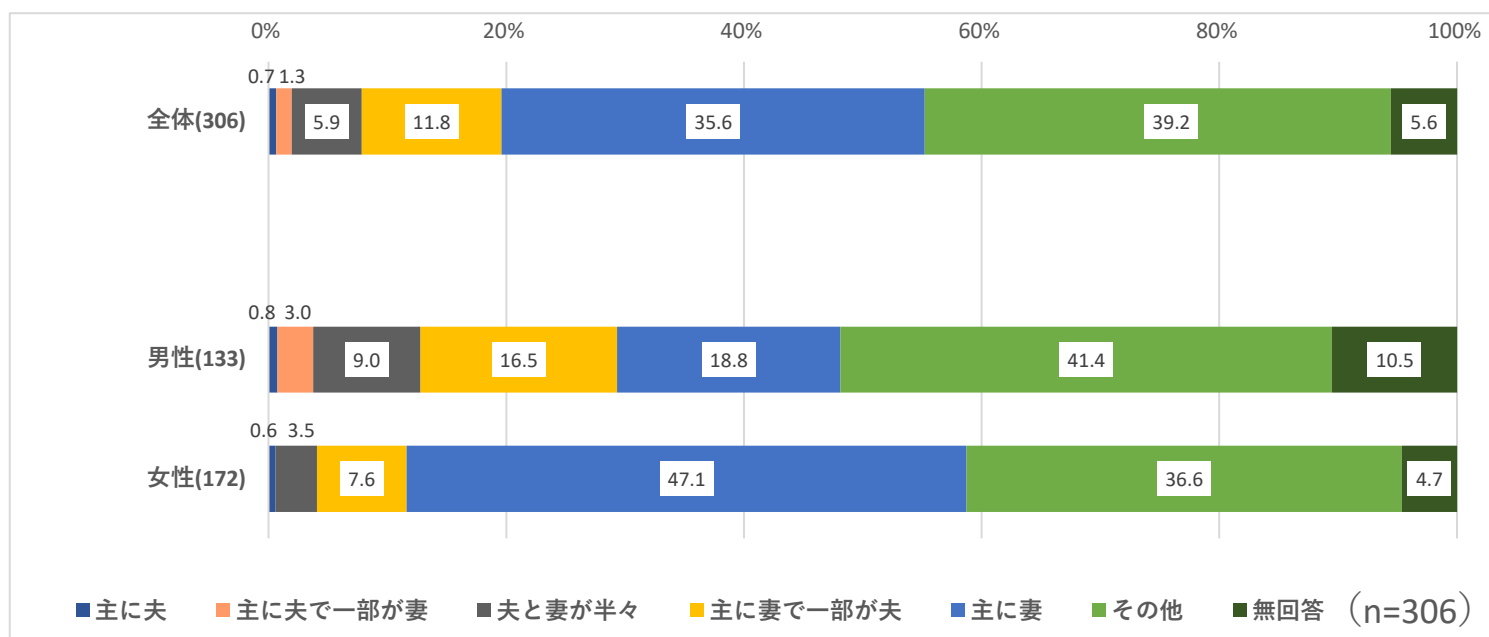
### 【f. 育児、子どものしつけ】



●性別にみると、男性は「その他」が36.8%で最も高く、次いで「夫と妻が半々」（19.5%）、「主に妻で一部が夫」（18.8%）となっている。女性は「主に妻」が33.7%で最も高く、次いで「その他」（32.6%）、「主に妻で一部が夫」（14.5%）となっている。

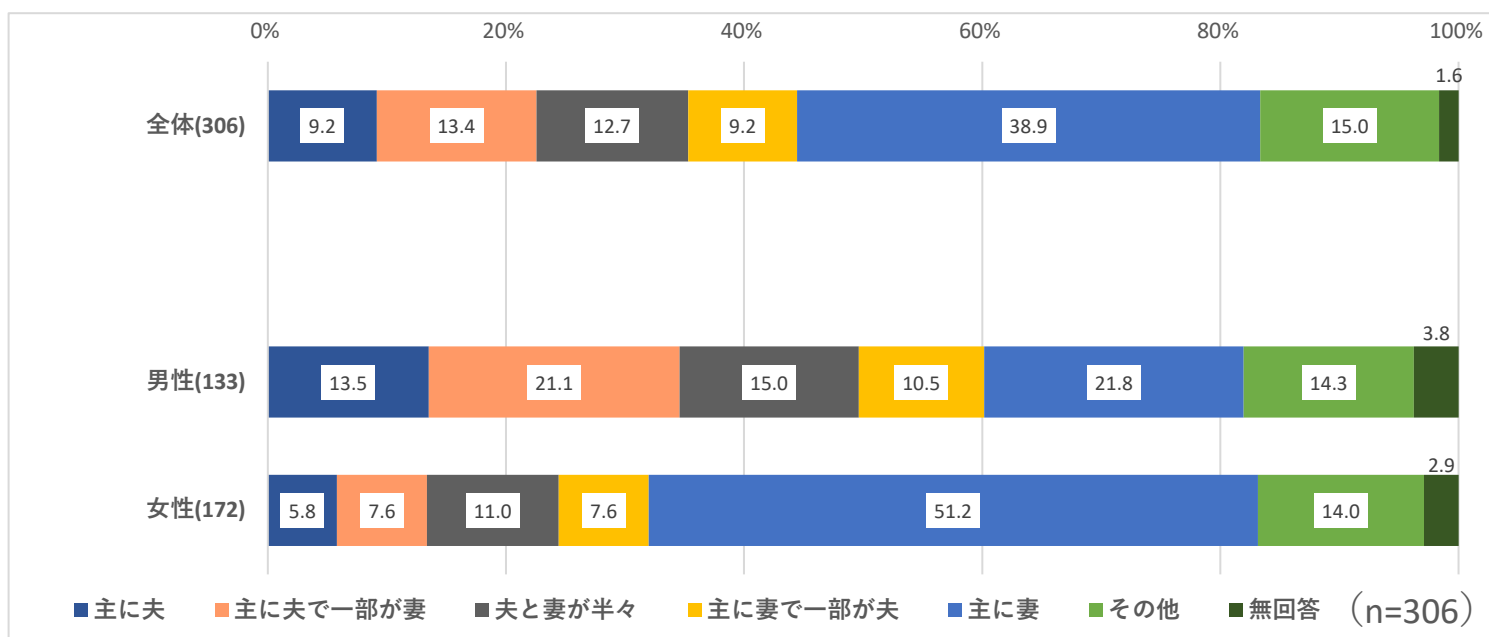


### 【g. 学校行事やPTA行事への参加】



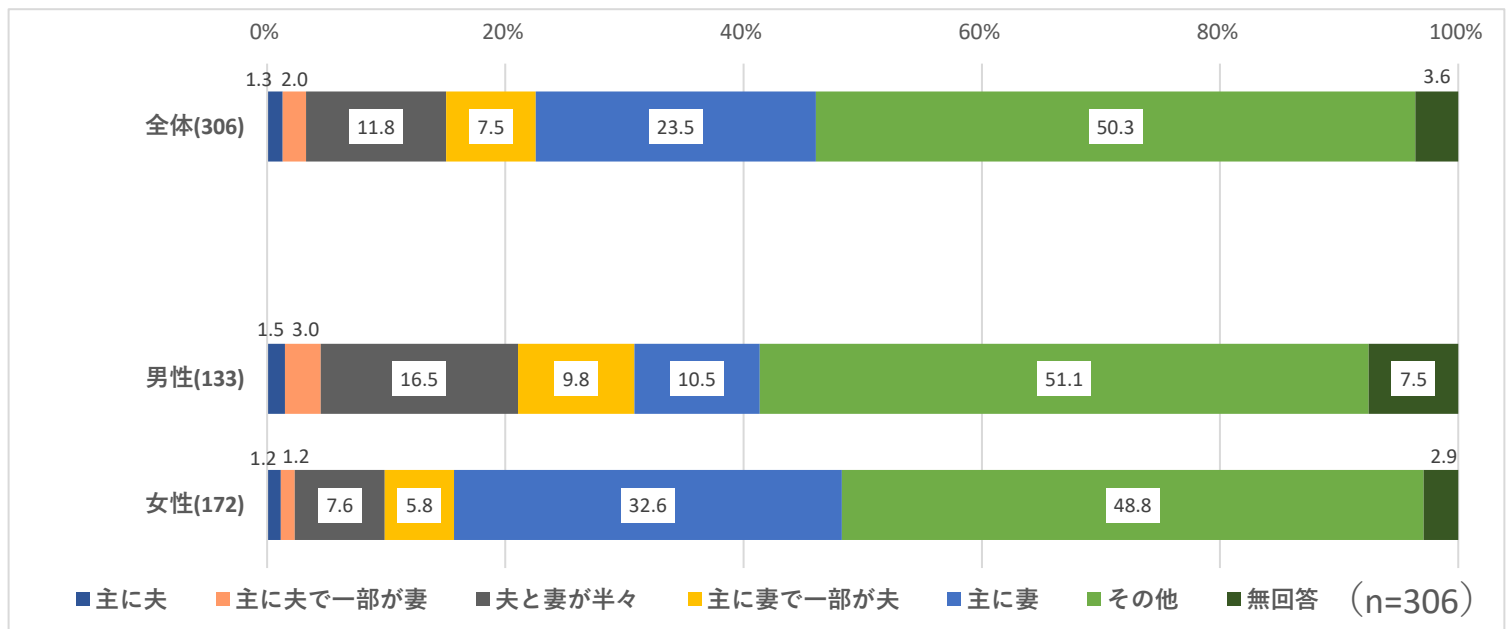
●性別にみると、男性では「その他」が41.4%と最も高く、次いで「主に妻」、「主に妻で一部が夫」となっている。女性は「主に妻」が47.1%と最も高く、次いで「その他」と「主に妻で一部が夫」となっている。

### 【h. 町内行事等への参加】



●性別にみると、男女ともに「主に妻」が最も高くなっている（男性21.8%、女性51.2%）が、男性と女性で大きく割合の差がある。男性は次いで「主に夫で一部が妻」、「夫と妻が半々」となっている。女性は次いで「その他」、「夫と妻が半々」となっている。

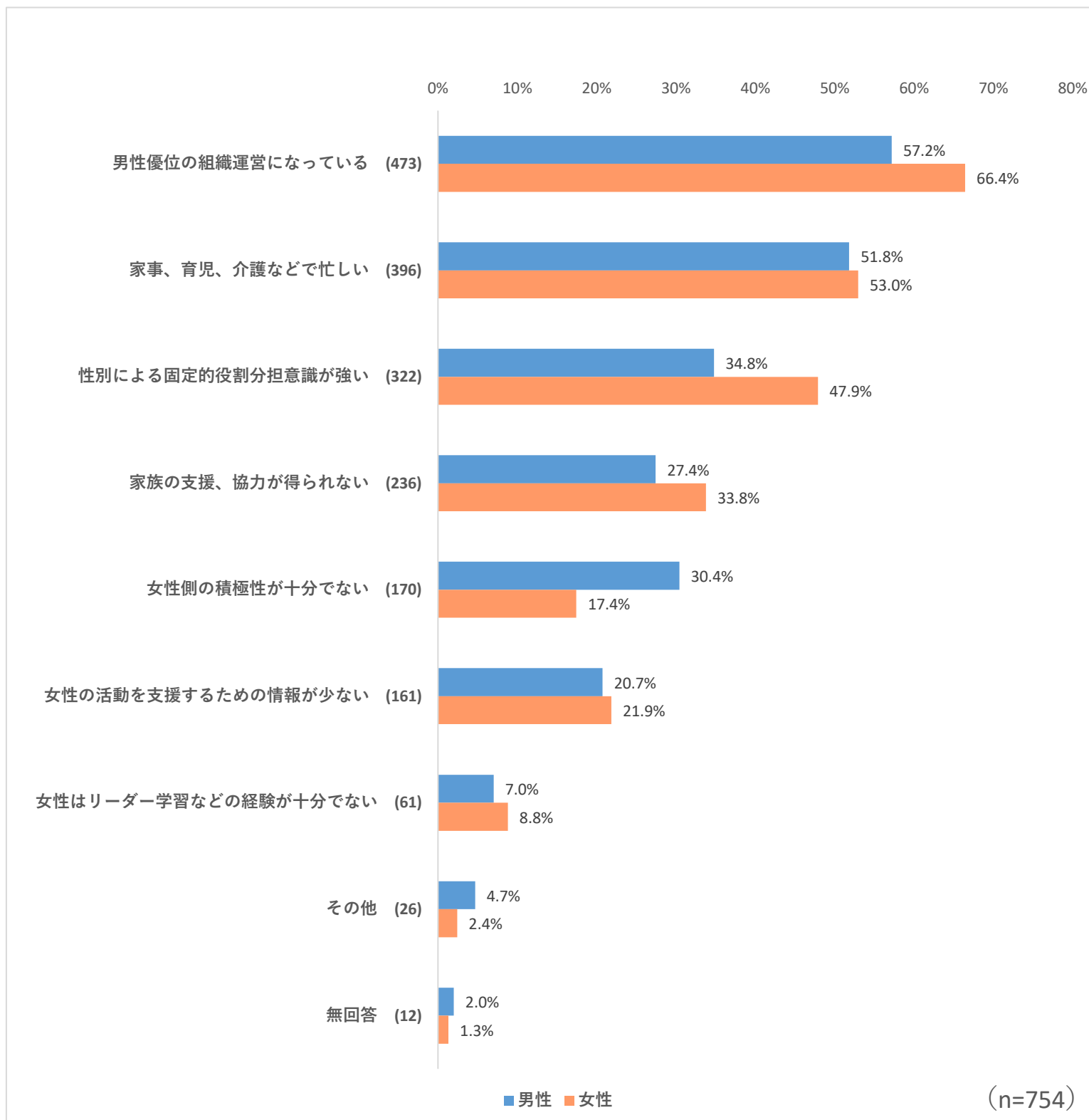
【 i . 高齢者の世話、介護】



●性別にみると、男女とも「その他」が5割前後で最も高くなっている。次いで男性は「夫と妻が半々」、「主に妻」となっており、女性は「主に妻」と「夫と妻が半々」となっている。

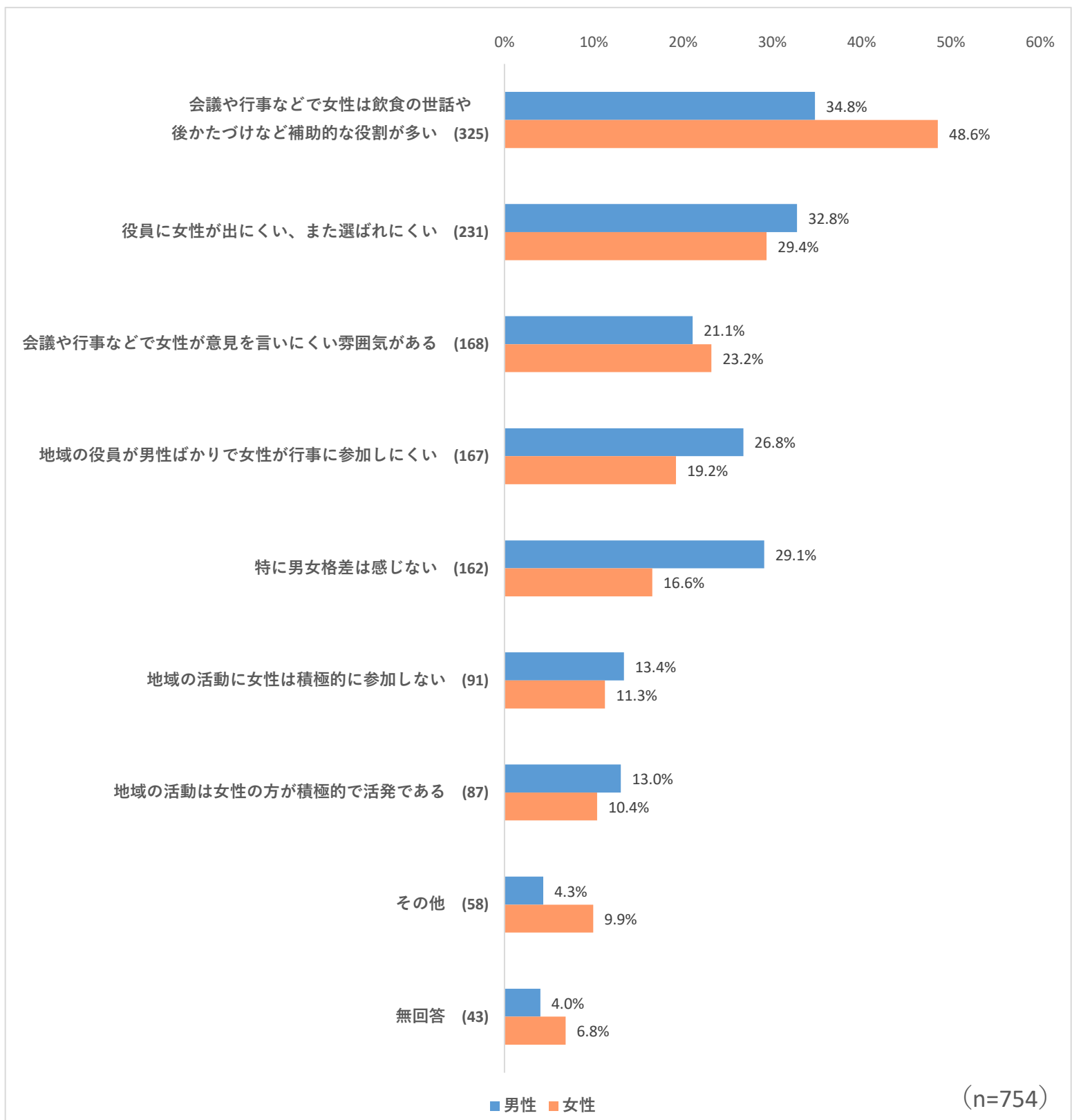
## 2. 政策・方針決定の場への女性の参画について

問15. 女性の社会進出は進んでいますが、議員、役員・管理職などに女性の参画が少ない理由は何かと思いますか。（○は3つまで）



●性別にみると、男女とも「男性優位の組織運営になっている」が最も高く（男性57.2%、女性66.4%）、次いで「家事、育児、介護などで忙しい」（男性51.8%、女性53.0%）、「性別による固定的役割分担意識が強い」（男性34.8%、女性47.9%）となっている。

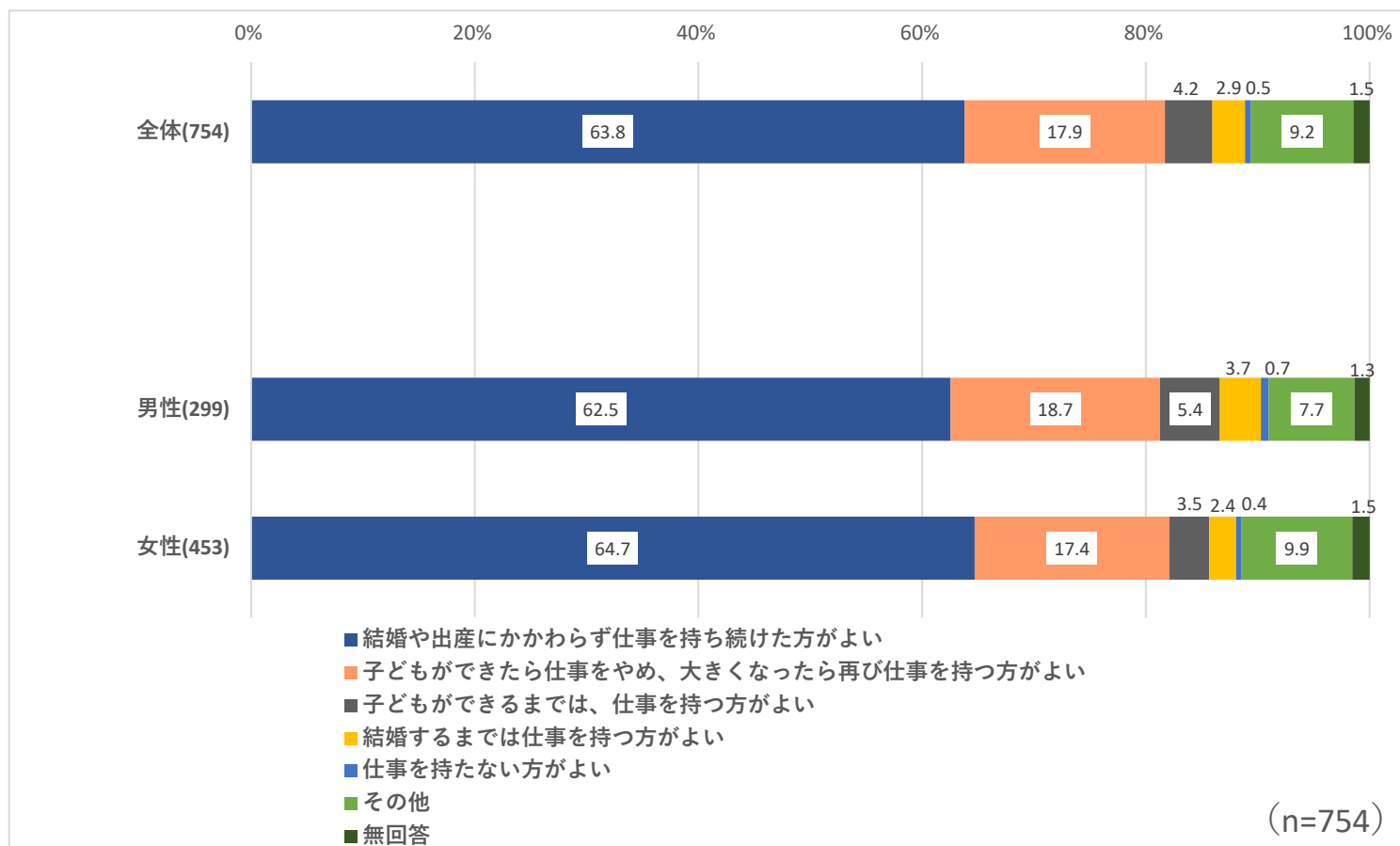
問16. 自治会活動の中での女性の参画について、どう思いますか。(○は3つまで)



●性別にみると、男女とも「会議や行事などで女性は飲食の世話や後かたづけなど補助的な役割が多い」が最も高く（男性34.8%、女性48.6%）、次いで「役員に女性が出にくい、また選ばれにくい」（男性32.8%、女性29.4%）となっている。その次は、男性が「特に男女格差は感じない」（29.1%）となっているのに対し、女性は「会議や行事などで女性が意見を言いにくい雰囲気がある」（23.2%）となっている。

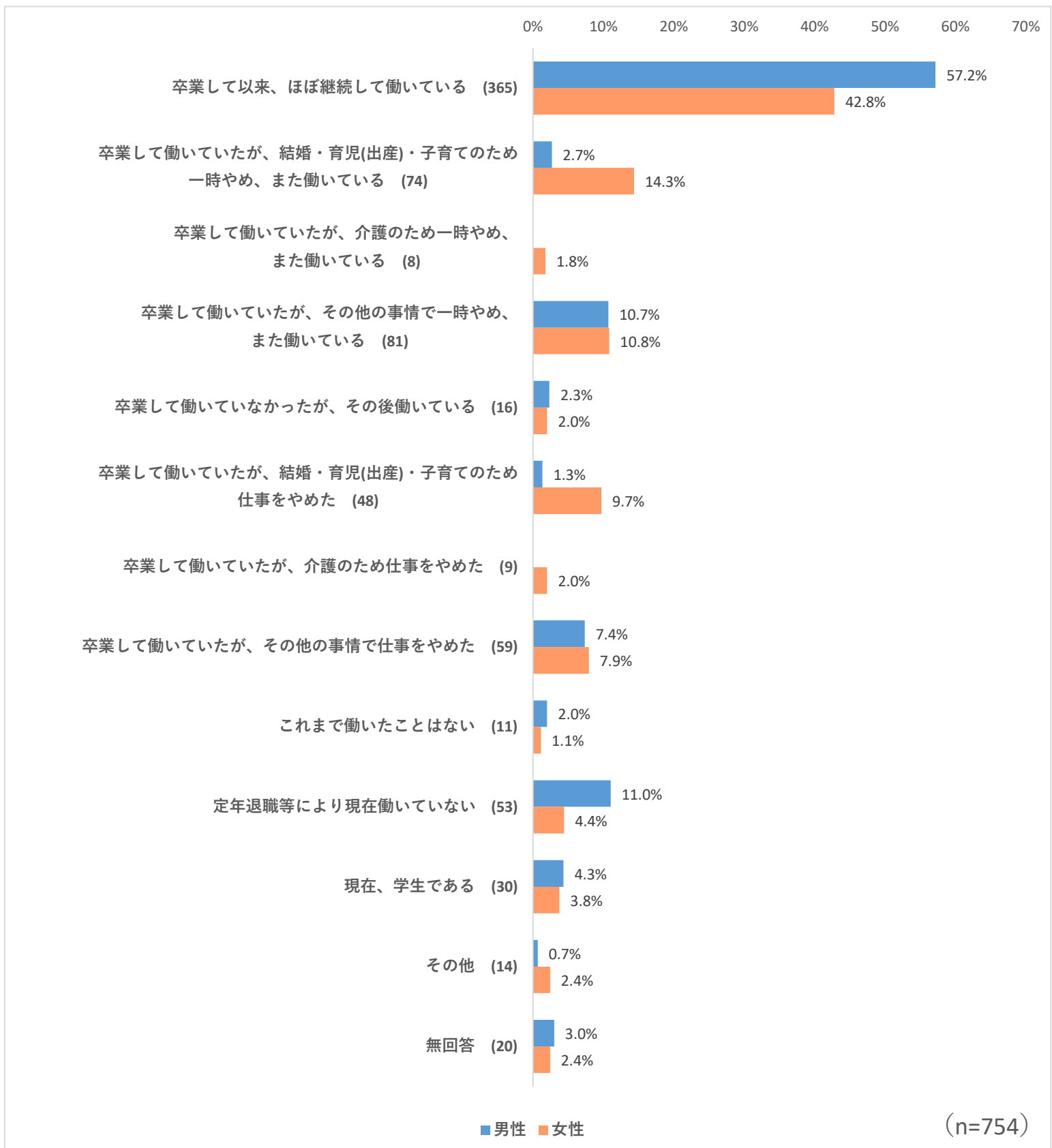
### 3. 仕事と家庭生活等の両立について

問17. 女性が仕事を持つことについて、どう思いますか。(○は1つだけ)



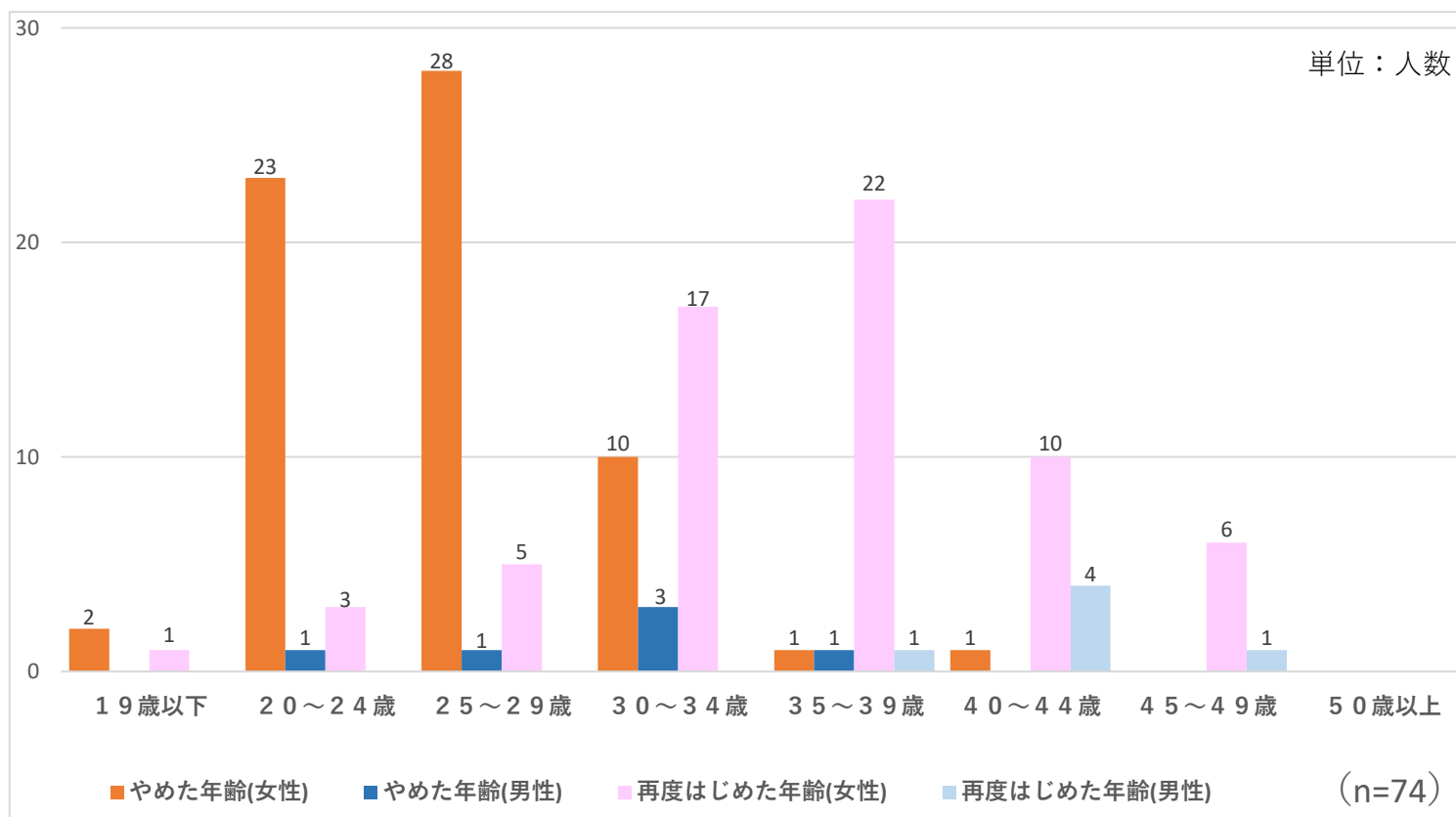
●性別にみると、男女とも全体結果と同様に、「結婚や出産にかかわらず仕事を持ち続けた方がよい」が6割以上で最も高く、次いで「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」、「その他」となっている。

問18. 今までの就職状況は次のどれにあたりますか。(○はいくつでも)



●性別にみると、男性は「卒業して以来、ほぼ継続して働いている」が57.2%で最も高く、次いで「定年退職等により現在働いていない」(11.0%)、「卒業して働いていたが、その他の事情で一時やめ、また働いている」(10.7%)となっている。女性は「卒業して以来、ほぼ継続して働いてる」が42.8%で最も高く、次いで「卒業して働いていたが、結婚・育児(出産)・子育てのため一時やめ、また働いている」(14.3%)、「卒業して働いていたが、その他の事情で一時やめ、また働いている」(10.8%)となっている。

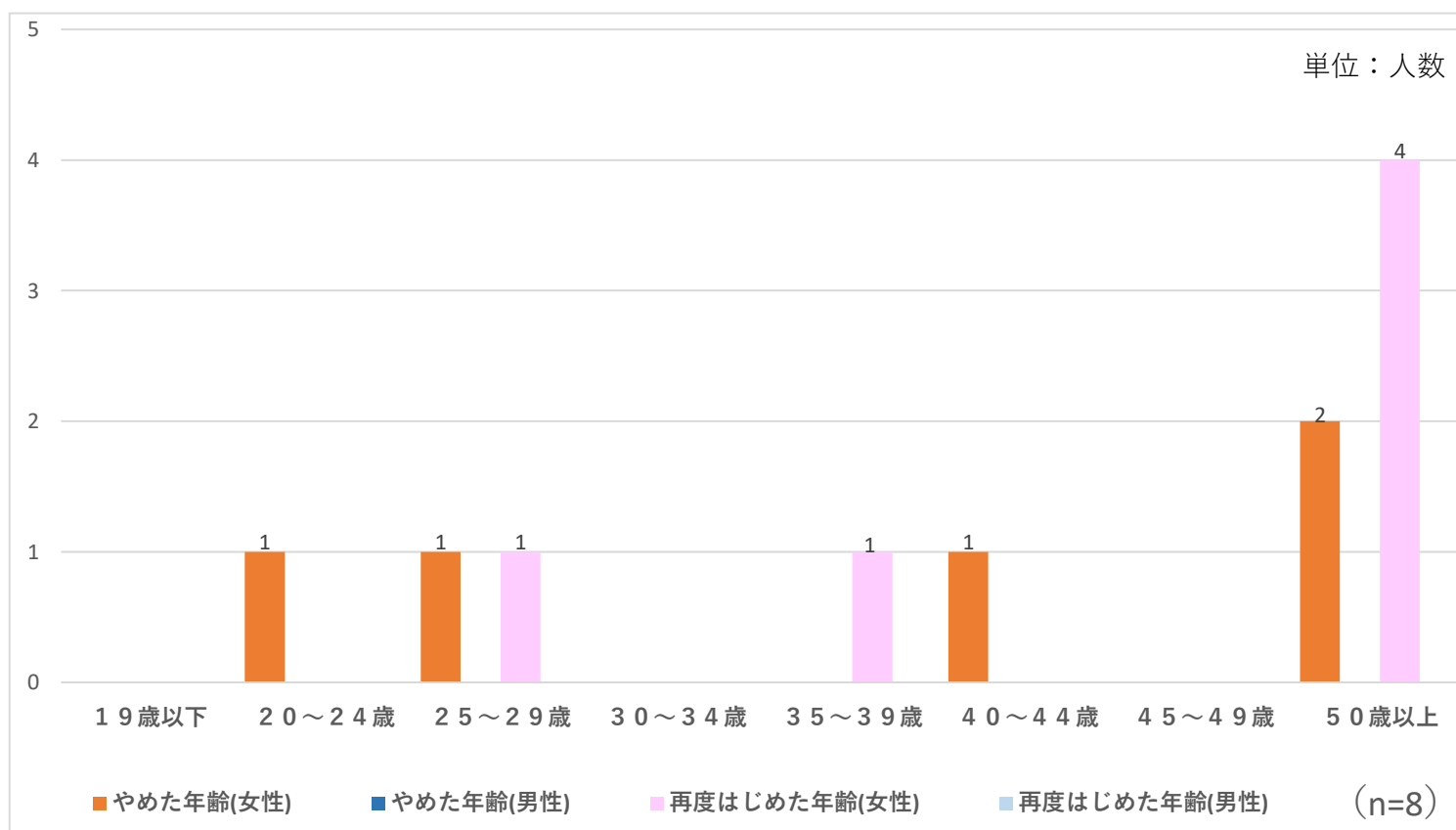
◆問18で「卒業して働いていたが、結婚・育児（出産）・子育てのため一時やめ、また働いている」を選択した方の当時の年齢



●結婚・育児（出産）・子育てのため仕事を一時やめた女性の年齢についてみると、「25～29歳」が最も高く、次いで「20～24歳」、「30～34歳」となっている。

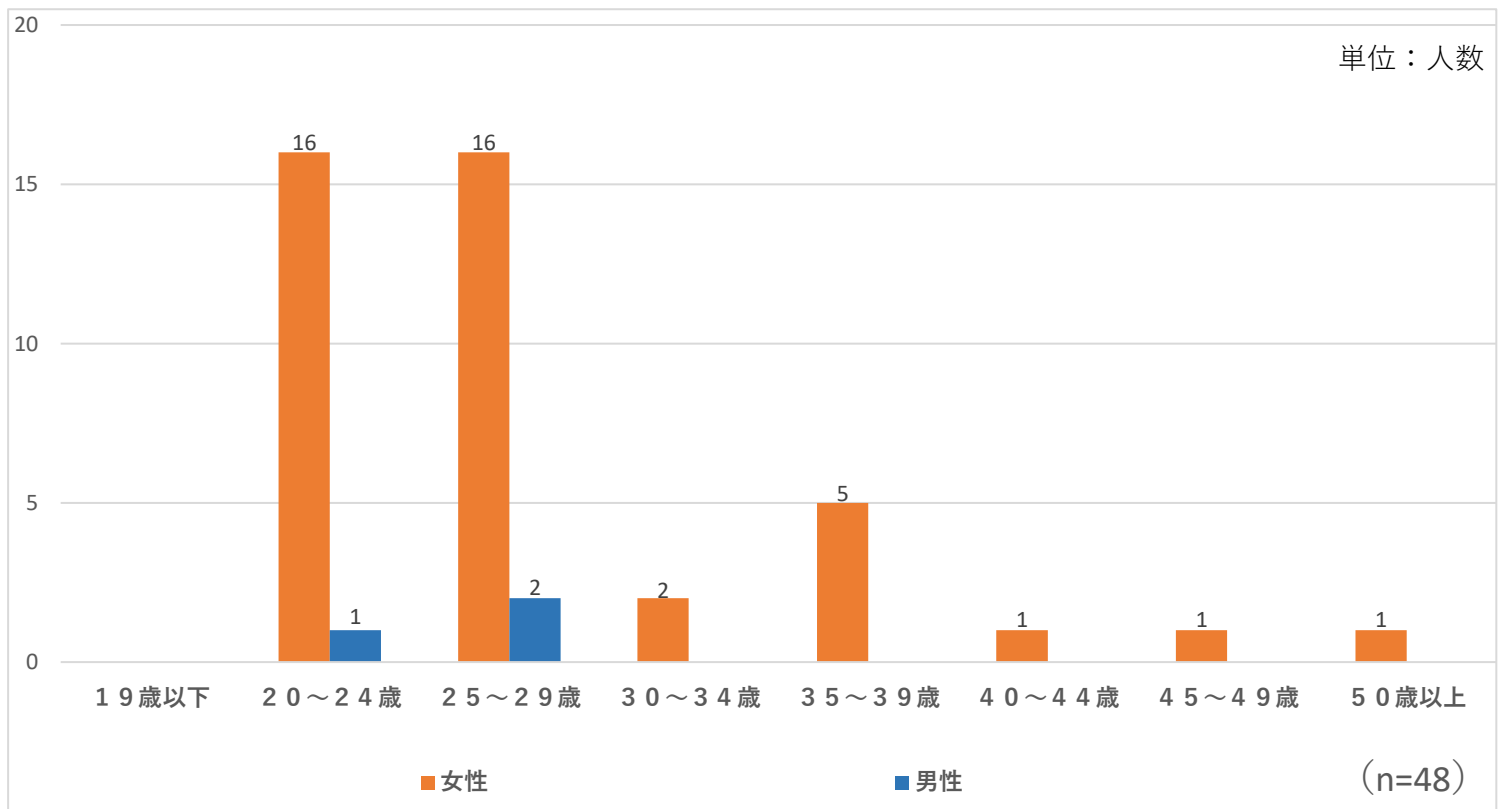
●仕事を再度はじめた女性の年齢についてみると、「35～39歳」が最も高く、次いで「30～34歳」、「40～44歳」となっている。

◆問18で「卒業して働いていたが、介護のため一時やめ、また働いている」を選択した方の当時の年齢



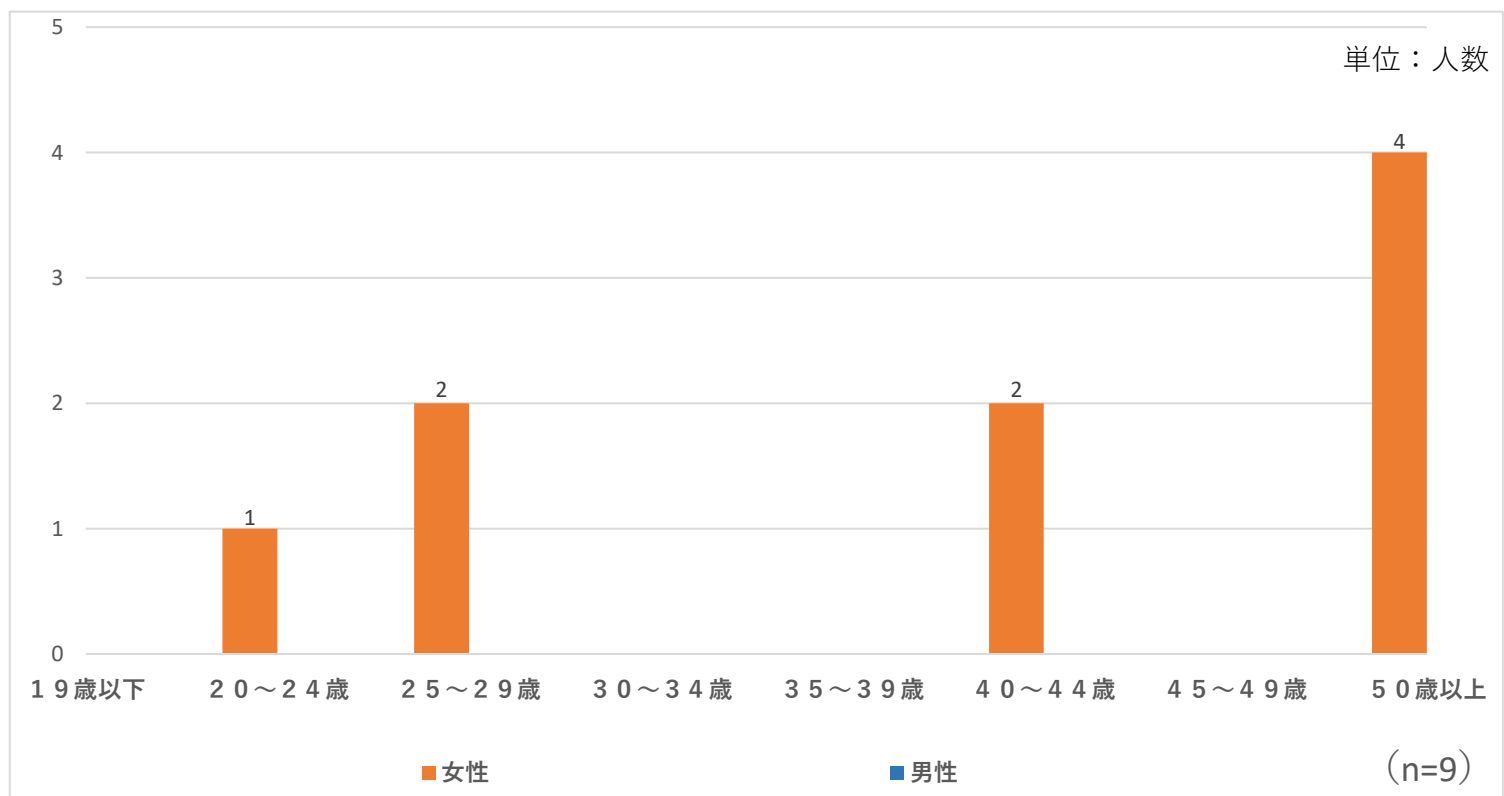
●介護のため仕事を一時やめた年齢についてみると、全5件の回答は「20～24歳」、「25～29歳」、「40～44歳」、「50歳以上」に分かれ、仕事を再度はじめた年齢についてみると、全6件の回答は「25～29歳」、「35～39歳」、「50歳以上」に分かれている。（男性の該当者はいなかった）

◆問18で「卒業して働いていたが、結婚・育児（出産）・子育てのため仕事をやめた」を選択した方の当時の年齢



○結婚・育児（出産）・子育てのため仕事をやめた年齢についてみると、「25～29歳」が最も高く、次いで「20～24歳」、「35～39歳」となっている。

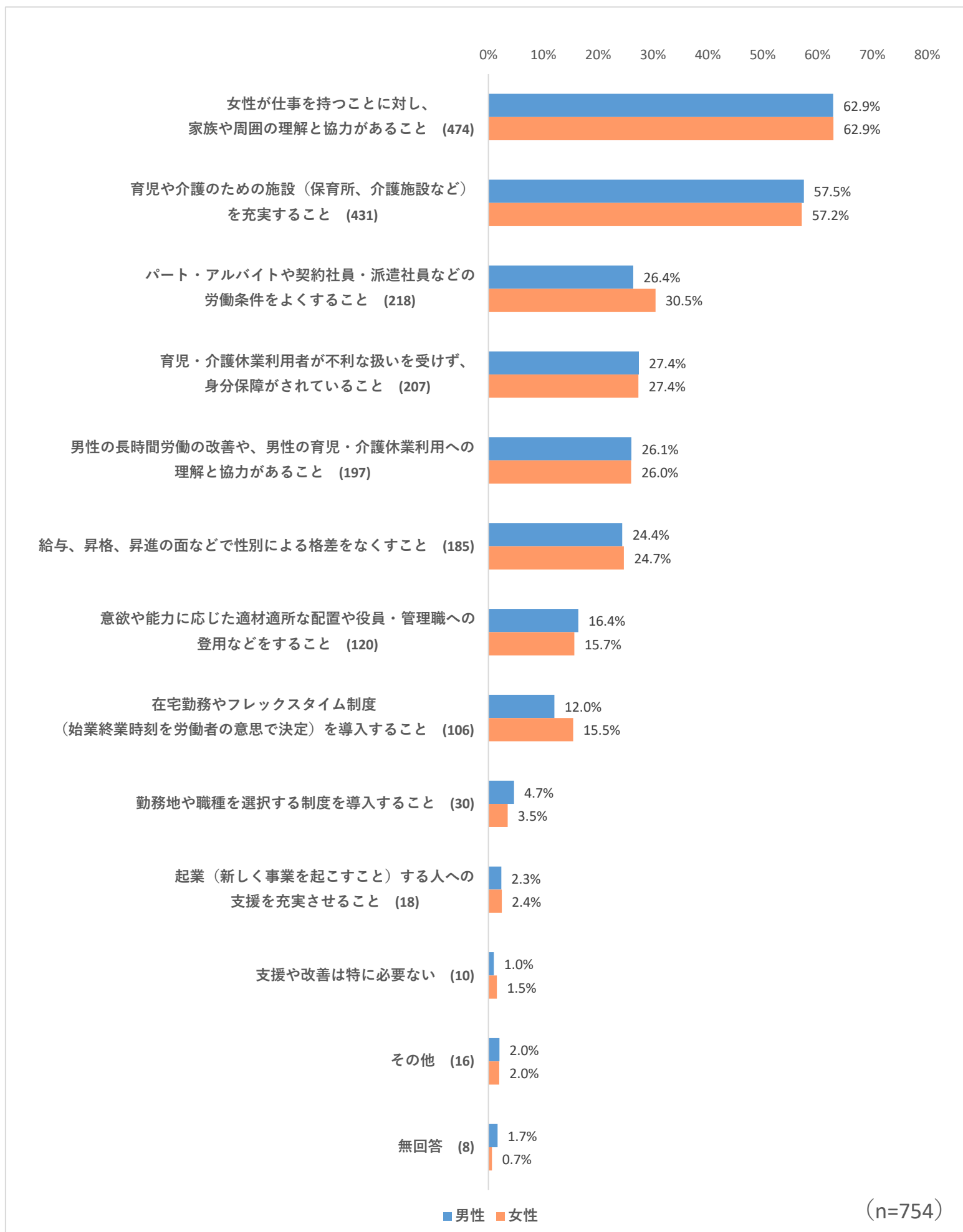
◆問18で「卒業して働いていたが、介護のため仕事をやめた」を選択した方の当時の年齢



●介護のため仕事をやめた年齢についてみると、「50歳以上」が最も高く、次いで「25～29歳」と「40～44歳」が同数となっている。

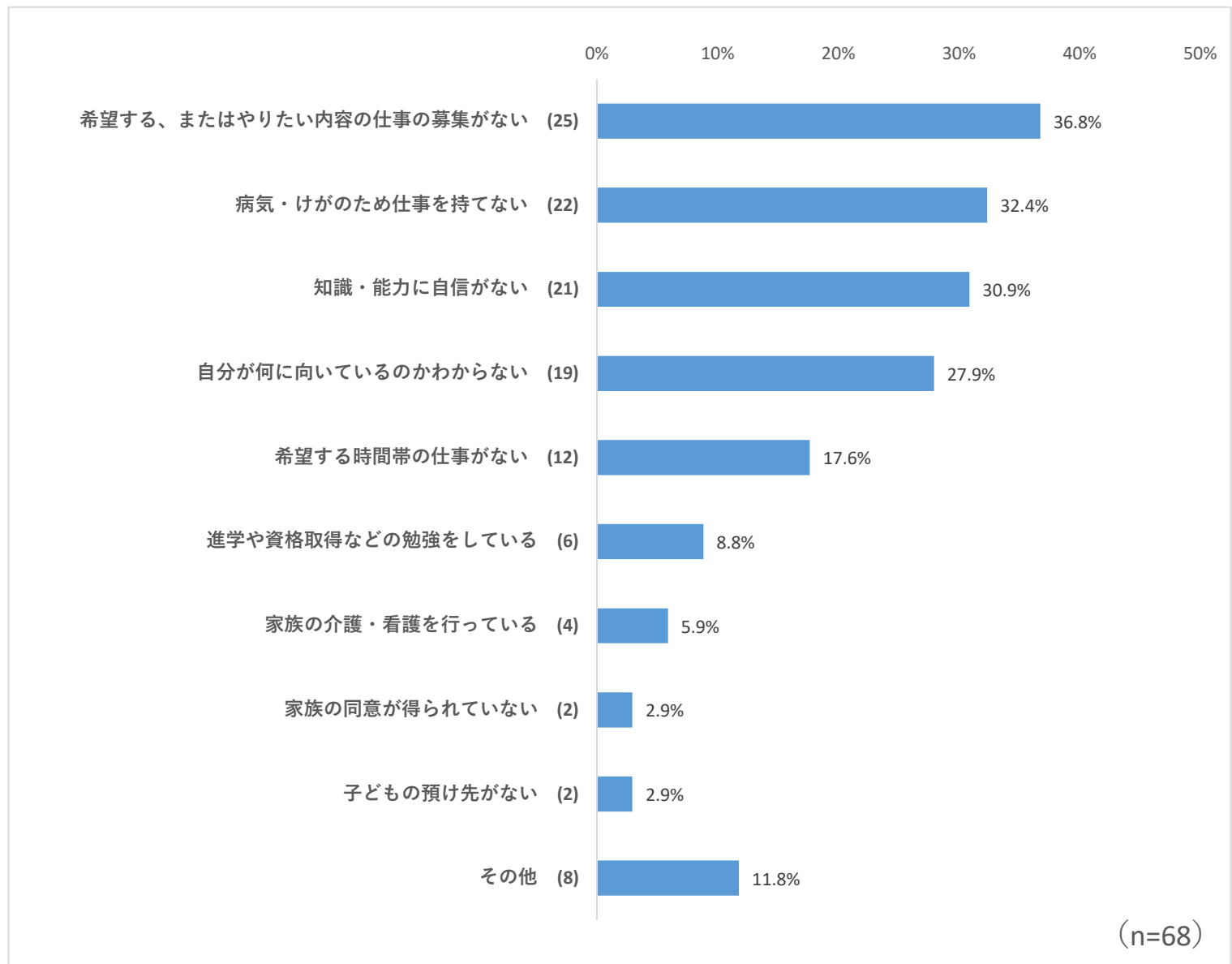


問19. 女性が仕事を続けるために必要な支援や対策は何だと思いますか。(〇は3つまで)



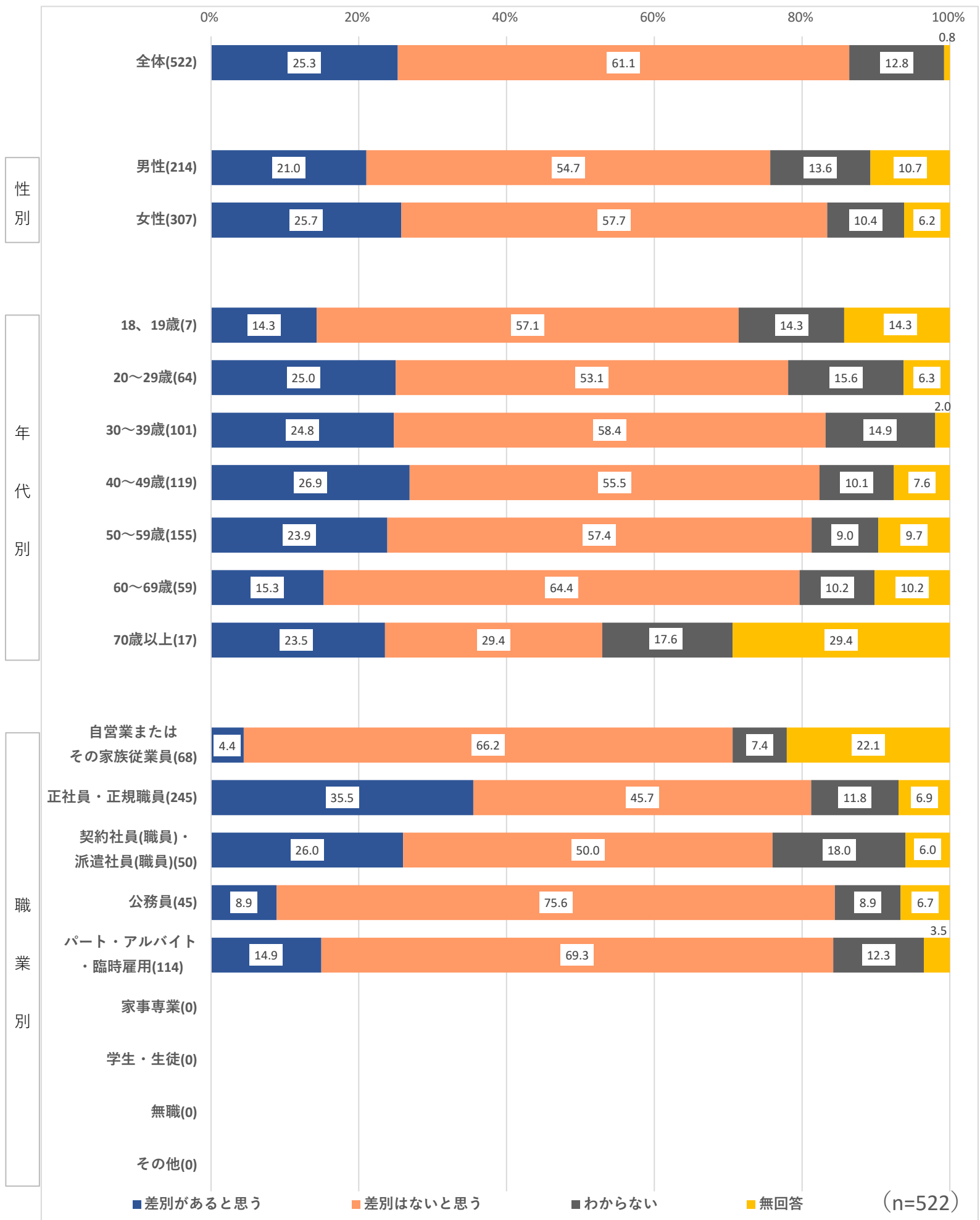
●性別にみると、男女とも「女性が仕事を持つことに対し、家族や周囲の理解と協力があること」が最も高く（男性62.9%、女性62.9%）、次いで「育児や介護のための施設（保育所、介護施設など）を充実すること」（男性57.5%、女性57.2%）、次いで男性は「育児・介護休業利用者が不利な扱いを受けず、身分保障がされていること」（27.4%）となっており、女性は「パート・アルバイトや契約社員・派遣社員などの労働条件をよくすること」（30.5%）となっている。

問20. この設問は、現在仕事を持ちたいと思っているのに実現していない女性の方のみお答えください。その理由は何ですか。（○は3つまで）



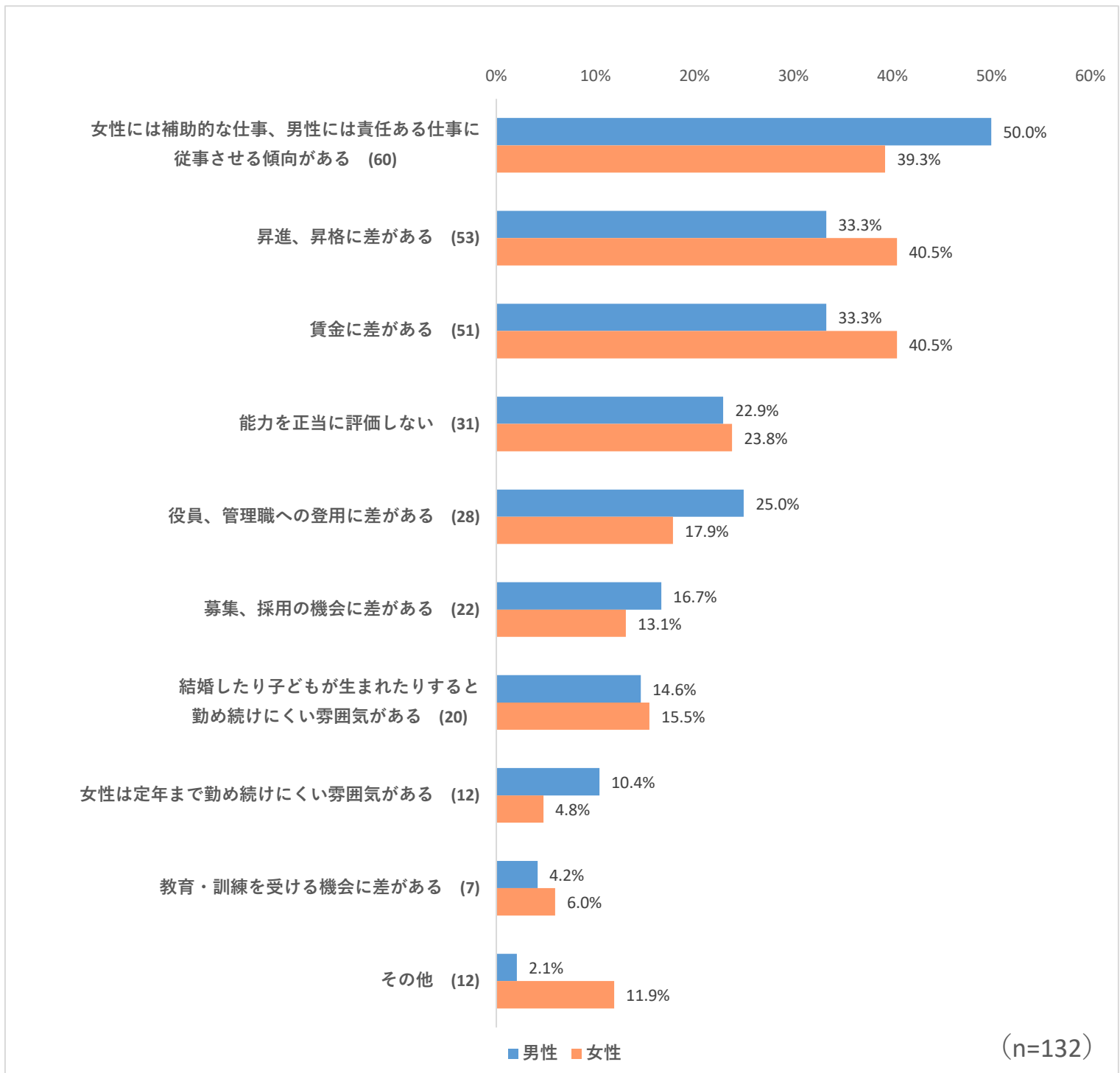
●今、仕事を持ちたいと思っているのに実現してない女性の理由についてみると、「希望する、またはやりたい内容の仕事の募集がない」が36.8%で最も高く、次いで「病気・けがのため仕事を持ってない」（32.4%）、「知識・能力に自信がない」（30.9%）となっている。

問2 1. この設問は、現在仕事を持たれている方（パート・アルバイト・臨時雇用含む）のみお答えください。あなたが勤務する職場で男女差別があると思いますか。（○は1つだけ）



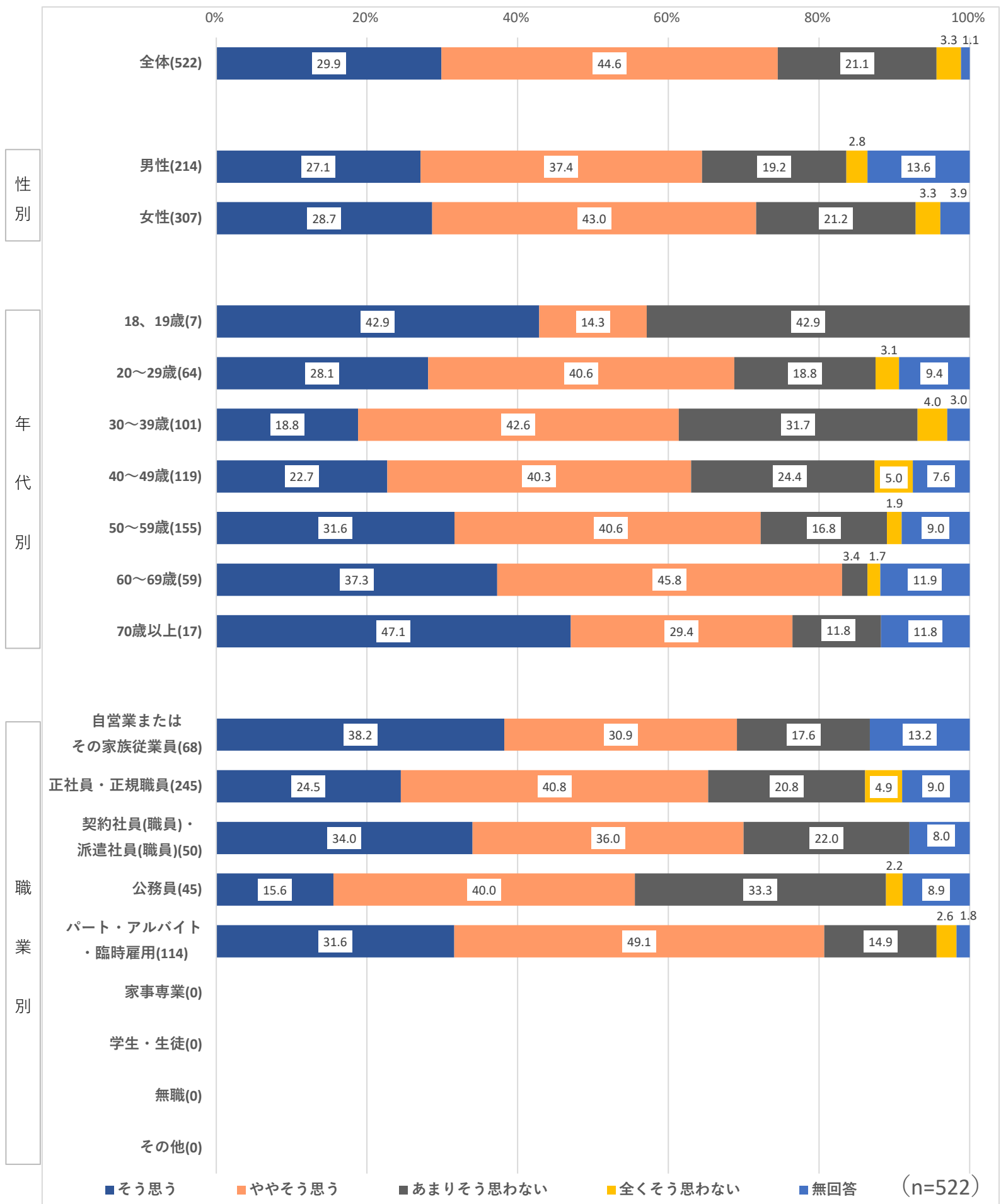
- 性別にみると、男女とも全体結果と同様に、「差別はないと思う」が最も高く（男性54.7%、女性57.7%）、次いで「差別があると思う」（男性21.0%、女性25.7%）となっている。
- 年代別にみると、70歳以上を除く全ての年代で、「差別はないと思う」が最も高くなっている。
- 職業別にみると、いずれの職業においても「差別はないと思う」が最も高くなっている。「差別があると思う」では、正社員・正規職員（35.5%）で、比較的高くなっている。

問22. 問21で「差別があると思う」を選んだ方にお聞きします。  
 具体的にどのような差別を感じますか。(〇は3つまで)



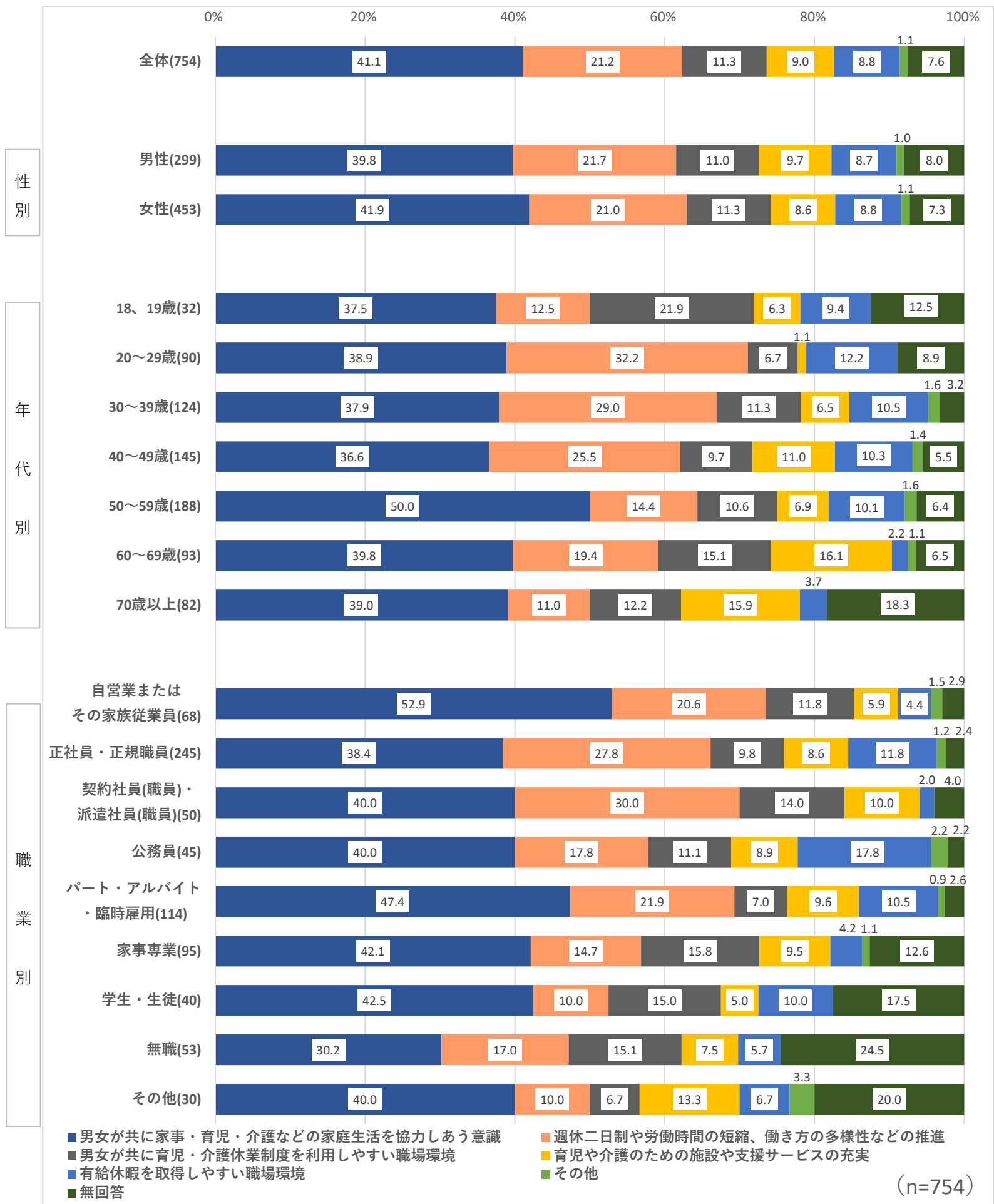
●性別にみると、男性は「女性には補助的な仕事、男性には責任ある仕事に従事させる傾向がある」が50.0%で最も高く、次いで「昇進、昇格に差がある」と「賃金に差がある」が33.3%で同率となっている。女性は「昇進、昇格に差がある」と「賃金に差がある」が同率で40.5%と最も高く、次いで「女性には補助的な仕事、男性には責任ある仕事に従事させる傾向がある」(39.3%)となっており、男女間で差別の感じ方に差異がある。

問23. この設問は、現在仕事を持たれている方（パート・アルバイト・臨時雇用含む）のみお答えください。あなたにとって、仕事と生活のバランスはうまくとれていると思いますか。（○は1つだけ）



- 性別にみると、男女とも「ややそう思う」が最も高く（男性37.4%、女性43.0%）、次いで「そう思う」「あまりそう思わない」となっている。
- 年代別にみると、18、19歳と70歳以上では「そう思う」、それ以外の年代においては「ややそう思う」が最も高くなっているが、18、19歳、30～39歳、40～49歳では「あまりそう思わない」が2割以上と高くなっている。
- 職業別にみると、自営業またはその家族従業員以外の職業においては「ややそう思う」が最も高くなっており、公務員では「あまりそう思わない」（33.3%）が比較的高くなっている。

問24. 仕事と家庭生活の両立のために最も必要なことは何だと思いますか。(○は1つだけ)



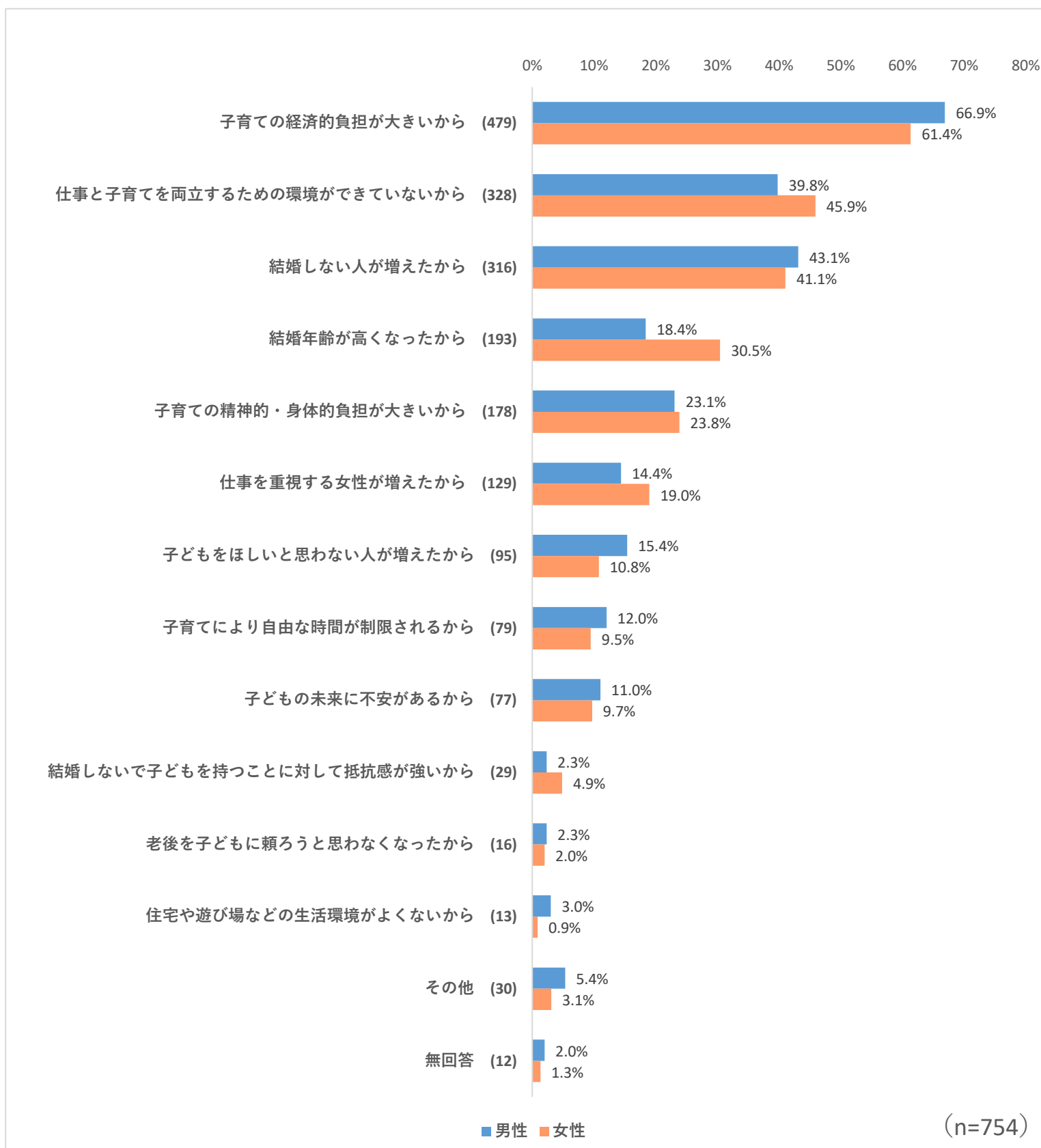
●性別にみると、男女ともに「男女が共に家事・育児・介護などの家庭生活を協力しあう意識」が最も高く（男性39.8%、女性41.9%）、次いで「週休二日制や労働時間の短縮、働き方の多様性などの推進」、「男女が共に育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境」となっている。

●年代別にみると、いずれの年代においても「男女が共に家事・育児・介護などの家庭生活を協力しあう意識」が最も高くなっている。次いで18、19歳では「男女が共に育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境」が高くなっている。

●職業別にみると、いずれの職業においても「男女が共に家事・育児・介護などの家庭生活を協力しあう意識」が最も高くなっている。

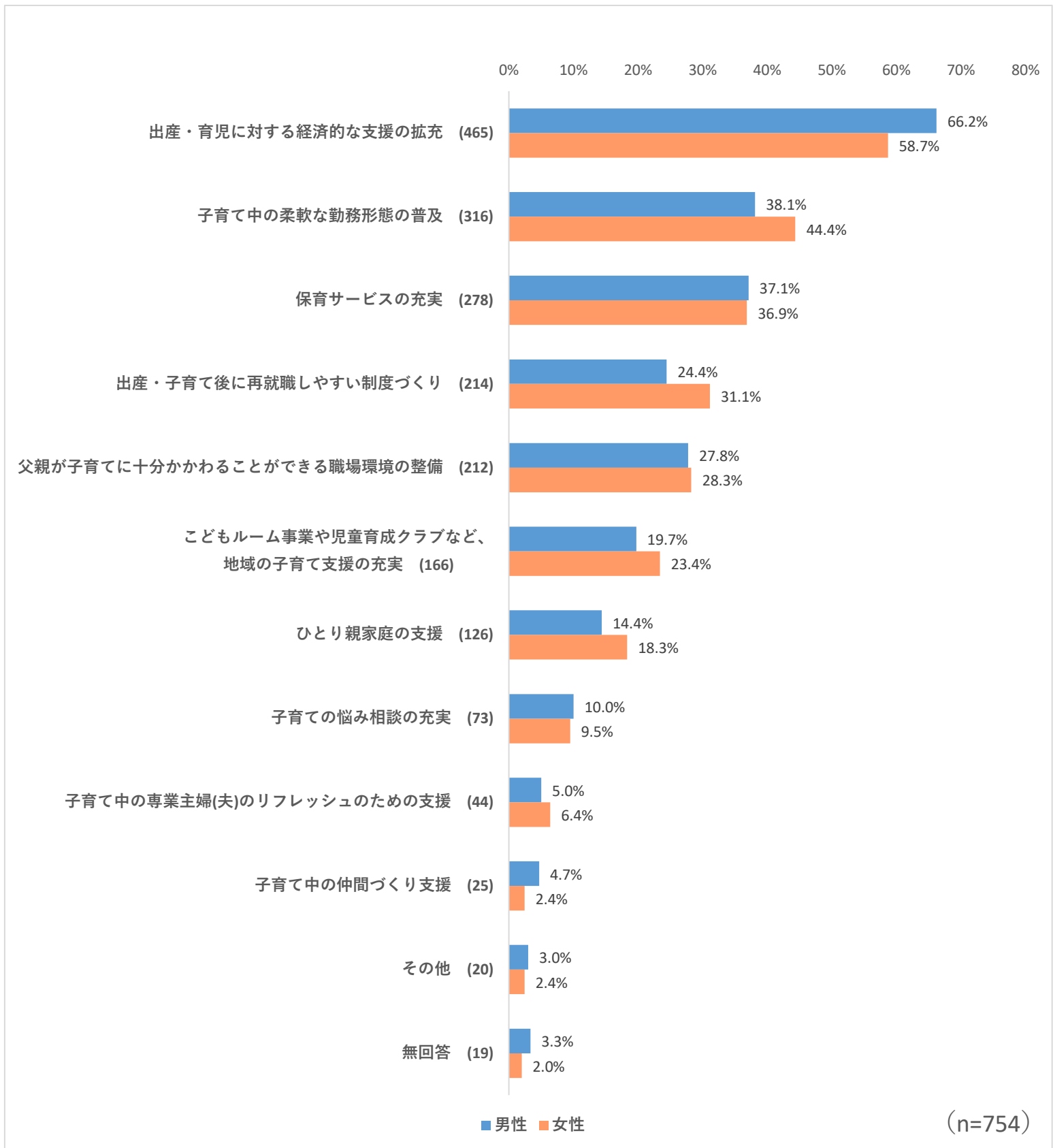
## 4. 子育て・介護について

問25. 少子化が進む主な要因は何だと思いますか。(〇は3つまで)



●性別にみると、男女とも「子育ての経済的負担が大きいから」が最も高く（男性66.9%、女性61.4%）、男性は次いで「結婚しない人が増えたから」、「仕事と子育てを両立するための環境ができていないから」となっている。女性は「仕事と子育てを両立するための環境ができていないから」、「結婚しない人が増えたから」となっている。

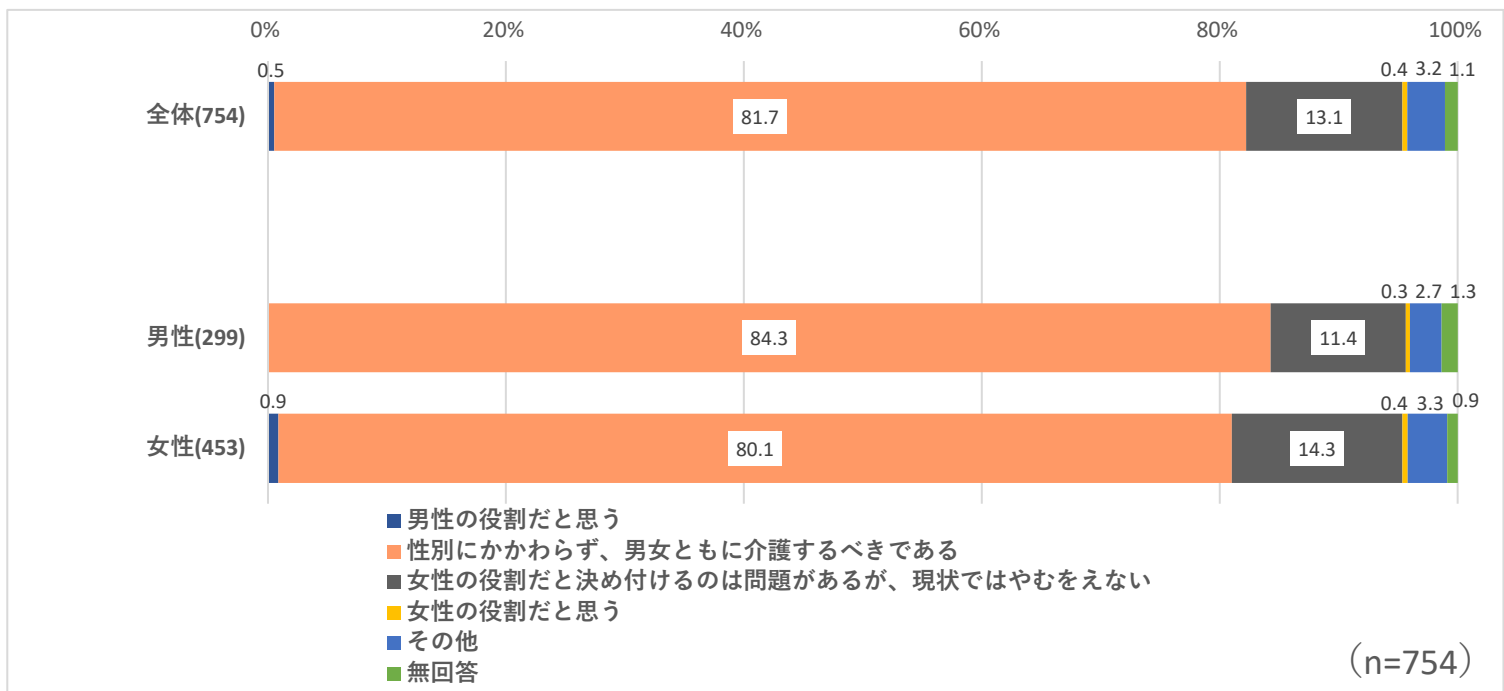
問26. 子育てに必要な支援等は何だと思いますか。(〇は3つまで)



●性別にみると、男女とも「出産・育児に対する経済的な支援の拡充」が最も高く（男性66.2%、女性58.7%）、次いで「子育て中の柔軟な勤務形態の普及」、「保育サービスの充実」となっている。

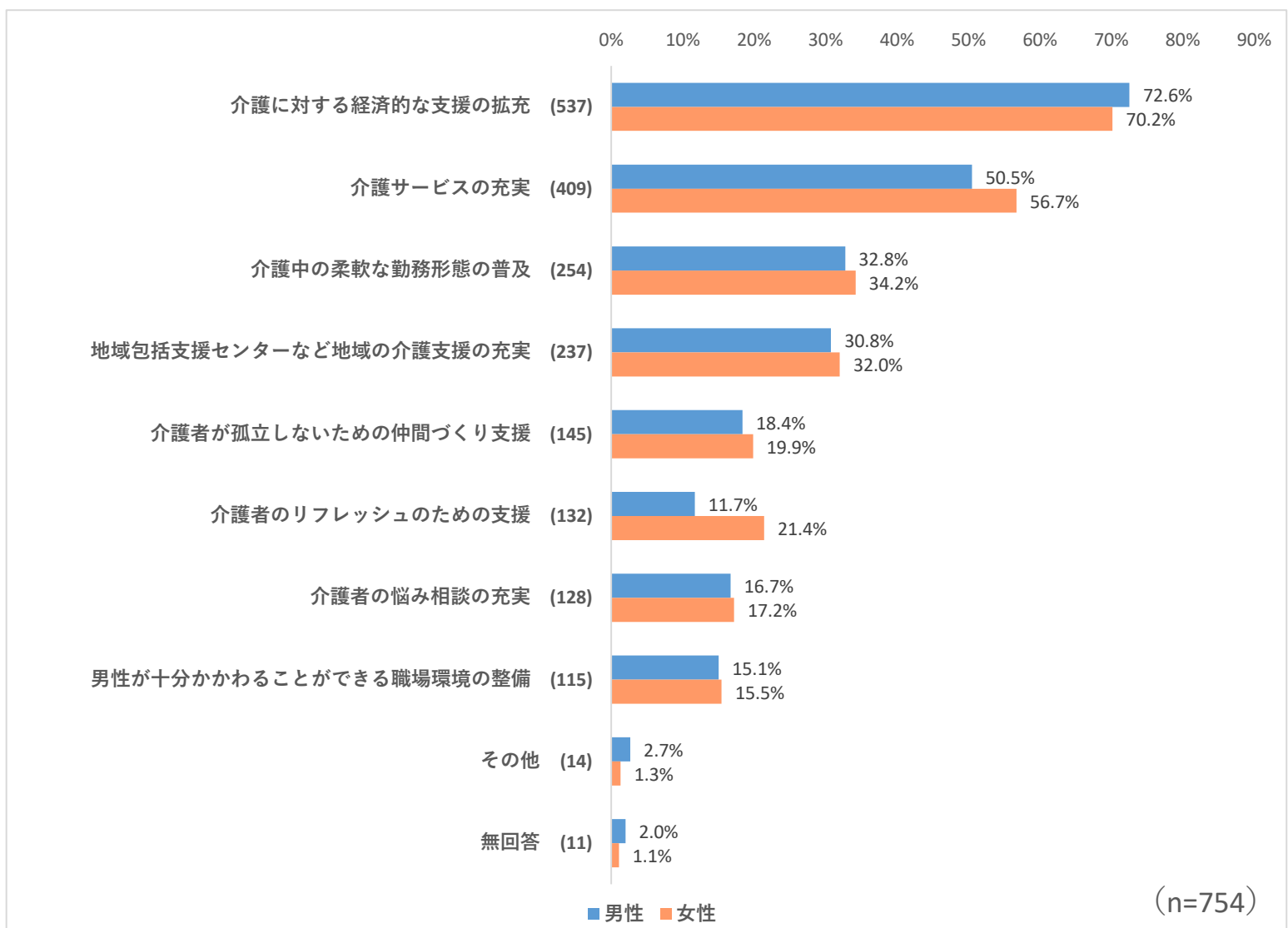


問27. 高齢者介護についてどう思いますか。(○は1つだけ)



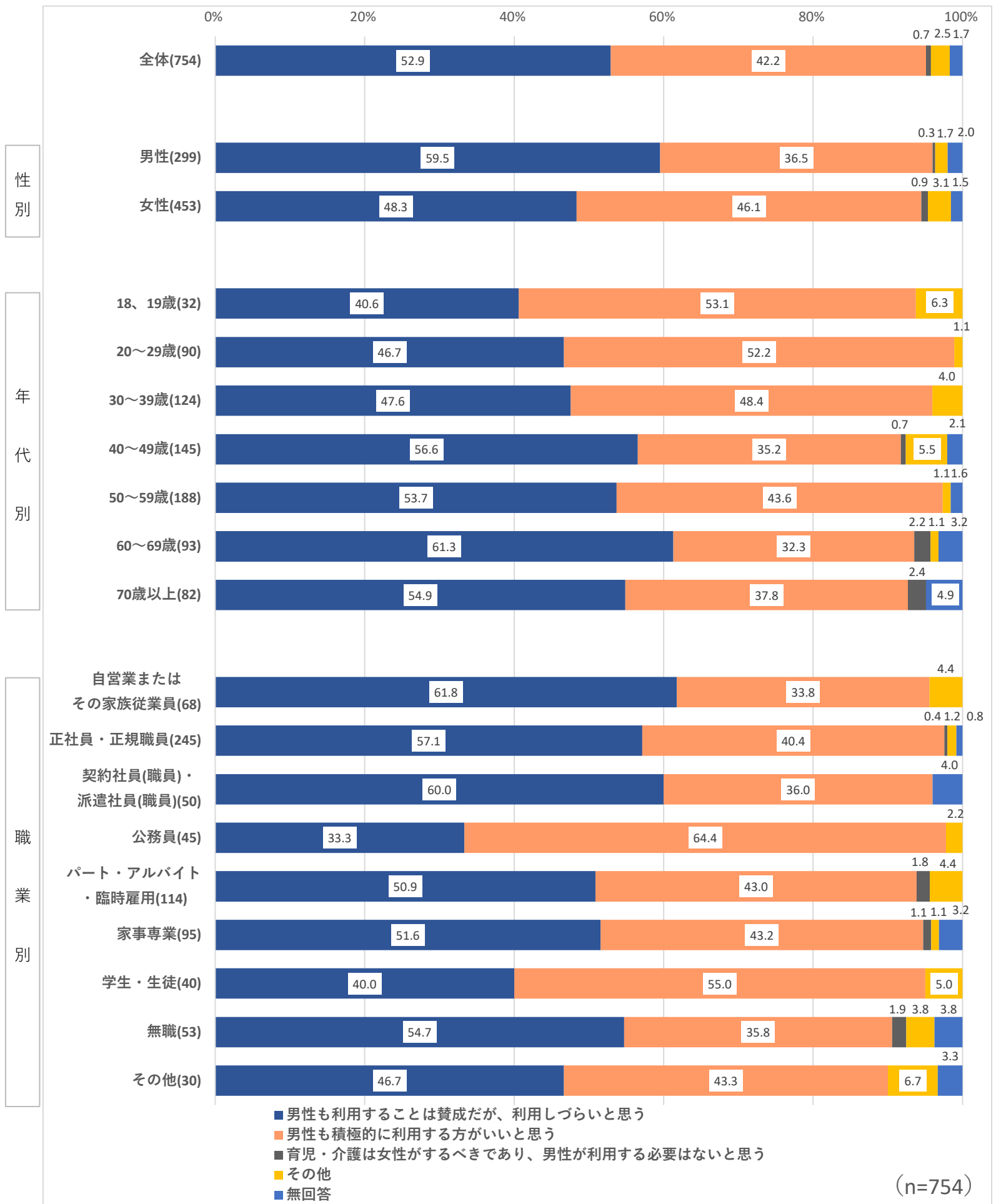
●性別にみると、男女とも全体結果と同様に、「性別にかかわらず、男女ともに介護すべきである」が最も高く、次いで「女性の役割だと決め付けるのは問題があるが、現状ではやむをえない」が高くなっている。

問28. 介護に必要な支援等は何だと思えますか。(○は3つまで)



●性別にみると、男女とも「介護に対する経済的な支援の拡充」(男性72.6%、女性70.2%)が最も高く、次いで「介護サービスの充実」「介護中の柔軟な勤務形態の普及」となっている。

問29. 男性の育児・介護休業制度の利用について、どう思いますか。(○は1つだけ)



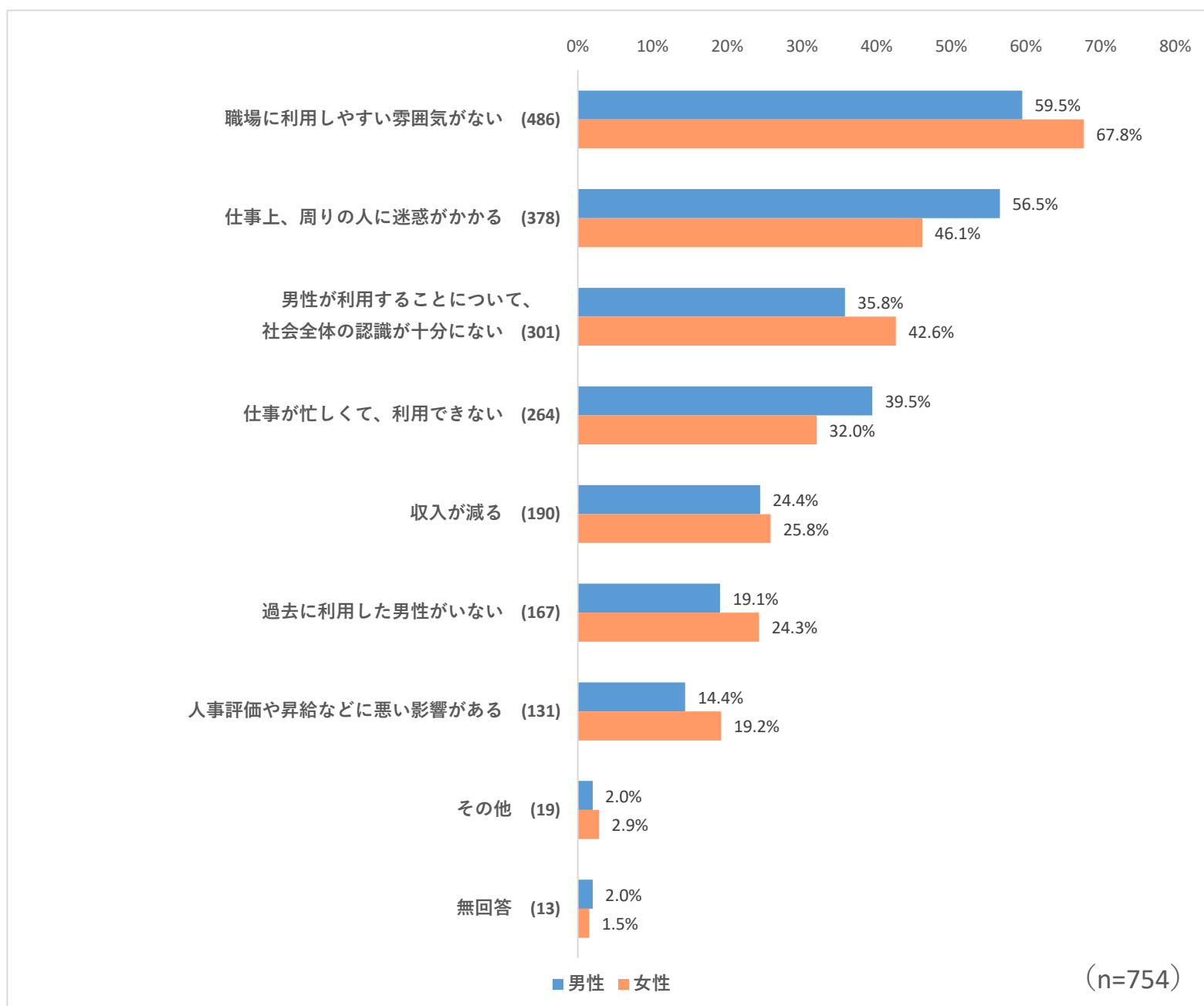
●性別にみると、男女とも全体結果と同様に、「男性も利用することは賛成だが、利用しづらいと思う」が最も高く（男性59.5%、女性48.3%）、次いで「男性も積極的に利用する方がいいと思う」となっている。

●年代別にみると、40歳未満では「男性も積極的に利用する方がいいと思う」が最も高くなっている。その他の年代においては「男性も利用することは賛成だが、利用しづらいと思う」が最も高くなっている。

●職業別にみると、公務員、学生・生徒では「男性も積極的に利用する方がいいと思う」が最も高く、公務員は64.4%となっている。それ以外の職業では「男性も利用することは賛成だが、利用しづらいと思う」が最も高くなっている。

問30. 育児・介護休業制度を利用する男性は、まだまだ少ないのが現状です。

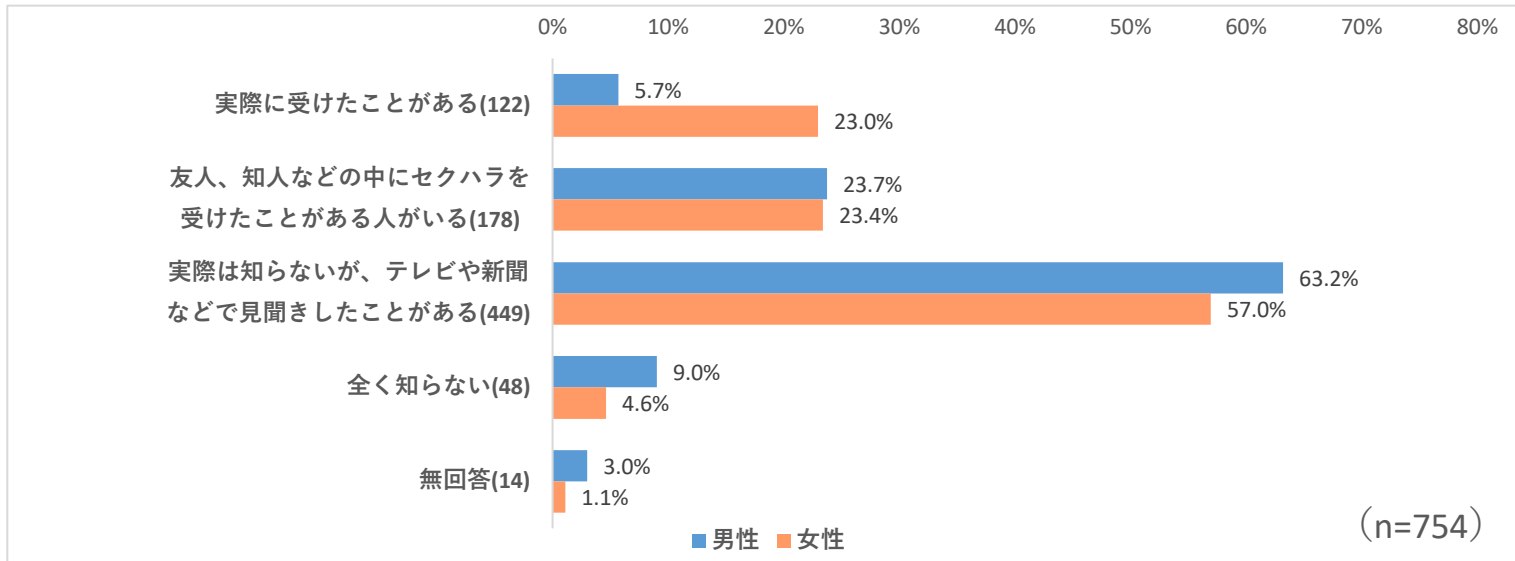
男性が利用しづらいと思われる理由は何だと思えますか。(○は3つまで)



●性別にみると、男性は「職場に利用しやすい雰囲気がない」が59.5%で最も高く、次いで「仕事上、周りの人に迷惑がかかる」(56.5%)、「仕事が忙しくて、利用できない」(39.5%)となっている。女性は「職場に利用しやすい雰囲気がない」が67.8%で最も高く、次いで「仕事上、周りの人に迷惑がかかる」(46.1%)、「男性が利用することについて、社会全体の認識が十分でない」(42.6%)となっている。

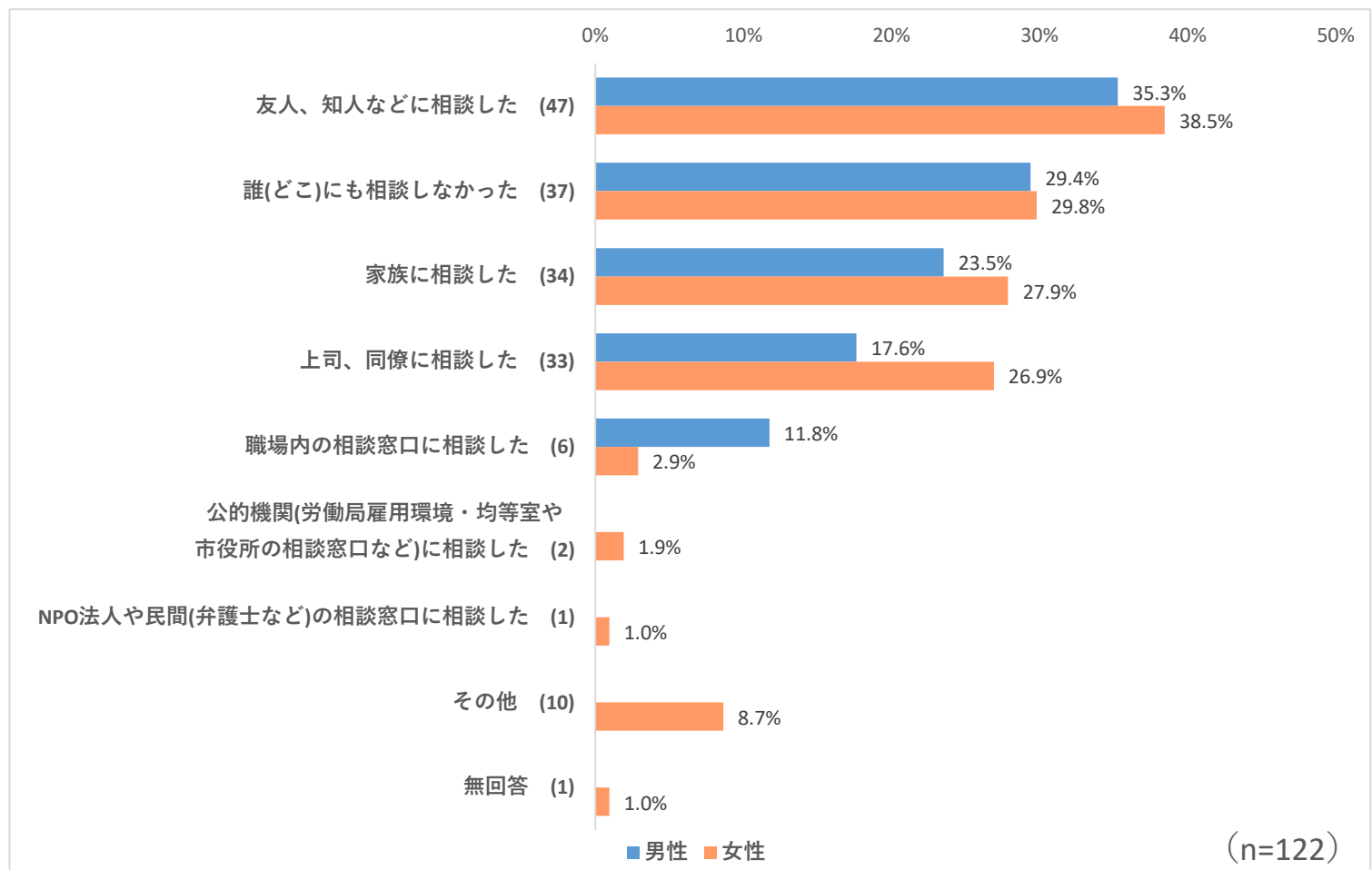
## 5. ハラスメントについて

問3 1. 今までセクシュアル・ハラスメント（セクハラ）の経験や見聞きしたことがありますか。  
（○はいくつでも）



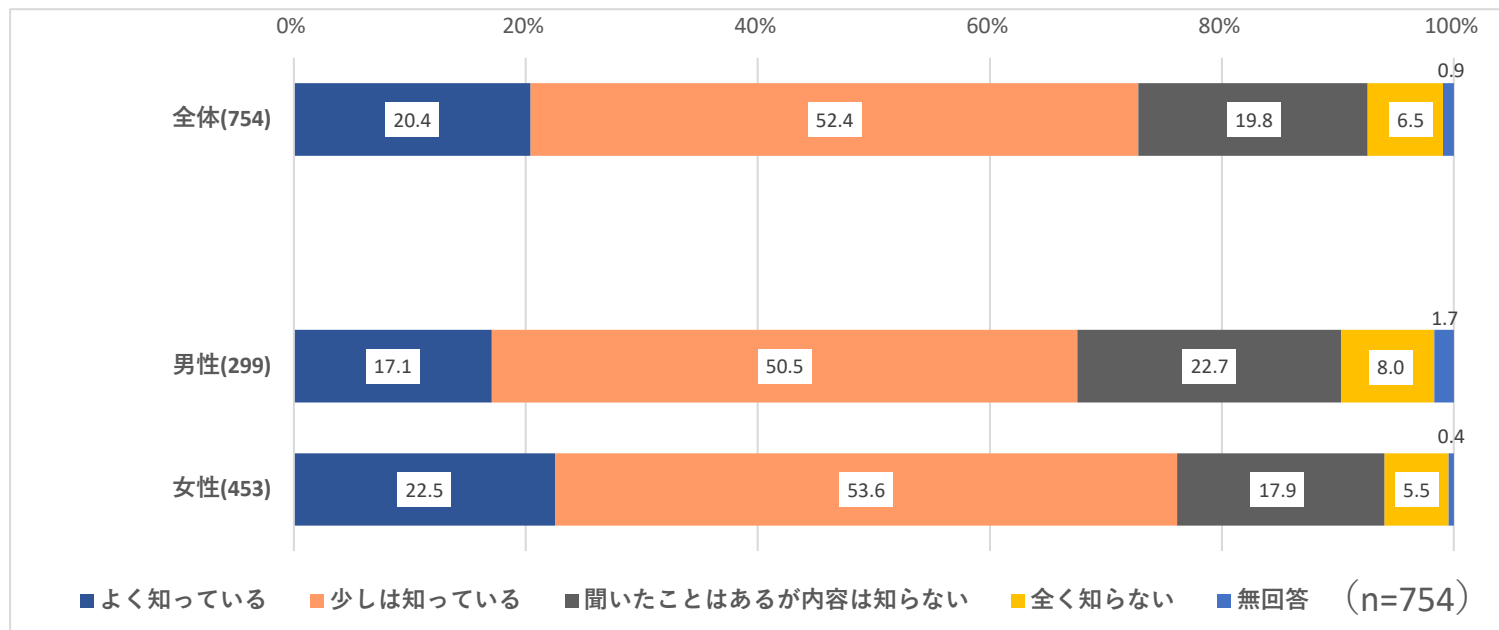
●性別にみると、男女とも「実際は知らないが、テレビや新聞などで見聞きしたことがある」が最も高く（男性63.2%、女性57.0%）なっている。次いで、男性は「友人、知人などの中にセクハラを受けたことがある人がいる」（23.7%）、「全く知らない」（9.0%）、女性は「友人、知人などの中にセクハラを受けたことがある人がいる」（23.4%）、「実際に受けたことがある」（23.0%）となっている。

問3 2. 問3 1で「実際に受けたことがある」を選んだ方にお聞きします。  
誰か（どこか）に相談をしましたか。（○はいくつでも）



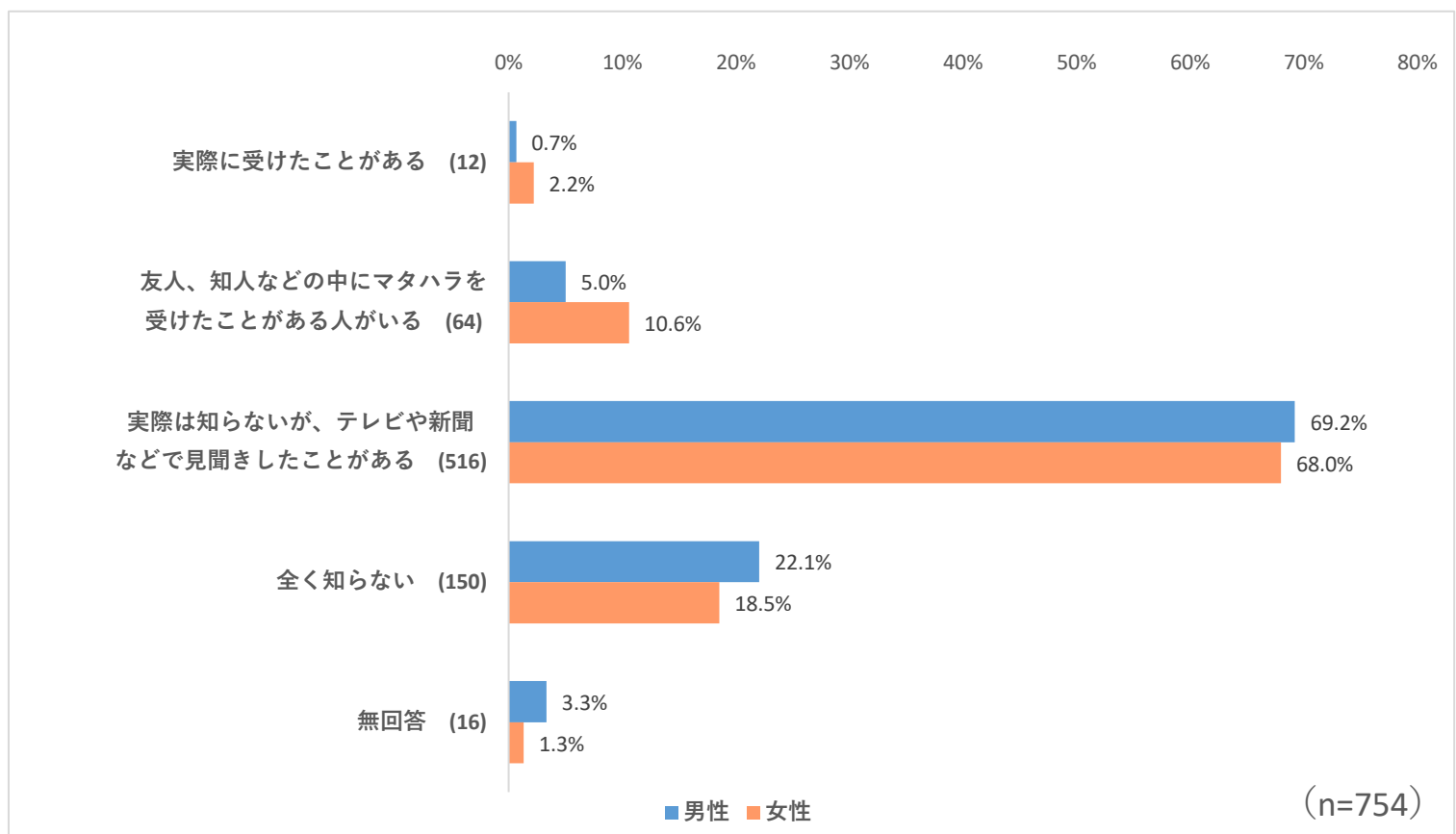
●性別にみると、男女ともに「友人、知人などに相談した」が最も高く、次いで「誰(どこ)にも相談しなかった」「家族に相談した」となっている。

問33. マタニティ・ハラスメント（マタハラ）について、ご存じですか。（○は1つだけ）



●性別にみると、男女ともに、「少しは知っている」が最も高く（男性50.5%、女性53.6%）、次いで男性は「聞いたことはあるが内容は知らない」、「よく知っている」となっており、女性は「よく知っている」、「聞いたことはあるが内容は知らない」となっている。

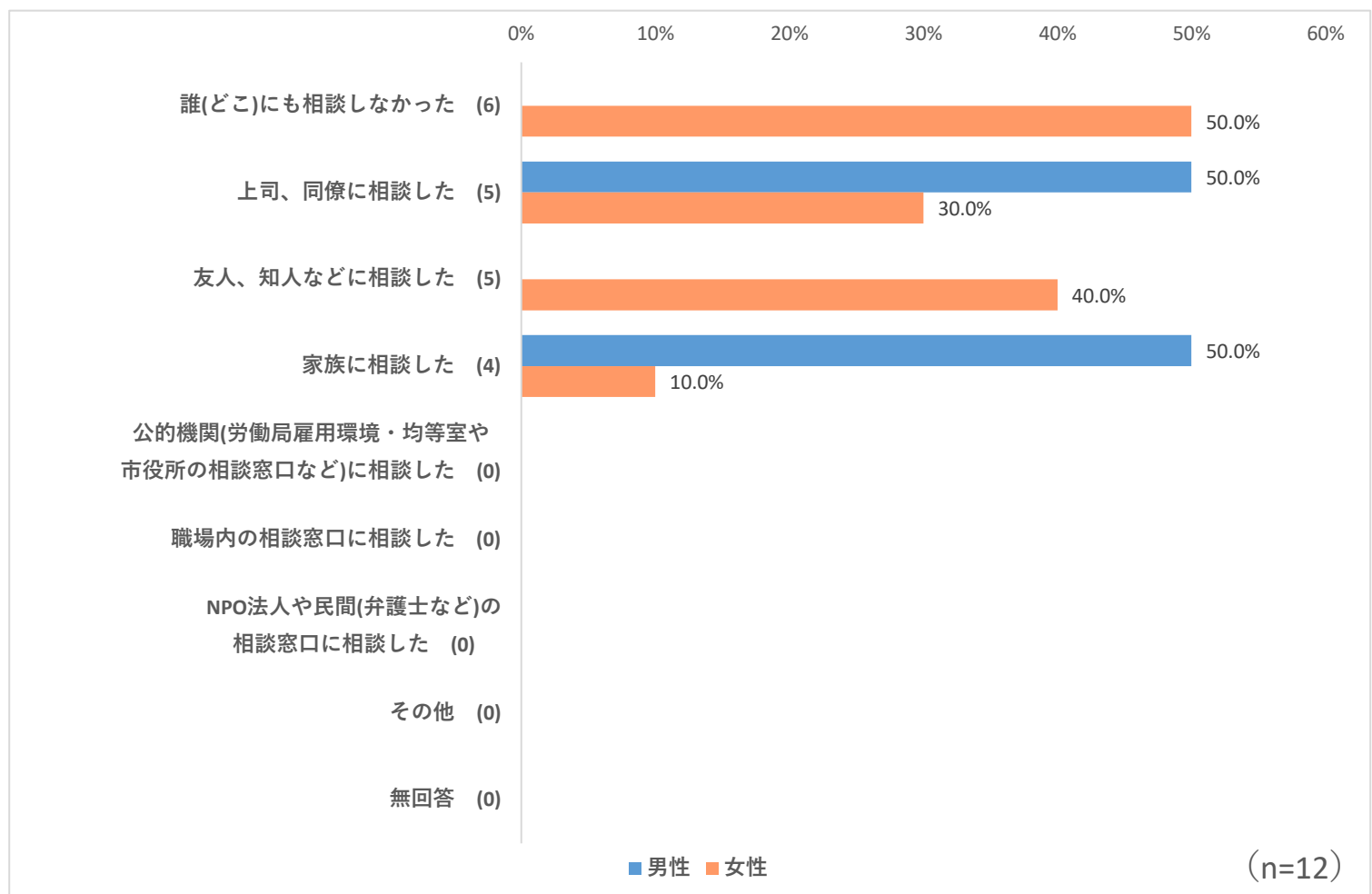
問34. 今までマタハラを経験や見聞きしたことがありますか。（○はいくつでも）



●性別にみると、男女ともに「実際は知らないが、テレビや新聞などで見聞きしたことがある」が最も高く（男性69.2%、女性68.0%）、次いで「全く知らない」、「友人、知人などの中にマタハラを受けたことがある人がいる」となっている。

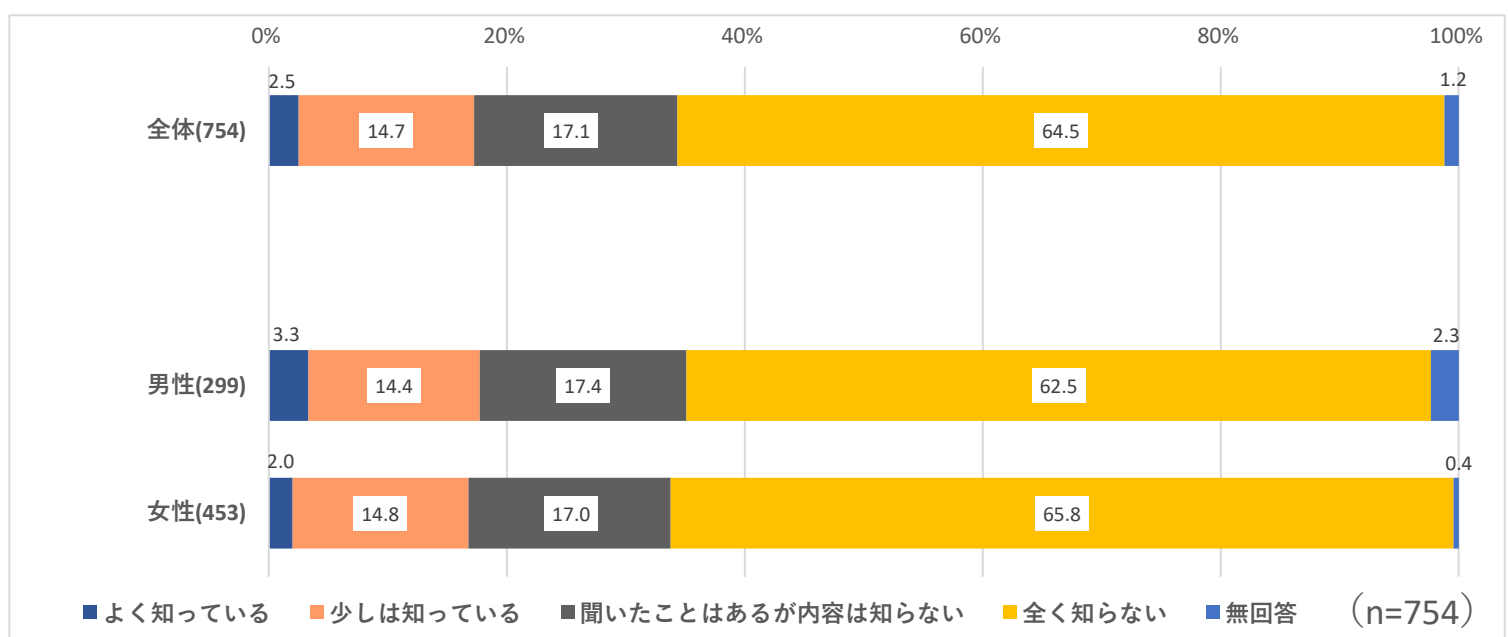
問35. 問34で「実際に受けたことがある」を選んだ方にお聞きします。

誰か（どこか）に相談をしましたか。（○はいくつでも）



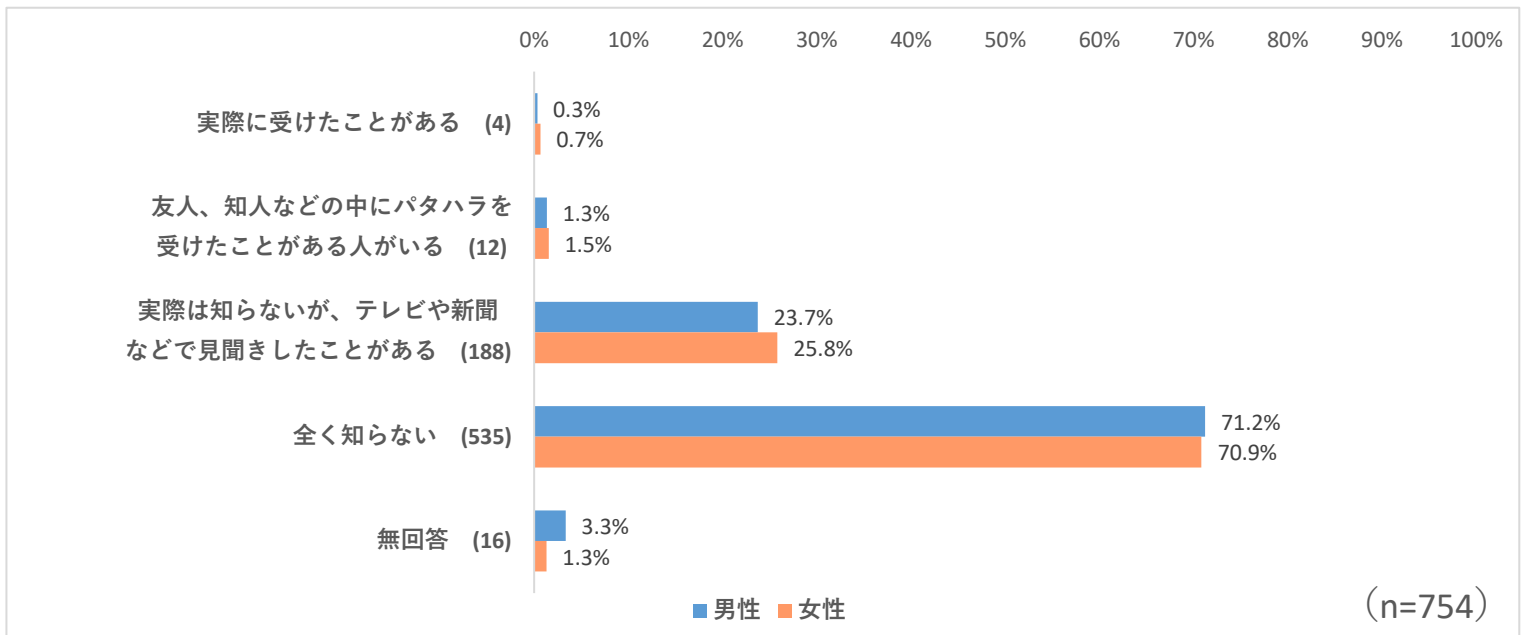
●性別にみると、男性は「上司、同僚に相談した」と「家族に相談した」が最も高く同率の50.0%となっている。女性は「誰(どこ)にも相談しなかった」が50.0%で最も高く、次いで「友人、知人などに相談した」（40.0%）、「上司、同僚に相談した」（30.0%）となっている。

問36. パタニティ・ハラスメント（パタハラ）について、ご存じですか。（○は1つだけ）



●性別にみると、男女とも全体結果と同様に、「全く知らない」が最も高く（男性62.5%、女性65.8%）、次いで「聞いたことはあるが内容は知らない」、「少しは知っている」となっている。

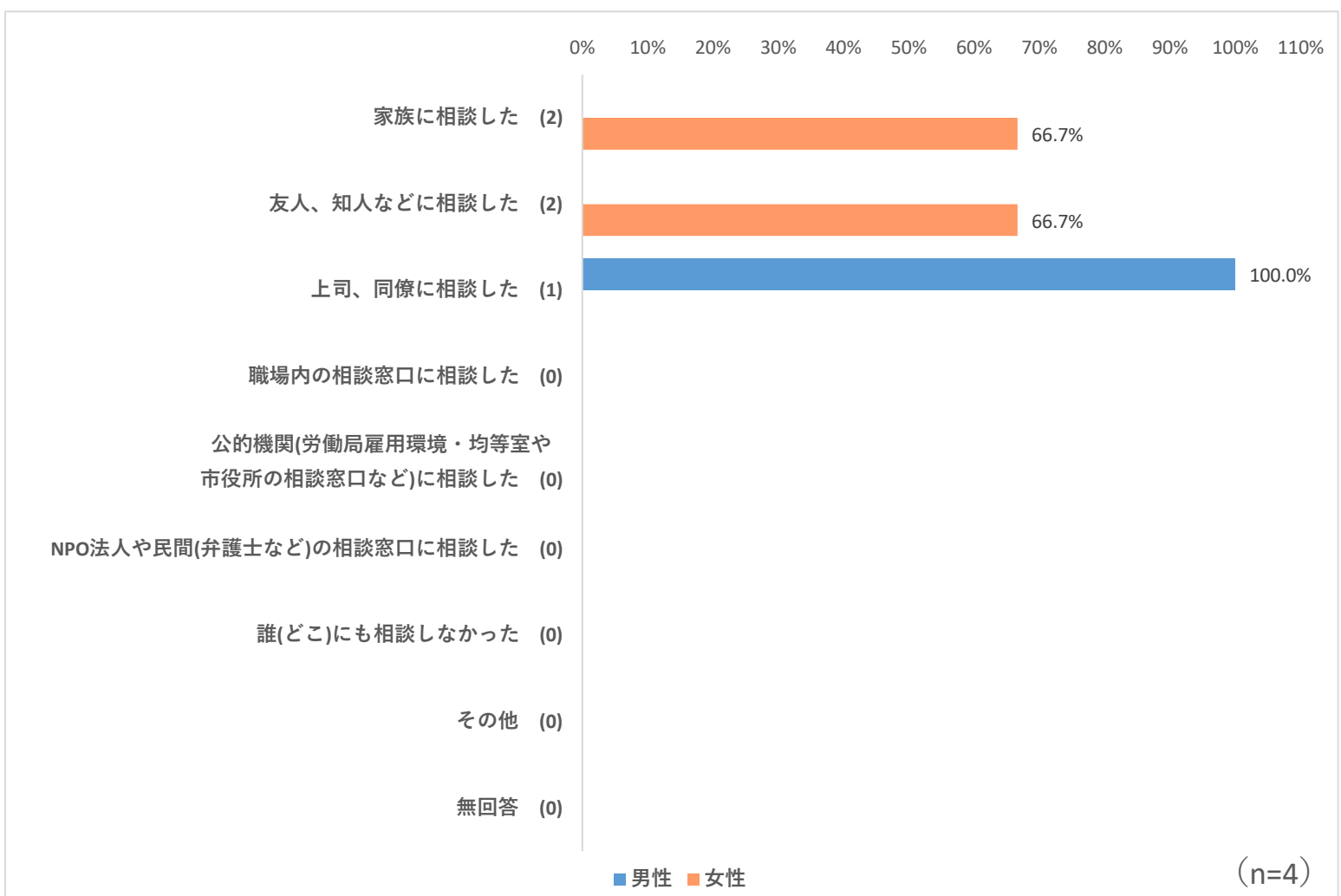
問37. 今までパタハラを経験や見聞きしたことがありますか。(○はいくつでも)



●性別にみると、男女とも「全く知らない」が最も高く（男性71.2%、女性70.9%）、次いで「実際は知らないが、テレビや新聞などで見聞きしたことがある」、「友人、知人などの中にパタハラを受けたことがある人がいる」となっている。

問38. 問37で「実際に受けたことがある」を選んだ方にお聞きします。

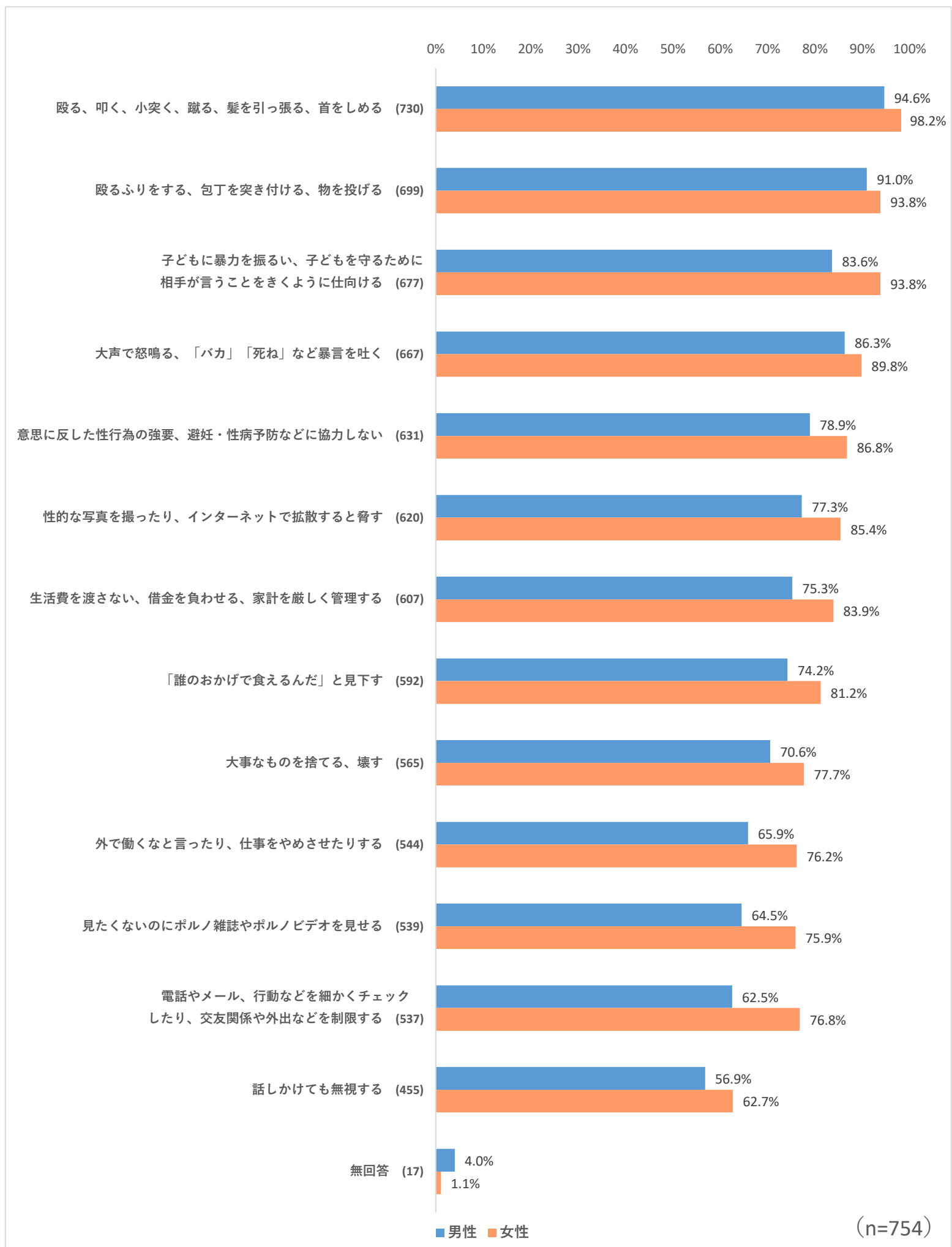
誰か(どこか)に相談をしましたか。(○はいくつでも)



●性別にみると、男性は「上司、同僚に相談した」、女性は「家族に相談した」と「友人、知人などに相談した」となっている。

## 6. ドメスティック・バイオレンス（DV）について

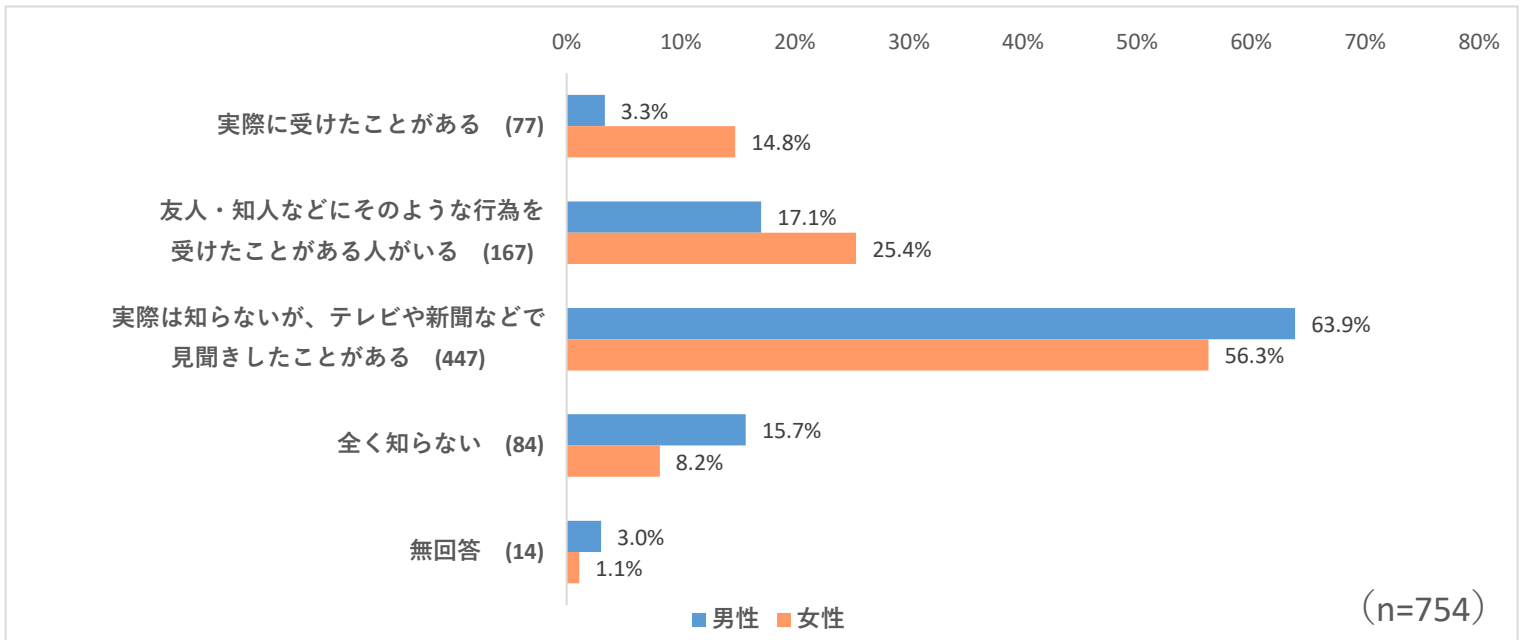
問39. 下記の行為はDVに該当すると思いますか。（○はいくつでも）



●性別にみると、女性は男性よりもドメスティック・バイオレンスに該当すると回答する割合が多くなっている。

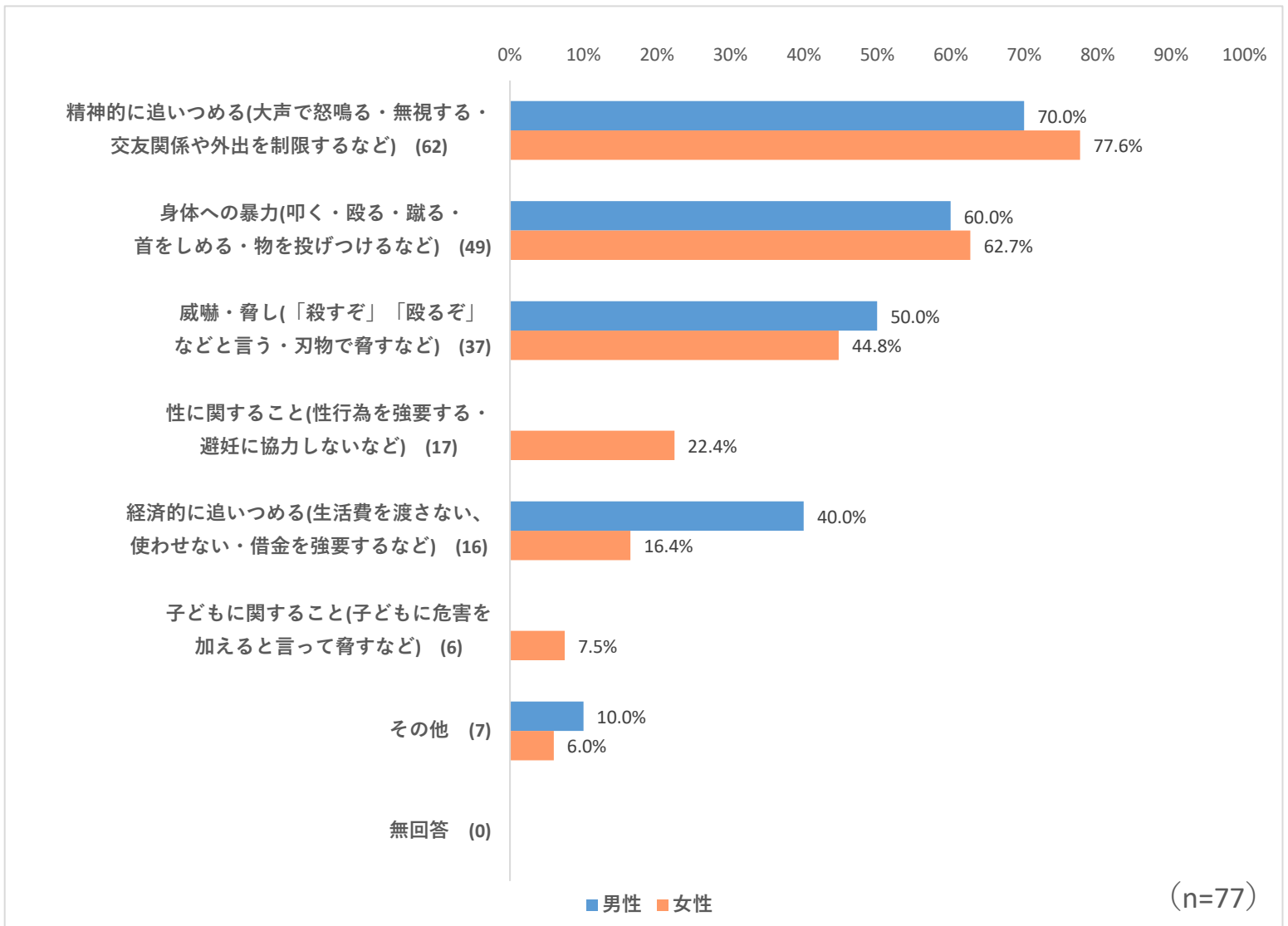


問40. これまでに、DVを受けたことや見聞きしたことがありますか。(○はいくつでも)



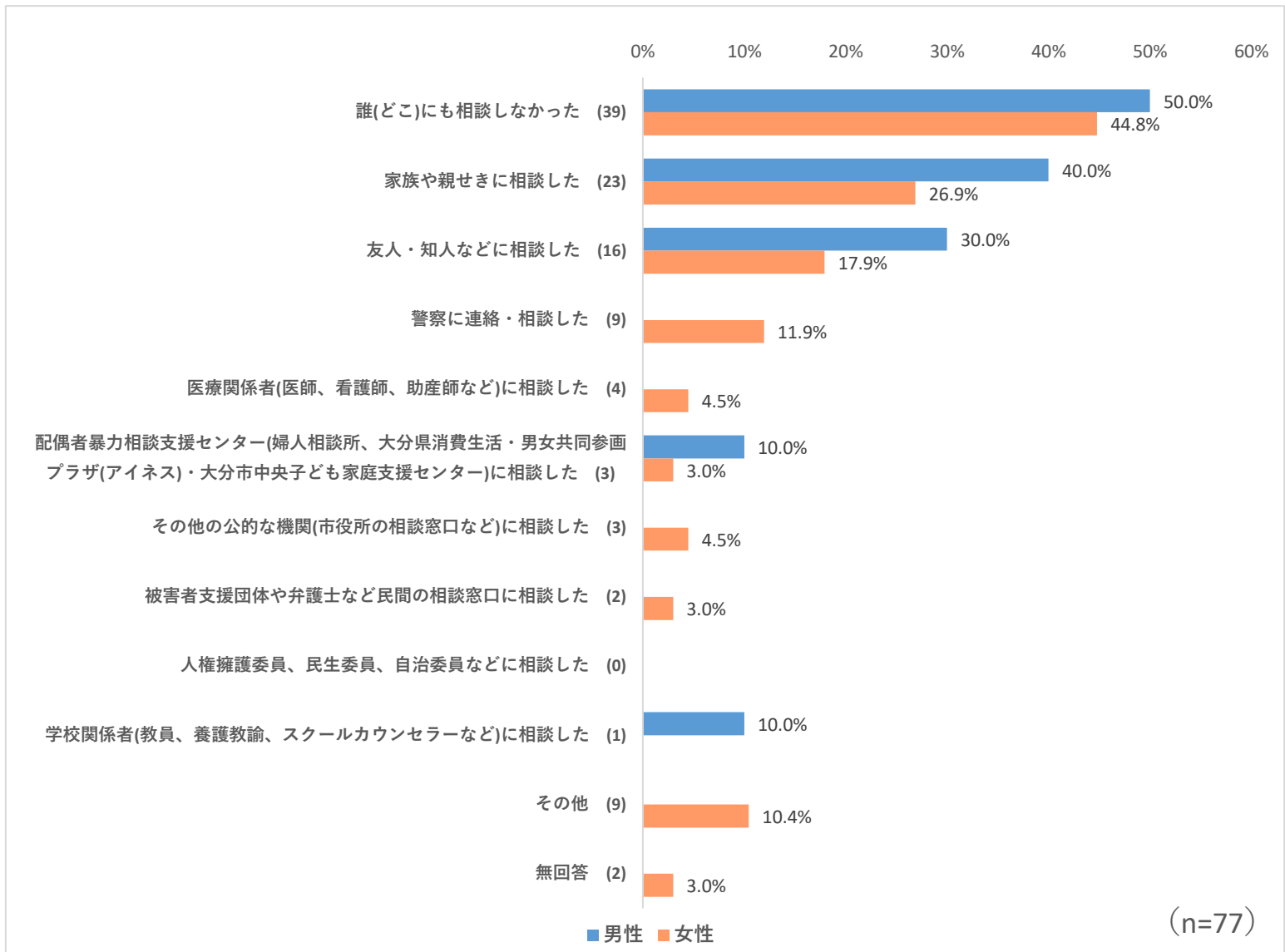
●性別にみると、男性は「実際に受けたことがある」と「友人・知人などにそのような行為と受けたことがある人を知っている」を合わせ20.4%に対し、女性は40.2%となっている。

問41. 問40で「実際に受けたことがある」を選んだ方にお聞きします。それは次のどれにあたりますか。(○はいくつでも)



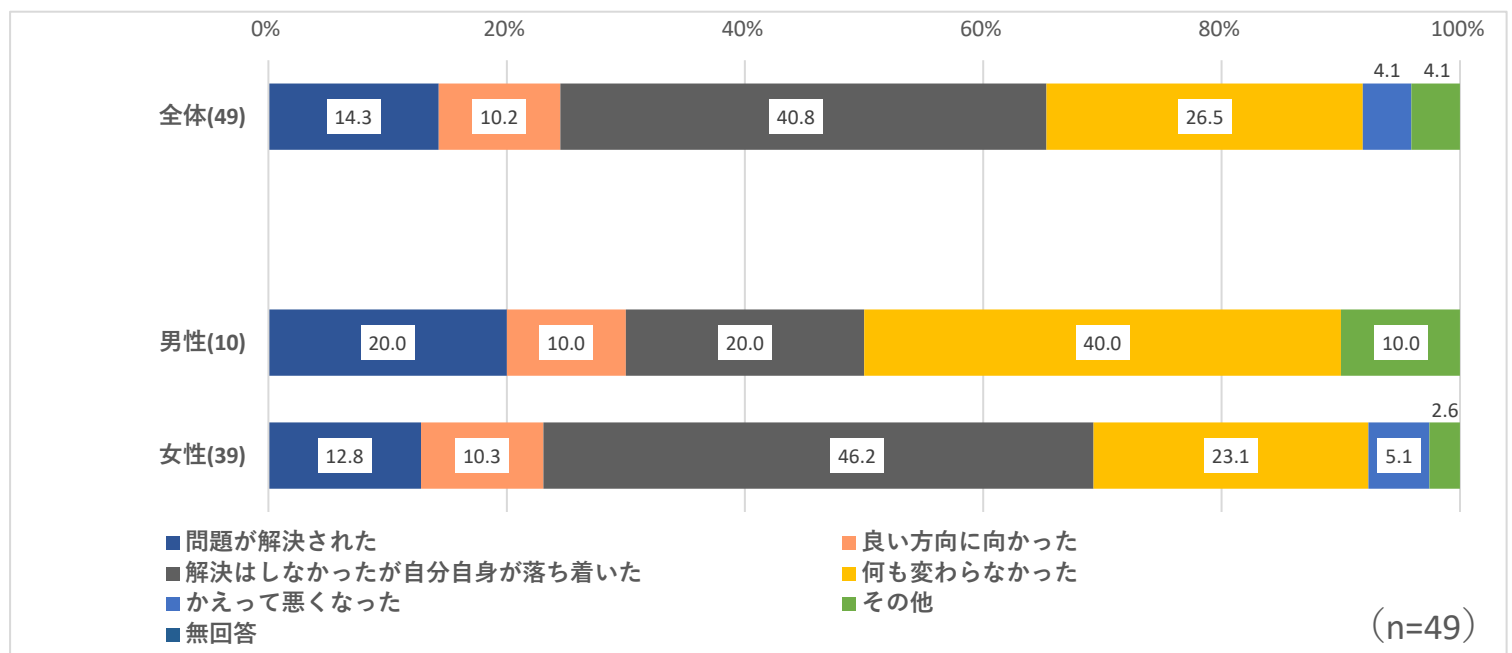
●性別にみると、男女とも「精神的に追いつめる」が最も高く、次いで「身体への暴力」「威嚇・脅し」となっている。他の回答では男性は「経済的に追いつめる」(40.0%)、女性は「性に関すること」(22.4%)が高い割合となっている。

問4 2. 問4 0で「実際に受けたことがある」を選んだ方にお聞きします。  
誰か（どこか）に相談をしましたか。（○はいくつでも）



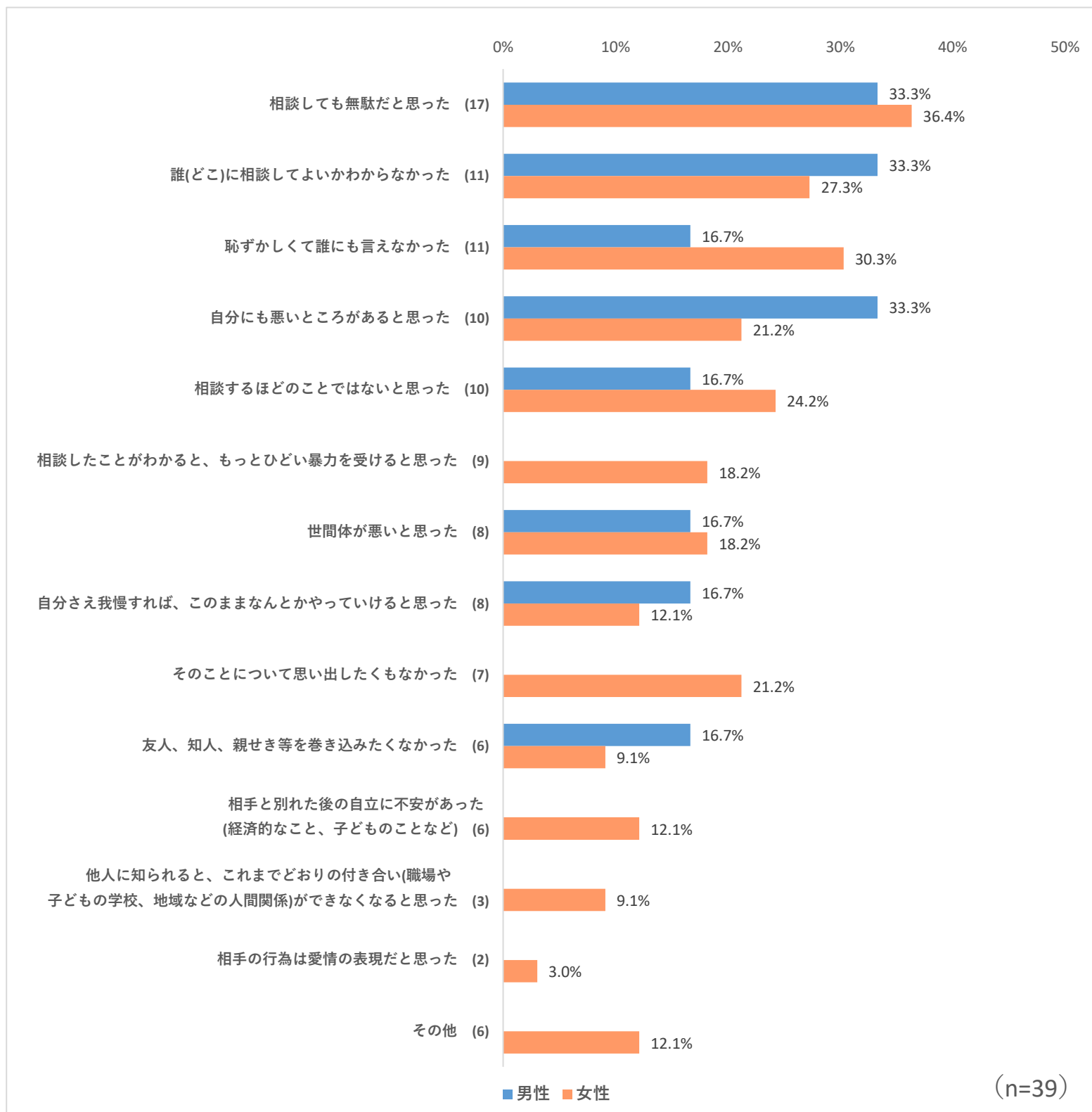
●性別にみると、男女ともに「誰（どこ）にも相談しなかった」が最も高く、次いで「家族や親せきに相談した」、「友人・知人などに相談した」となっている。

問4 3. 問4 2で、誰か（どこか）に相談した方で、その結果どのようになりましたか。  
（○は1つだけ）



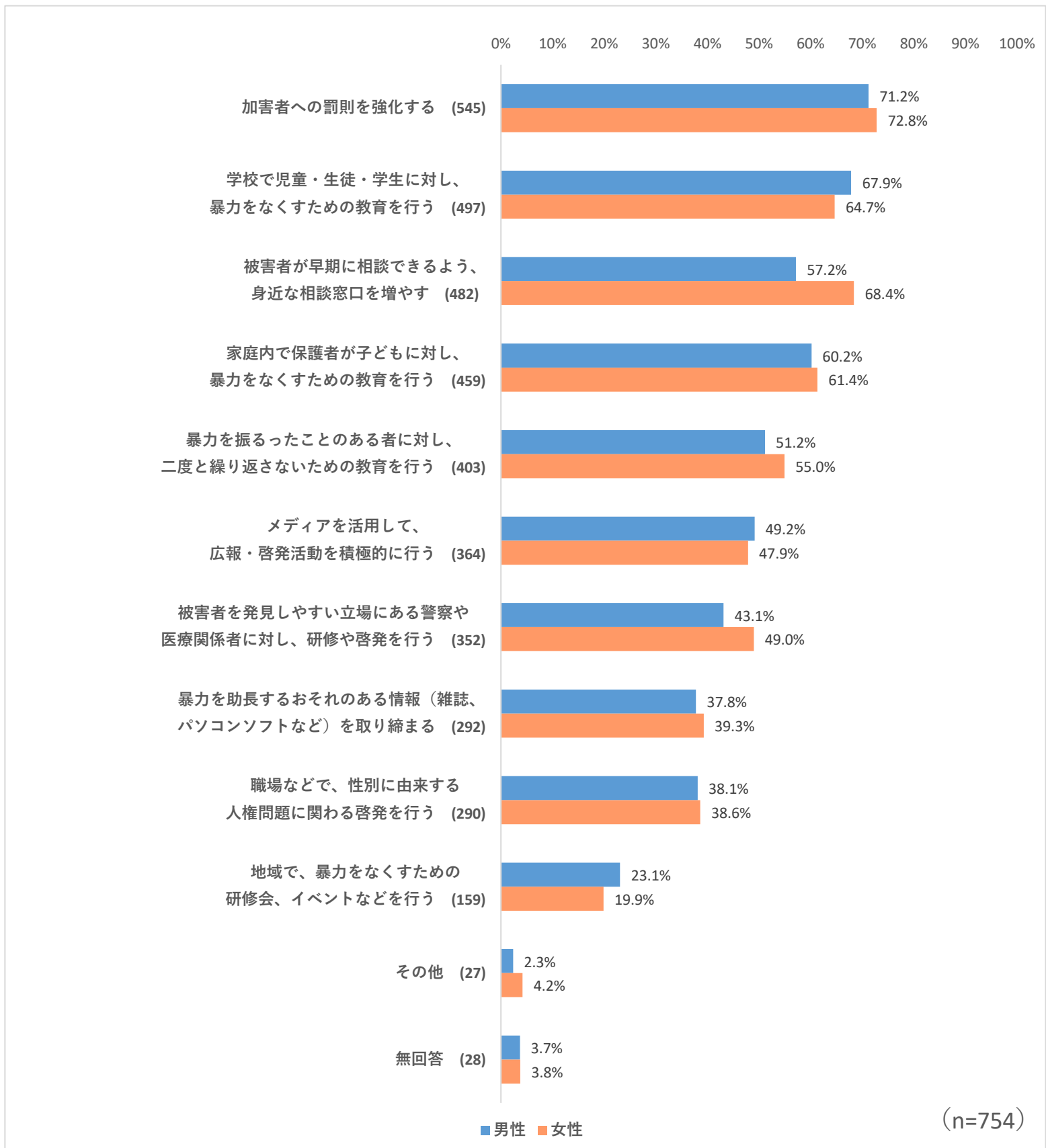
●性別にみると、男性では「何も変わらなかった」が40.0%で最も高くなっており、次いで「問題が解決された」と「解決はしなかったが自分自身が落ち着いた」が20.0%となっている。女性では「解決はしなかったが自分自身が落ち着いた」が46.2%と最も高くなっており、次いで「何も変わらなかった」(23.1%)、「問題が解決された」(12.8%)となっている。

問4.4. 問4.2で「誰(どこ)にも相談しなかった」を選んだ方にお聞きします。  
 どうしてですか。(〇はいくつでも)



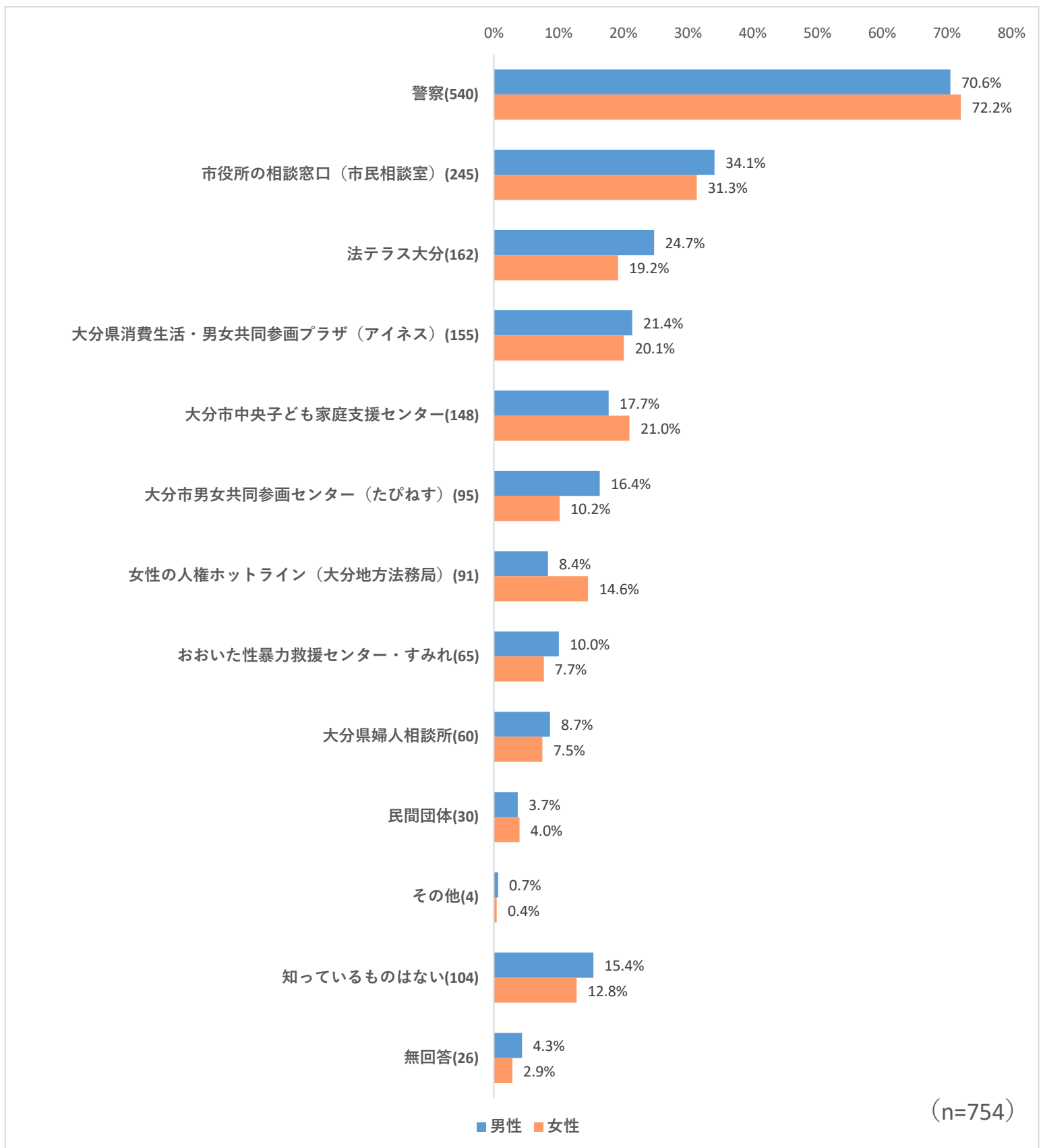
●性別にみると、男性は「相談しても無駄だと思った」、「誰(どこ)に相談してよいかわからなかった」、「自分にも悪いところがあると思った」が同率で33.3%と高くなっている。女性は「相談しても無駄だと思った」が36.4%で最も高く、次いで「恥ずかしくて誰にも言えなかった」(30.3%)、「誰(どこ)に相談してよいかわからなかった」(27.3%)となっている。

問45. 性犯罪、売買春（援助交際を含む）、DV、セクハラ、ストーカー行為等の暴力をなくすために必要な対策は何だと思えますか。（○はいくつでも）



●性別にみると、男性は「加害者への罰則を強化する」が71.2%で最も高く、次いで「学校で児童・生徒・学生に対し、暴力をなくすための教育を行う」（67.9%）、「家庭内で保護者が子どもに対し、暴力をなくすための教育を行う」（60.2%）となっている。女性は「加害者への罰則を強化する」が72.8%で最も高く、次いで「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」（68.4%）、「学校で児童・生徒・学生に対し、暴力をなくすための教育を行う」（64.7%）となっている。

問4 6. DVについて、相談できる窓口があることを知っていますか。(○はいくつでも)

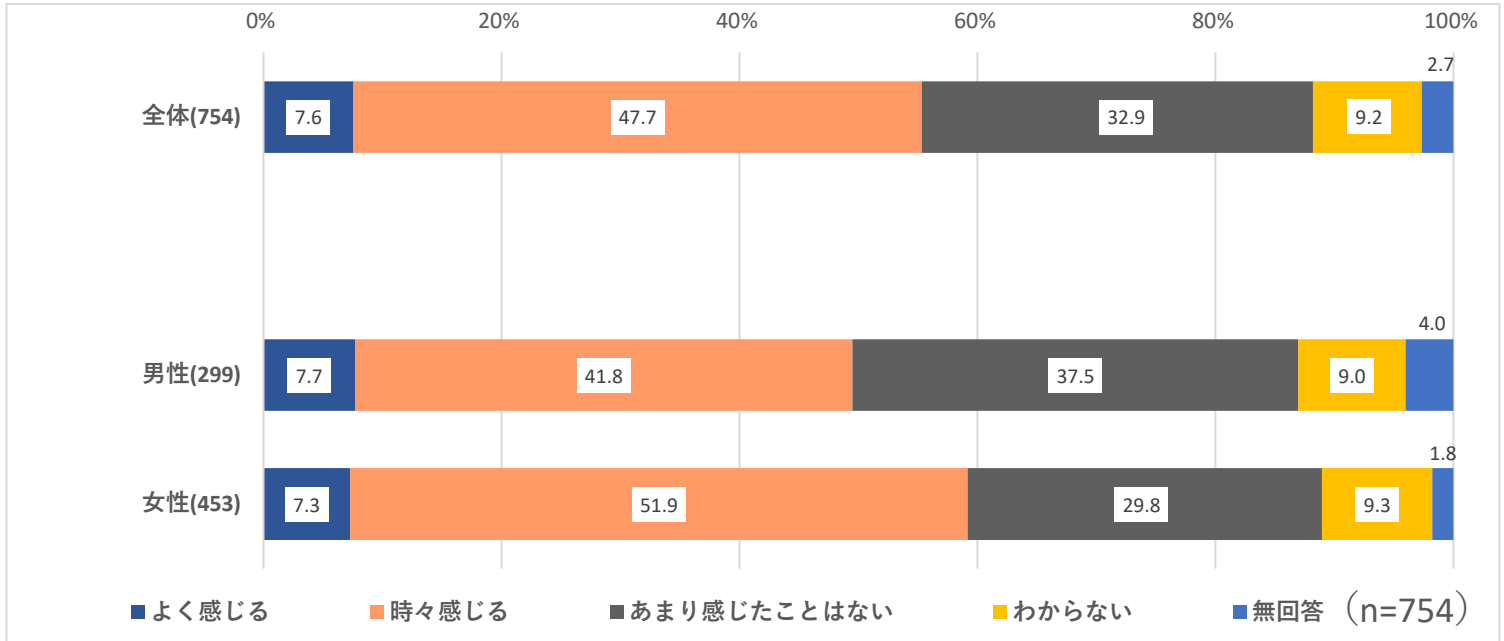


●性別にみると、男性は「警察」(70.6%)、「市役所の相談窓口(市民相談室)」(34.1%)、「法テラス大分」(24.7%)となっている。女性は「警察」(72.2%)、「市役所の相談窓口(市民相談室)」(31.3%)、「大分市中央子ども家庭支援センター」(21.0%)となっている。

## 7. メディアでの表現について

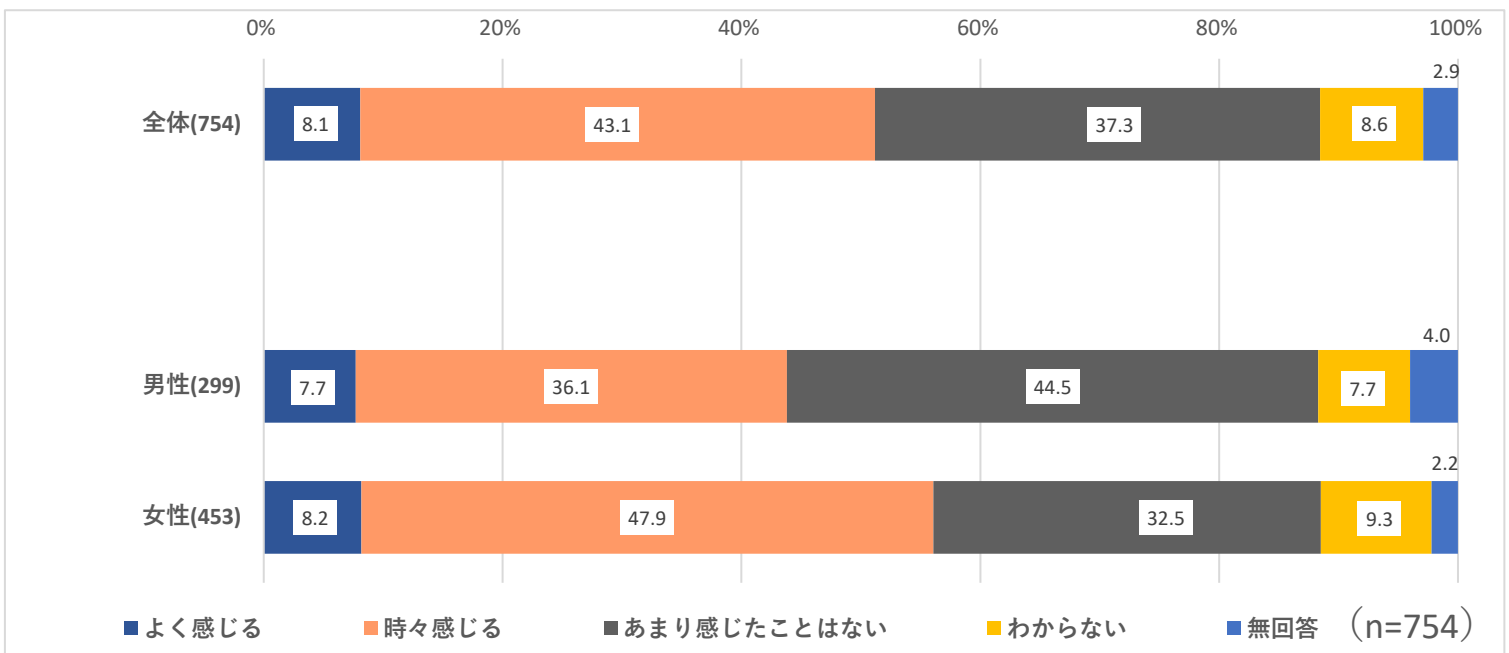
問47. 新聞、テレビ、インターネット上の広告や番組等を見て、次のそれぞれの項目についてどのように感じたことがありますか。（○はそれぞれ1つつ）

### 【a. 女性や男性の役割を固定的にとらえた表現をしている】



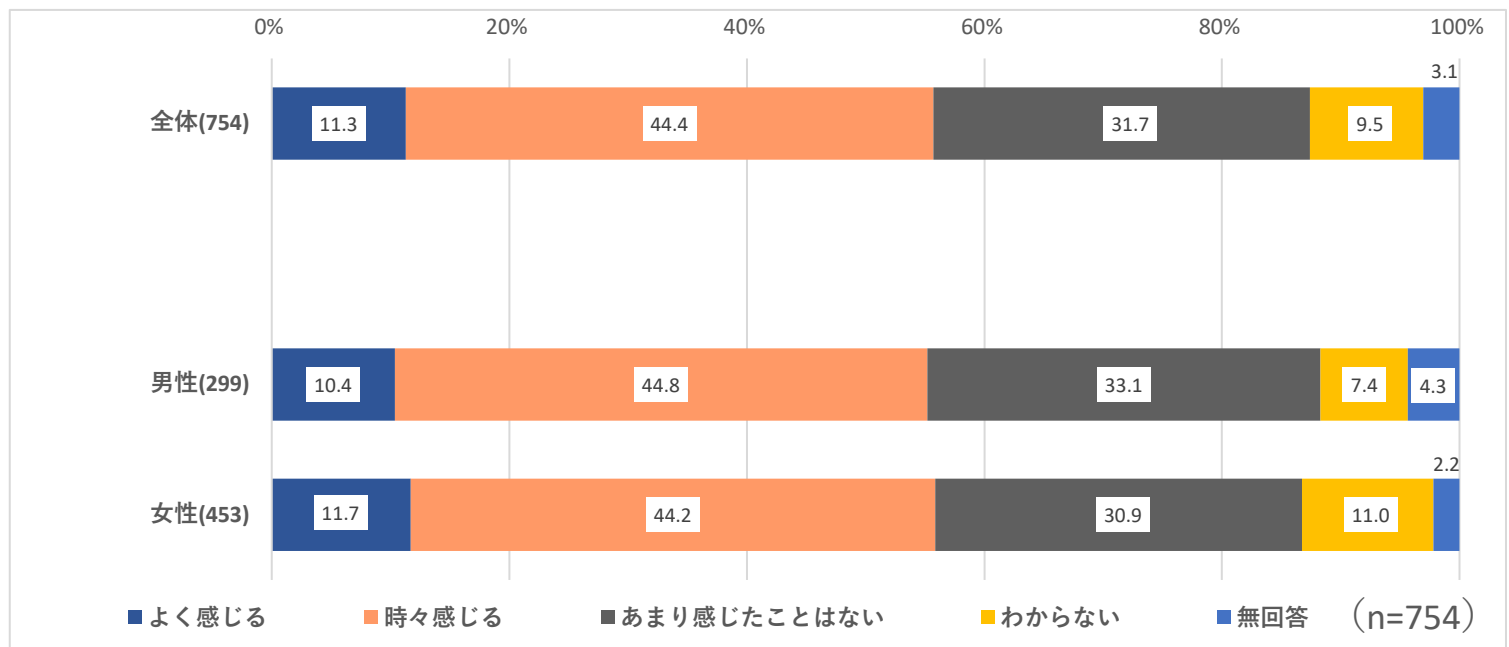
●性別にみると、男性は「よく感じる」が7.7%、「時々感じる」が41.8%、「あまり感じたことはない」が37.5%となっている。女性は「よく感じる」が7.3%、「時々感じる」は51.9%で男性より高く、「あまり感じたことはない」は29.8%で男性より低くなっている。

### 【b. 女性と男性を対等に扱っていない】



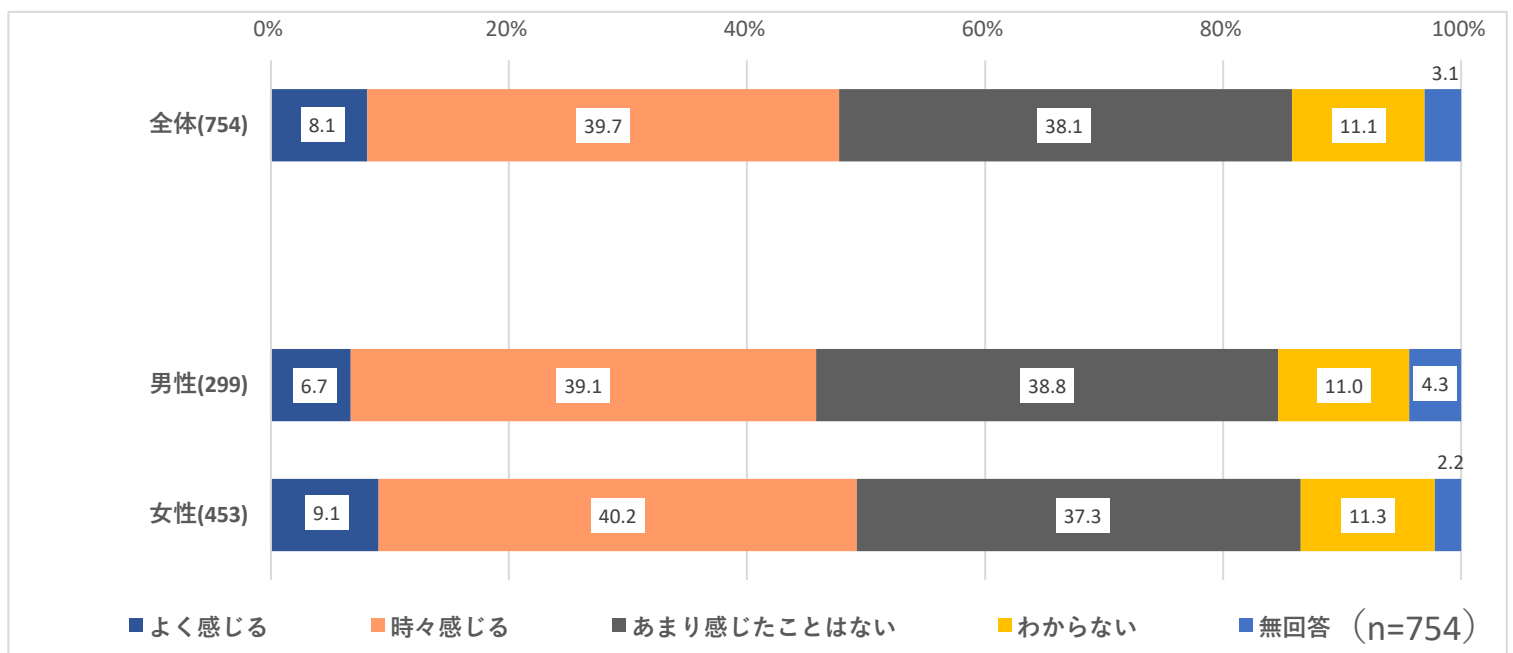
●性別にみると、男性は「よく感じる」が7.7%、「時々感じる」が36.1%、「あまり感じたことはない」が44.5%となっている。女性は「よく感じる」が8.2%、「時々感じる」は47.9%で男性より高く、「あまり感じたことはない」は32.5%で男性より低くなっている。

【c. 過度に女性の性的側面を強調した表現がある】



●性別にみると、男女とも全体とほぼ同様の結果となっている。

【d. 女性に対する性犯罪を助長するおそれがあるのではと、心配になる表現がある】

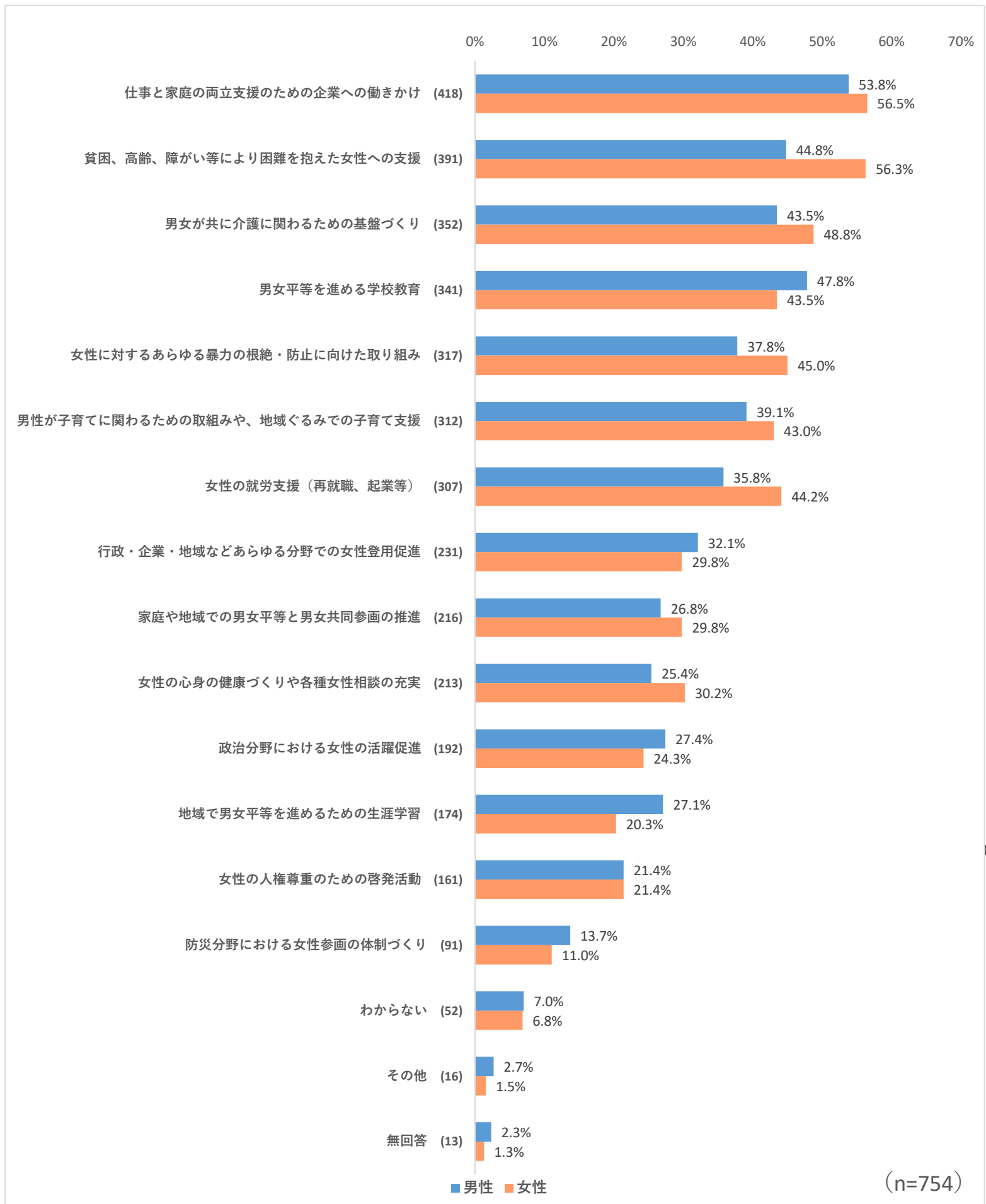


●性別にみると、男女とも全体とほぼ同様の結果となっている。

## 8. 男女共同参画に関する施策などについて

問48. 男女共同参画社会の実現のために大分市にどのような施策を望みますか。

(○はいくつでも)

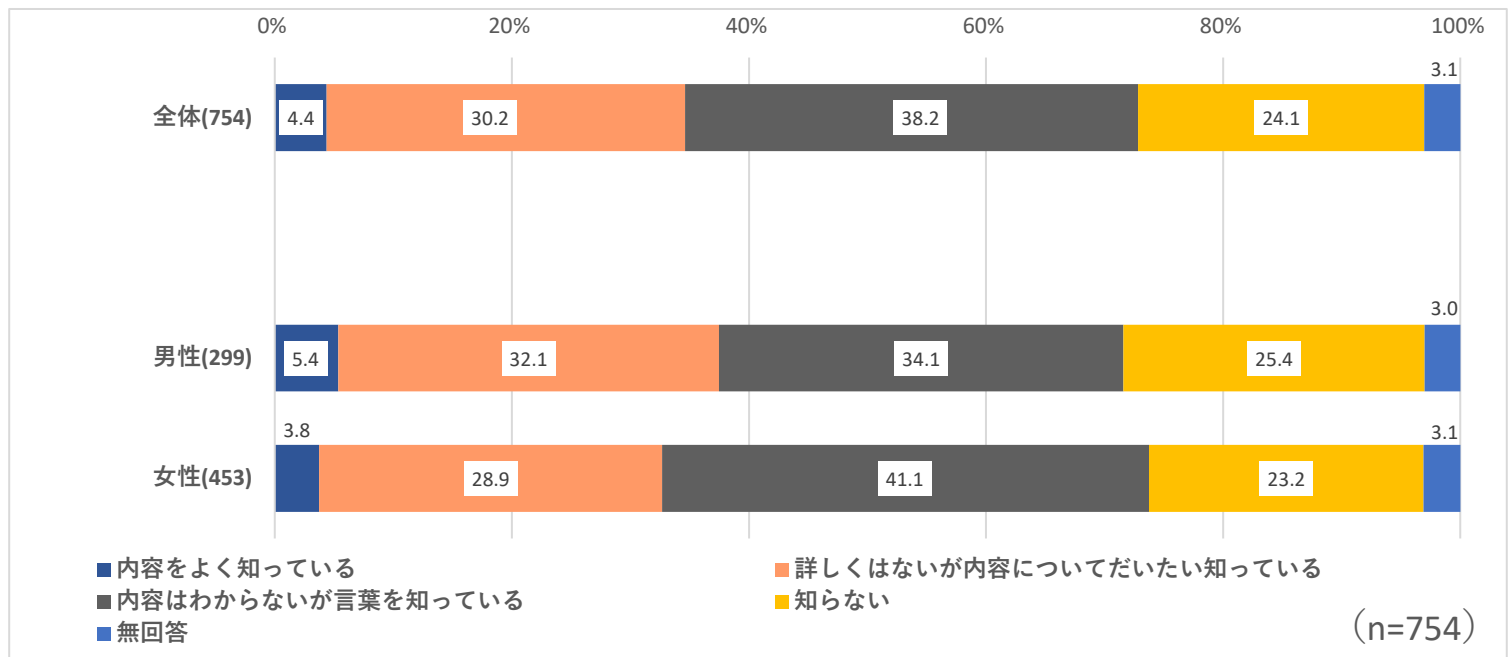


●性別にみると、男女とも「仕事と家庭の両立支援のための企業への働きかけ」が最も高く（男性53.8%、女性56.5%）、次いで、男性は「男女平等を進める学校教育」（47.8%）、「貧困、高齢、障がい等により困難を抱えた女性への支援」（44.8%）、女性は「貧困、高齢、障害等により困難を抱えた女性への支援」（56.3%）、「男女が共に介護に関わるための基盤づくり」（48.8%）となっている。



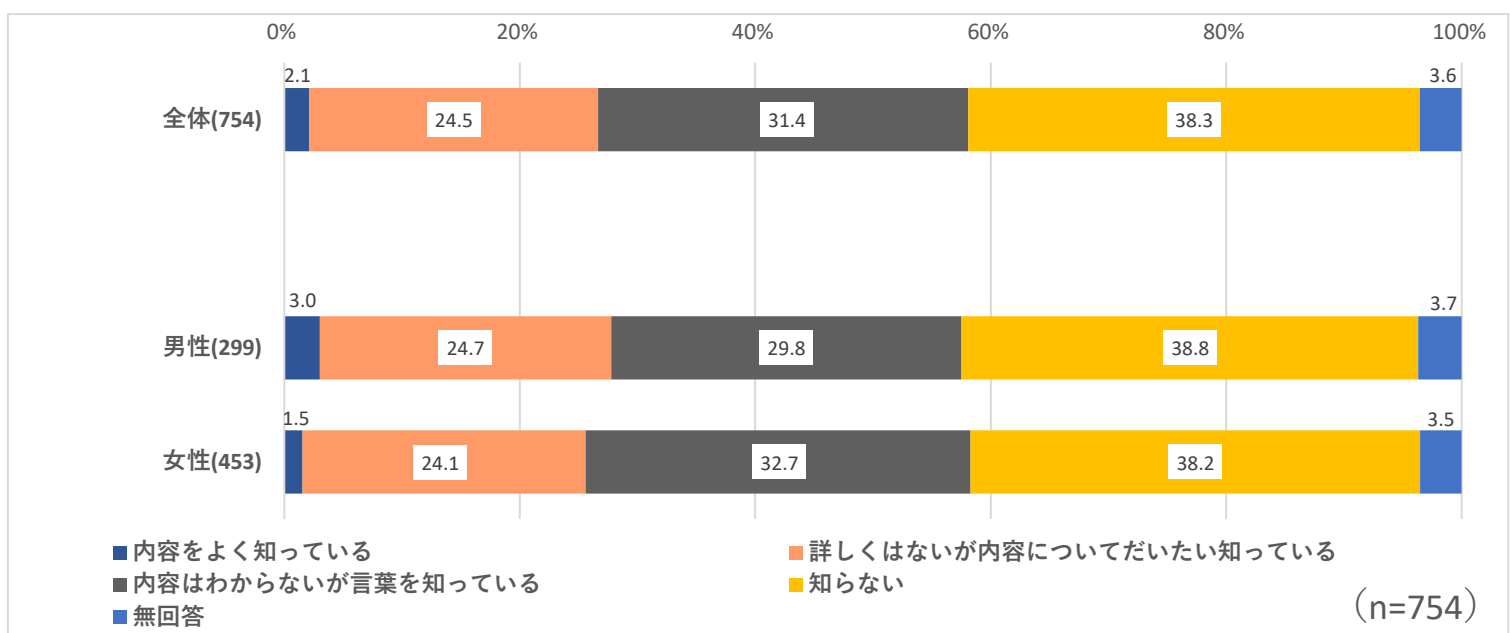
問49. 下記の項目について知っていますか。(○はそれぞれ1つつ)

【a. 男女共同参画社会】



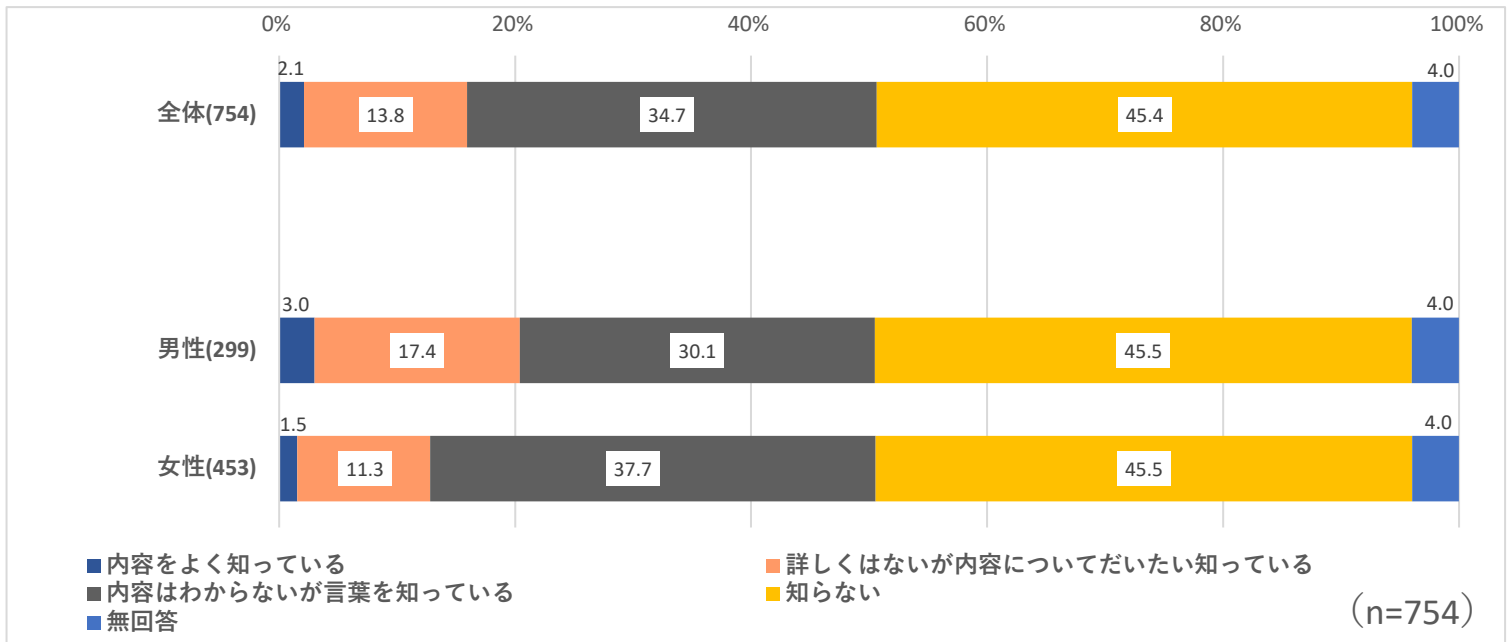
●性別にみると、男女とも「内容はわからないが言葉を知っている」が最も高くなっているが（男性34.1%、女性41.1%）、男性は「詳しくはないが内容についてだいたい知っている」が32.1%で、女性（28.9%）に比べて高くなっている。また、「知らない」は、男性は25.4%で、女性の23.2%と比較すると高くなっている。

【b. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(配偶者暴力防止法)】



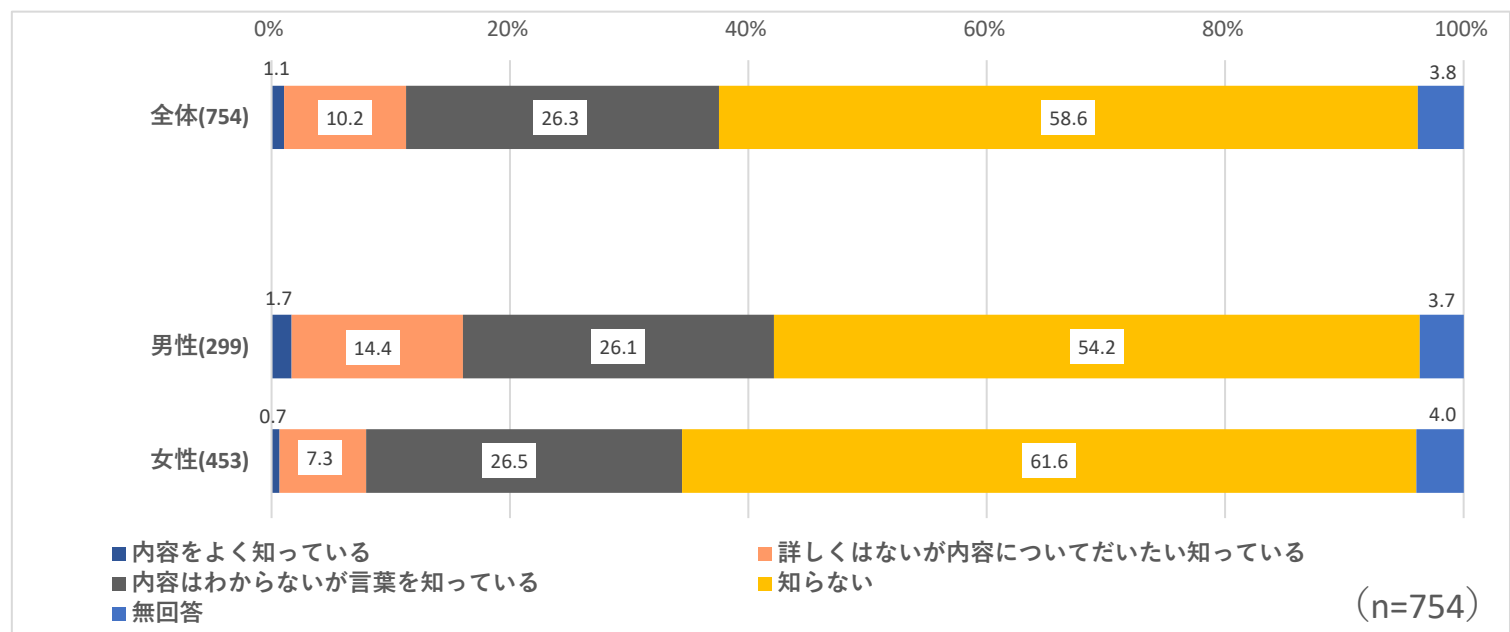
●性別にみると、男女とも全体結果と同様に、「知らない」が最も高く（男性38.8%、女性38.2%）、次いで「内容はわからないが言葉を知っている」、「詳しくはないが内容についてだいたい知っている」となっている。

【c. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)】



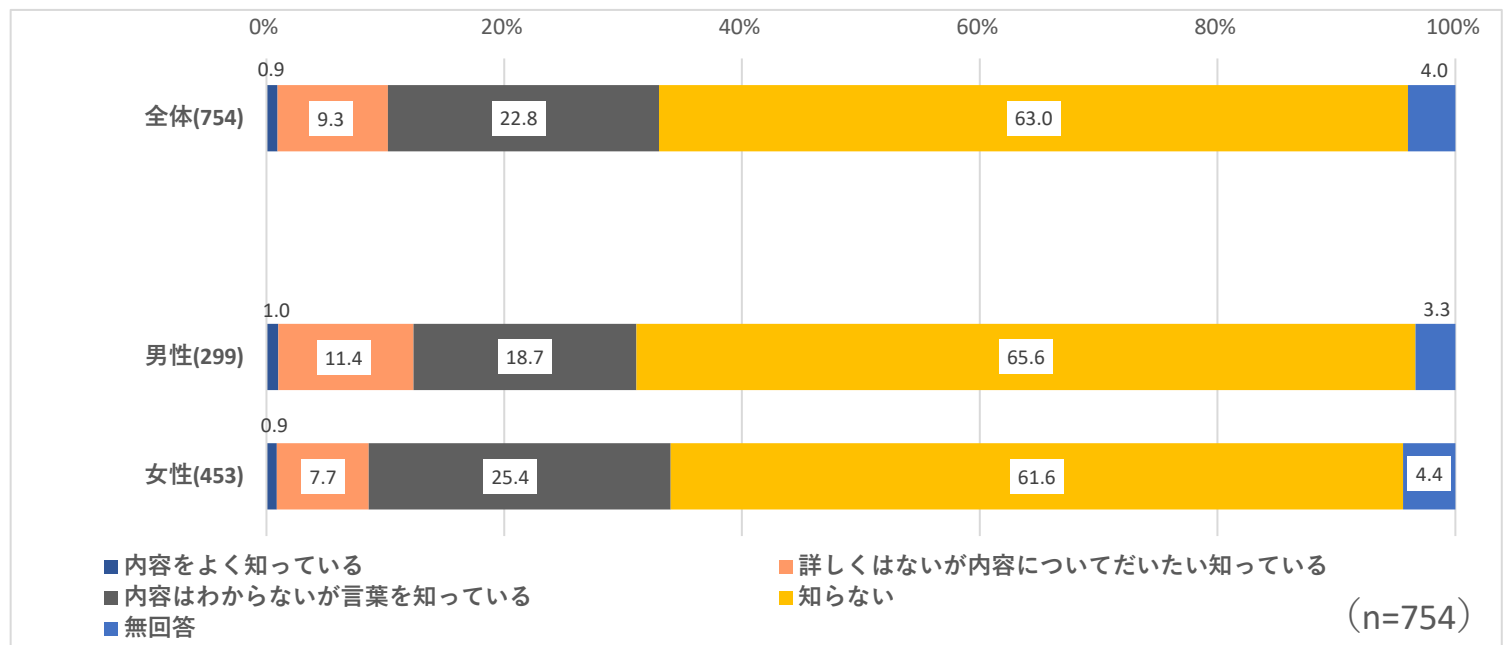
●性別にみると、男性は「詳しくはないが内容についてだいたい知っている」が女性よりも高く（男性：17.4%、女性：11.3%）、女性は「内容はわからないが言葉を知っている」が男性よりも高くなっている（男性：30.1%、女性：37.7%）。

【d. 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律】



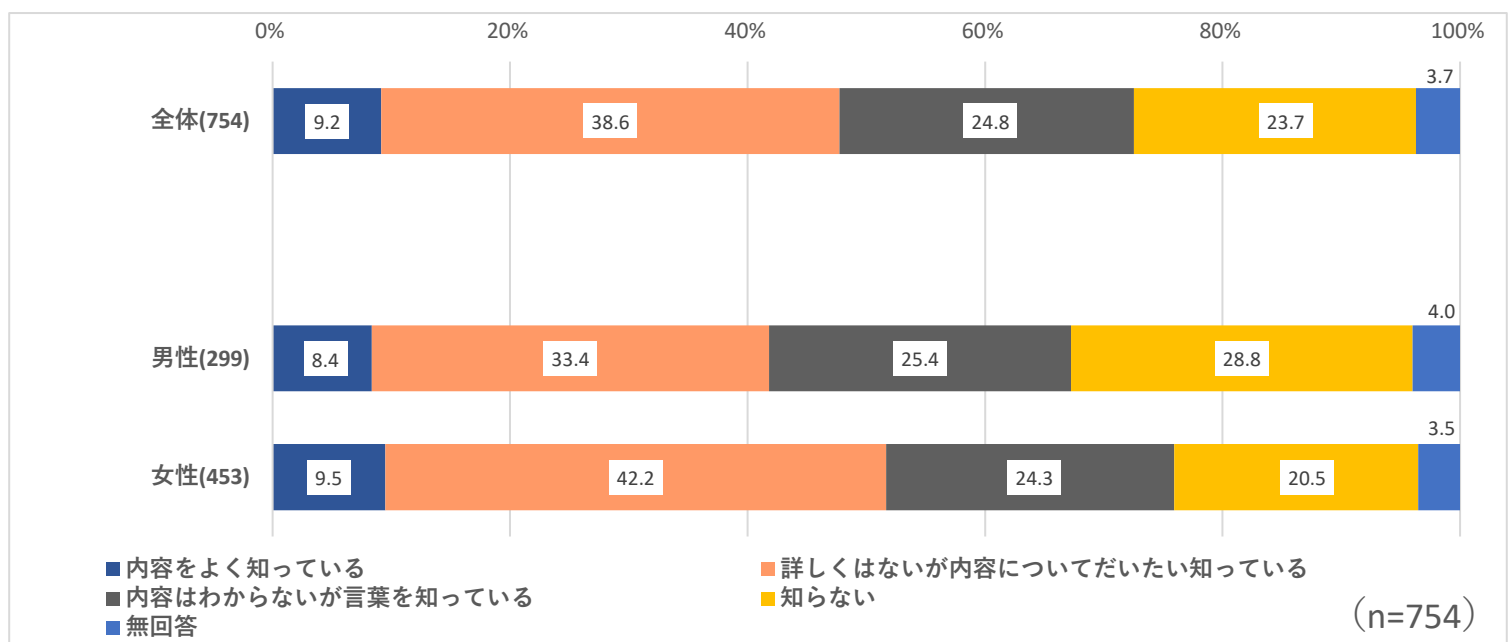
●性別にみると、男女とも「知らない」が過半数を占めている。男性は「詳しくはないが内容についてだいたい知っている」が14.4%と女性（7.3%）より比較的高くなっている。

【e. 大分市配偶者暴力相談支援センター】



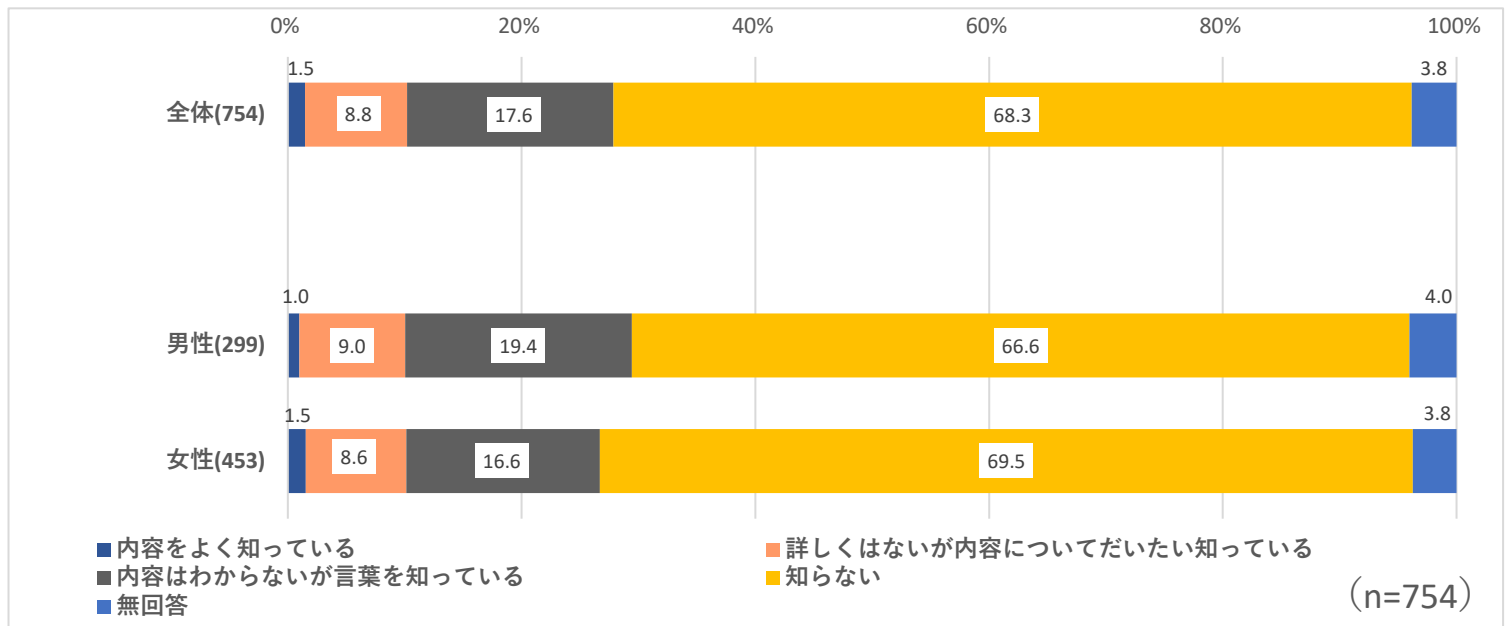
●性別にみると、男女とも全体とほぼ同様の結果となっている。

【f. ジェンダー(社会的・文化的につくられた性別)】



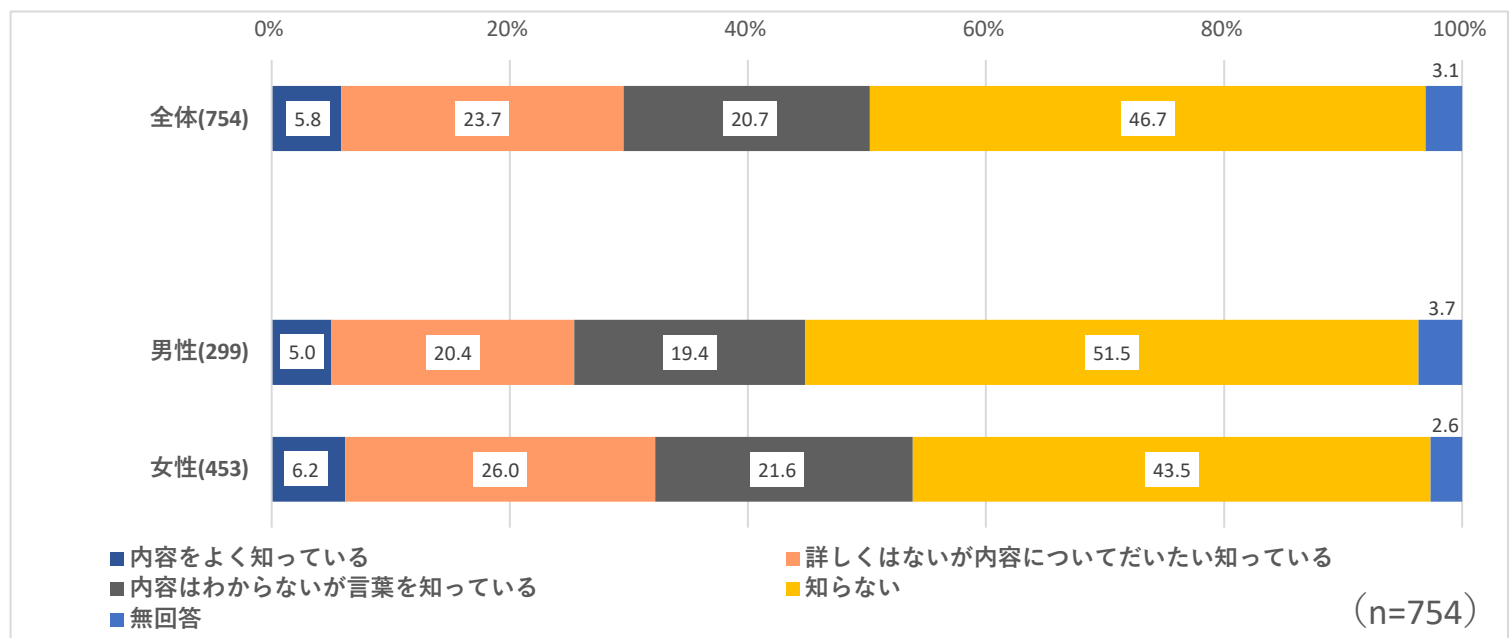
●性別にみると、男性は「詳しくはないが内容についてだいたい知っている」が33.4%で最も高く、次いで「知らない」(28.8%)、「内容はわからないが言葉を知っている」(25.4%)となっている。女性は「詳しくはないが内容についてだいたい知っている」が42.2%と男性よりも比較的高くなっており、「知らない」は、20.5%と男性(28.8%)より低くなっている。

## 【g. ジェンダーギャップ指数】



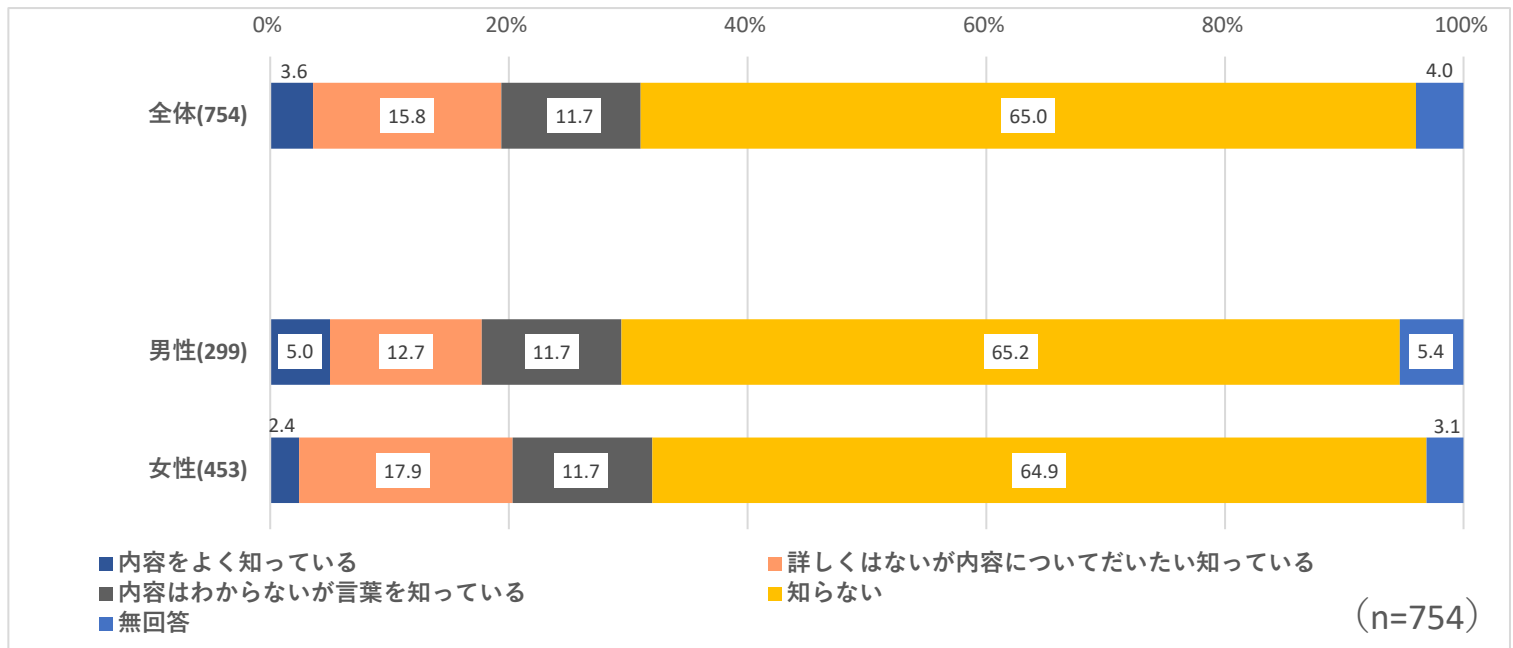
●性別にみると、男女とも「知らない」が最も高く（男性66.6%、女性69.5%）、次いで「内容はわからないが言葉を知っている」、「詳しくはないが内容についてだいたい知っている」となっている。なお、男性は「内容はわからないが言葉を知っている」が19.4%で、女性（16.6%）より高くなっている。

## 【h. デートDV】



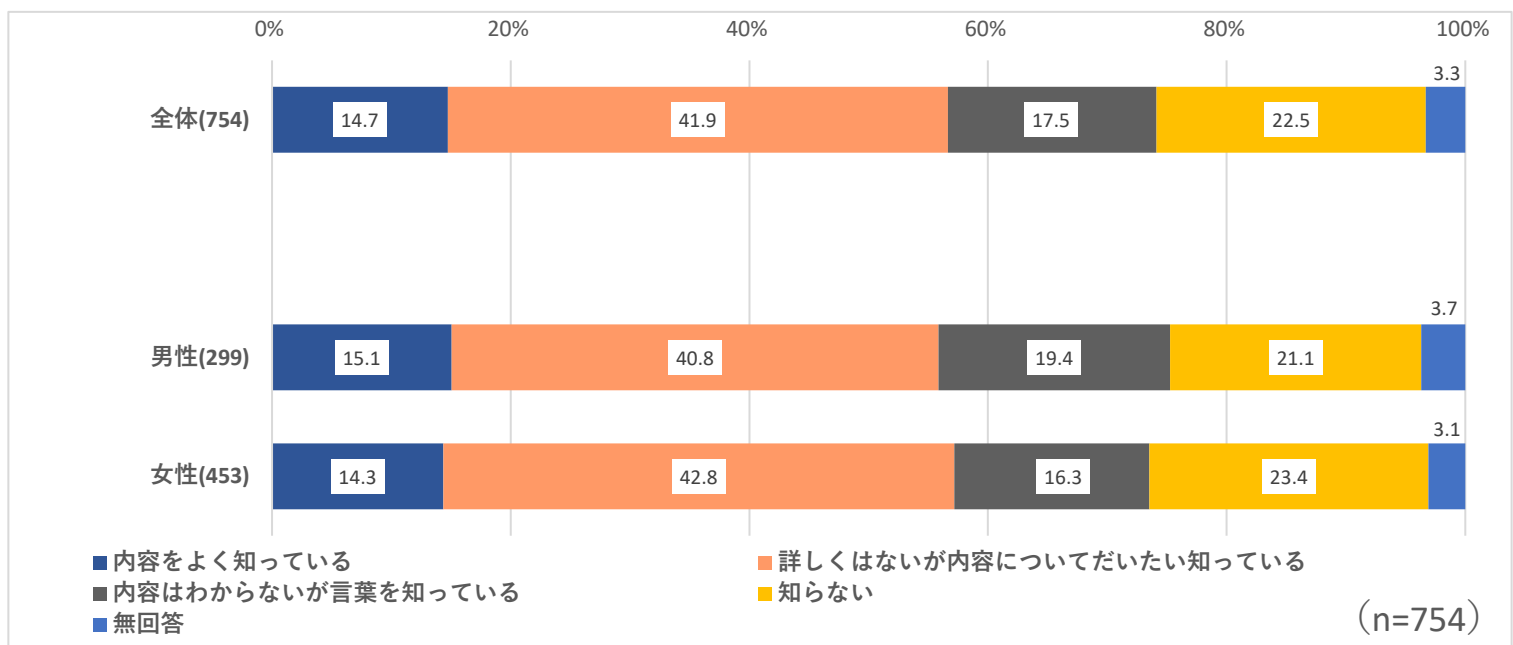
●性別にみると、男性は「知らない」が女性より高く（男性51.5%、女性43.5%）、女性は「詳しくはないが内容についてだいたい知っている」が男性より高くなっている（男性20.4%、女性26.0%）。

### 【 i. 面前DV】



●性別にみると、男性は「内容をよく知っている」が女性より高く（男性5.0%、女性2.4%）、女性は「詳しくはないが内容についてだいたい知っている」が男性より高くなっている（男性12.7%、女性17.9%）。

### 【 j. LGBT(性的少数者)】



●性別にみると、男女とも全体とほぼ同様の結果となっている。



## 男女共同参画および女性問題等に対するご意見

- 他の事で手一杯で、男女共同参画については日頃考えていない。(40代・男性)
- 昔に比べて、女だから、男だからという考え方は少なくなってきた気がします。男女平等な社会に近づいていく社会になればよいと考えてます。(50代・女性)
- 女性の社会進出は進んできているとは思いますが経済的に共働きをしないといけない状況にあるのではないかと思います。進出することが本当に良いものなのか少し疑問に思う時があります。(30代・女性)
- 過剰に、「日本は男女平等ではない」と言い続けるマスメディアにも問題がある。(40代・男性)
- 世界中、どこに行っても永遠のテーマだと思います。(60代・男性)
- 男性と女性とか性別を問わず、1人ひとりが得意とする事、長所を活かして、協力し合える社会づくりが出来るといいなと漠然とですが、思っています。(50代・女性)
- まず、家庭内から。(60代・女性)
- 男女共同参画や男女平等を推進し議論を進めていく上で、男女の質の違いが忘れられている面があり、違いを踏まえた平等の実現・理解が必要である。(60代・男性)
- 男女共同参画…このアンケートでもう1度考えてみました 女性に対してのサービス（育児も含め）は充実してきたと思います。（今、50代女性の私です）女性の生き方も多様化して生きやすくなったと思うのですが、逆に生きにくく感じてもあります。（男は仕事、女は家庭が一つの正解ならそれに入れればOKで安心できていたのがなくなり正解がなくなったので…）しかし、正解がないのなら、多様化する生き方をお互いが世の中が尊重しあえばよいのに、そうではない世の中を感じます。その人にあった仕事に出会えて、続けられ、事情があっても変化があっても、その事をよいことにできる…それを周囲の人や社会がサポートできることが大切だとも思います。私自身もいろいろあってもうすぐパートを辞めますが、本当は働きたいです。働き続けたい。(50代・女性)
- 理論としては正しく長期的には実現させていくべきことであるが、そもそも男と女という性差 体力差、意識差が根底に存在する中でコンセプトだけが先行して実態が追いついていない 女性をことさら差別するものではないが、やむを得ない格差が存在するのも事実ではないか 何もかも男並みを求め 都合悪いときのみ女を叫ばせるのもおかしな現象 男女平等は大いに結構だが完全に実現させることも困難だという前提に立つことも必要ではないか。(60代・男性)
- 女性が多い職場だが昇進していくのは男性でどんなに成果をだしてもいっさい給与にははんえいされず、事務は自家からかようなのが前提の給与なので、一人暮らしができず自立ができない。両親が亡くなり一人暮らしとなると貧困層にあつという間になり、病院にもいけなくなるだろうからと、現在もあまり無駄使いをしないような生活をしている。(40代・女性)
- 男性女性は本来ちがうと思う。今は男女平等というよりも、女性に男性のようになれるといっている社会のようだ。男性に、女性のようにになれるというと、嫌がると思う。何でも出張のほうがいいというわけではない。画一的を目指すのではなく、陰陽、強弱、明暗、どちらも同じ、認める、調和である。善悪も優劣もない、男性は男性として産まれようと選んで産まれたのでない、それで優れているというのなら、きっと日頃常に劣等感にさいなまれてる、救うのは女性だけではない。(40代・女性)

- “男女共同参画”という言葉はよく聞くが（使われるが）言葉からのイメージがわかりにくい。(50代・女性)
  
- 「男だから強くありなさい、女だからおとなしくしなさい」という言葉をよく聞くが、このような言葉でつらい思いをするのは女だけでなく男もだと思ふ。私は力が強いが、よく男性から「女性はそんな重い物を持たなくていいよ」と声をかけていただく事がある。が、その男性の方が力がない事も多々ある。男だからこう、女だからこうだと思わず、人として間違っていない生き方をして、「それ」が得意な人間に「それ」をまかせられる（力仕事で得意な人、人によりそののが得意な人等）社会になれば、皆が生きやすい世界に少しでも近づく事ができないかな、と思います。男女の平等を妨げているものは、男、女、ということではなく、理解をせずにいる人全てだろうと考えます。あと、セミナーのような会は関心がある人が参加すると思うので、関心のない人にも知ってもらえる何かがあるといいなと思います。(30代・女性)
  
- 今回始めて聞く内容も多くありましたが、男女共によりよい、すごしやすい環境を作って頂きたいと考えます。大分市がよりよい住みやすい場になるよう、よろしくお願いします。(40代・男性)
  
- より良い活動のために、多くの工夫をしてくださりありがとうございます。日本は、他の先進国と比べ、女性への敬意というものが足りない気がします。又、若い人には、他者に対して敬意を払うということを覚えなさいといけないのではないかと場面をよく目にします。社会全体でそのような教育が必要なのではないかと思ふし、女性も敬意を持たれるような存在となるよう努力が必要だと思ふ。(50代・女性)
  
- いつの日か男女共同参画と声たかだかと言わなくても良い社会になるといいですね。すべて男女平等とは言いませんが線引なしの世の中わざわざ取り上げなくても良い社会。まあでも日本人の根底にはいまでも女の方が下と思っている男性はいると思ふ。特に高齢者は特に。(60代・女性)
  
- 女性・男性だからといって、強要するつもりはないけど、いろいろなことに対する理解があればいいなと思ふ。(18代・女性)
  
- ボトムアップでは浸透、定着しづらい・トップダウン（…行政国 e t c）での推進、行政提供（？）のメディア、o r 地方局を通じての取り組みの継続的発信・学校、職場での学習の機会、職場においては、人事評価 e t でのひも付けをしての取り組み。対価なし、評価なしでの学習の機会的理解が進みにくいのではないかと。（他人事ですませかねない）男女共同参画に限らず、諸々の社会問題の時代感覚に乏しい人が管理職 o r 経営者である事がマイナスであるという風潮、情報発信が必須なのだろうなど。机上の学びに終わせない。(40代・男性)
  
- 男女共同参画という言葉そのものが、少し抽象的な感じ（かたい感じ）がするのですが…どの世代にも意識しやすい（自覚しやすい）言葉があるといいですが難しいですね。(60代・女性)
  
- 男性でなくてはできないこともある。また女性でなくてはできないこともある。それらをふまえたうえで、男女に対し、平等な社会であることを望みます。(50代・女性)
  
- 男女平等、男女平等と、女性が被害者意識ばかり持って、過剰反応するのも、どうかと思ふ。学校での「くん」付けよび禁止など、大変おかしい現象です。(40代・女性)
  
- 始めて言葉を聞いて30年がすぎました。そのころに比べれば、ずいぶん女性の追出ができてると思ふますが… まだ、昭和の男性の考え方（古い？）が根付いていますね。同和問題（古い？）のように男女間の差も、なくなっほしいです。※問い数が多かったです。(50代・女性)



- 考えすぎず、答えることが大切だと思ったのですが考えすぎて、よくわからなくなってしまいました。申し訳ありません。ものごとをことばがむずかしくしてしまっている感じがしました。新しいことだけでなく、目を向けるところをもう一度見直したい。差があると思っていたが、改善されているところもたくさんある。逆に自分が決めつけてしまっていないか、よくないと思い込んでいないか考え直す必要もあるかもしれないと思いました。(30代・女性)
- 日頃、何気なく使っている言葉、例えば“御父兄様”“うちの主人が…”等を耳にするにつけ、男女共同参画は意識改革からかななど思ってしまいます。ささいなことのようにですが、言葉にも違和感を感じてしまいます。(60代・女性)
- 歴史的、社会的背景があるので解消はなかなか難しいのではないかと。(70代・男性)
- 戦時中生まれの方の考え方としては、現在の男女共同参画（平等）は考えられません。時代の移り変には出遅れています。今の時代の流れの大変（変化）を感じています。家庭の在り方と男性の立場は、いつの世にも変わってほしくないです。(70代・女性)
- 男女共同参画に関わることなのかわかりませんが、日頃知人の夫や妻のことをどう呼べば良いのだろうかと思うことがあります。夫ならご主人、旦那さん、妻なら奥さんと呼ぶでしょうが、納得できず、仕方なく使っている状況です。主人というと、どうも上にいるような感じで対等とは思えない。対義語を考えても、主人⇔召使、家来、旦那⇔奉公人というイメージをしてしまい、しっくりこない。しかし、他にあてはまるような言葉がわからない状況です。奥さんというのも家の中にいる人というイメージがあるので、これもしっくりこない。なぜ、父母には尊称の言葉があるのに夫妻には尊称が無いのでしょうか。・夫婦別姓はなぜ実現しないのだろうかとも思います。旧姓が表記できるのは知っていますが、姓をかえないといけないのは変わらない。今まで、同姓にすることが都合が良かった。当たり前だと思っているのではないかと思います。結婚した場合、姓を変えるのは、ほとんど女性である点が問題だと思います。もちろん、人によっては苗字を変えたいと思う人はいると思います。そうではなくて、変えたくなくても、変えざるをえない人もいるのではないかと考えてみるのも必要だと思います。極論ですが、どちらかの名字にするのではなく、いっそのこと新しい名字にお互いするという選択肢もあっていいのでは無いかと思います。・今はあまり無いのかも知れませんが、「女性ならではの視点」「女性ならではの気づき」「女性ならではのアイデア」など、こういった言葉に違和感を持つことがあります。「男性ならではの…」というのは聞いたことがありません。性別で判断すべきでは無いと思いつつ、わかりやすいカテゴリーでくくってしまうというのは、自分も含め無意識に行っているのかもしれない。(30代・女性)
- 共に1人の人間としてお互いが思いやりの心を持つ事が大切であり、そして男女共に話し合う場が必要だと思います。(50代・女性)
- 「女らしく」「男らしく」という考えでなく「人として」という考えを持つ世の中になってほしい。(20代・女性)
- 男女平等…とても大切だと思います。ただ、体力的な問題で、どおしても男性には勝てない面があるのは確かでお互いに尊重しあい協力していける社会になるといいなと思います。(30代・女性)
- 男女共同参画と言いながら、いつも女性目線での優遇措置の話が多い。本当に同等に働きたいと考えているのか（残業や休日出勤も同等にこなせるのか）。実際に男性と同等に仕事をしようとしている人とそう考えていない人の割合を知りたい。(50代・男性)
- 男女の伝統的性規範は歴史に裏打ちされた信頼に足る一面もあるのですが、無闇に排斥すべきではないと考えています。(30代・男性)

- 男女平等とは何でしょうか。昨今の男女平等は男性と同じことを女性に求め、男性は女性と同じことが出来れば良いという風潮になっているように思います。学校では、重いものも平等、かけっこも平等、職場でも平等にこだわりすぎて力仕事も出来ない男性が増えと、男女の身体・精神など二の次。平等になりすぎて偏りがあるように思っております。(50代・女性)
- だいぶ男女平等になってきたと思うがまだ課題はあると思う。女性を大事にできる社会になってほしい。(40代・女性)
- 基本的にこの設問らは男女の役割の固定概念を捨て切れていない 何故男女で区切るのか、そもそもそんな社会だからという背景があるのは理解できるがそれにしてもこの設問は「女性をもっと支援すべき」という物を強く感じる。女性だけが負の何かを感じているわけではない。男性も必ず感じているはずであり、男性優位な社会だから男性の性被害は目を瞑っても良い訳ではない。男女共に同様の性被害が起きている筈である。女性の保護に焦点を合わせ過ぎていて男性の保護に関する設問がない事に非常に「性別による落差」を感じる。最後の方にLGBTQ+の設問が出たがこの設問を受けて何を知りたいのか理解が出来なかった。最初の設問「性別その他」はLGBTQ+を意識してだと思うがLGBTQ+に対する社会的なものに関する設問がないのは如何な物かと。それらの見解や理解がないまま設問を設ける事はナンセンスであると感じる。DVは女性が受けるものの様な固定概念があるのであれば捨て去るべきで男性も受けている事を忘れないで頂きたい。付随してLGBTQ+に対する認知や補償制度もほぼ皆無である事やセクハラがある事も知って頂きたい。以前「生産性がないため同性婚は不要。援助をする必要はない。」と言った公人の発言などはまさしくLGBTQ+への性差別でありハラスメントである。男女共同参画にLGBTQ+を織り込むならば既に時代遅れであると感じる。(30代・その他)
- そもそも女性がどのような点で実際にどう差別されてしまっているのか、というところを厳密に定義していかないと、表面的な政策で終わってしまうように思う。(20代・男性)
- 男女共同参画は重要な事柄だが、それぞれの性質を無視して平等を目指すのは無理があると思う。大事なのは企業の人員のバランスを平等にするとか外面を取り繕ったものではなく、正しく異性を理解し、それぞれの折り合いが付く点を探ることが大事。(20代・男性)
- 未婚で子供もいないので会社の中で感じる事しかわかりませんでした。私の会社は男性が多く、女性は1割程です。50代の人結構いて、これは女性の仕事と決めつける所が結構あります。しかし、若い方は理解が有る人多いように感じます。(40代・女性)
- 世間が男女平等と言っていますが、「女性が男性を守る」「女性が男性のために戦う」「女性が男性の重い荷物をもってあげる」という考えが浸透していません。これでは男性だけに苦勞させようとしているのでは？テレビドラマ等でも、「貴方は、私が死んででも守る」「君のために優勝するよ」「荷物持ってあげようか？」というセリフを女性が発することは、ほぼありませんし。昔で言う「男性の楽」だけでなく、「男性の苦勞」も女性にさせるべきだと思います。私も男として、女性に守ってもらいたいです。(18代・男性)
- 男女平等は大事なことだと思うが、無理に仕事をさせようとしたりするより、家庭で頑張りたい人には家庭で過ごさせるなど本人が、自由に選択できるようになるとよいと思う。(20代・男性)
- 支援をして欲しい。お金にそうとうこまっても、国も市も助けてくれない。その為子供を産むこともなやんでしまう。(30代・女性)
- 女性の生き方は以前より優遇されて来た様に感じるが”母親”の生き方は今も昔もさほど変わりなく…女は子どもをもつと自分の人生のほとんどが”子どもの為”のものになる。男性にはそこら辺を察して家庭を守って頂きたい！(50代・女性)

- 30才位の子供がいますが、未婚です。今の若い人は男性も、家事、育児に参加されている様ですが、やはり、仕事内容から、協力できないし、小さい頃から、共働きでない両親をみて、女性は家の事をするという家庭での教育が、できませんでした。子供は、料理、洗たくかたづけなど、できません。小さい頃からの教育方針など、考えないと、大人になって、やりなさいとは、無理でした。男の子なので、あまり、させなかった家事を反省しています。(50代・女性)
- 今働いている職場は子育てで有休を使うことに理解のあるところで助かっていますが、女性の管理職は0で昇進も男性に比べると低いです。子育て世代の女性はその期間昇給もほとんどなく、差別なのでは…と感じてしまいます。周りの女性も結婚、子育てをするより、仕事を選ぶ人の方が多く、そちらの気持ちがよくわかります。(40代・女性)
- 男性は、割りと、制度を利用している人も多し、充実した生活の方は、多いと思います。スーパーで働いているので、男性が育児用具をよく買っているのを見かけます。大分は、積極的な男性が、多いと思います。(40代・女性)
- 男女平等と言っても、大きな事を変えていくよりも家庭内で男性も家事を今までより多く（たとえ5分でも今までよりする）など 小さな事から意識する事がまわりまわって社会が変わっていくという事だと思う。(30代・女性)
- 職場で女性がよく子供が熱が出たとかでよく休みをとったり早退したりするので、仕事の負担が増える事が有ります。文句を言ったりする事もないし、大変だなと思いますが、旦那さんにたのめないのかなと感じる時も有ります。(30代・男性)
- 出会いの場作りとかではなく、結婚したくなる、結婚に誘導されてしまうような魅力的な行政の施策に期待します。出産、育児への支援（保育士の待遇改善児童育成クラブの充実等も含む）ひとり親家庭への支援も充実させて頂きたいと思います。(50代・男性)
- 男性だから女性だからではなく、ジェンダーも含めて一人の人間としてまず考えるべきだと思います。逆DVの話も聞きます。今は、なんでもありの時代でもあり女性も一人の人間として頑張り生き抜けば、精神的にいい人生をおくることできるはずです。誰かに頼るのではなく、結婚してもしなくても、子供がいてもいなくても、自立して、生きるための精神力と経済力を身につけるための教育や環境が必要と思っています。若い女性は特に結婚→バラ色の人生を夢見ているがちですが最近の中高生でも大変しっかりとした意見を持った方が多いのも嬉しいことです。バカげたT・V番組に影響されることなく女性も男性もまずは人として自分をしっかり磨いて欲しいものです。(60代・女性)
- 男女平等と言っても、その教育を受けてこなかった年代の方々は、なかなか意識ができないと思いますが、子どもの頃からそんな教育を受けてきた若い世代の方々中心の世の中になれば、それがあたりまえになるのではないかと思います。(50代・女性)
- あらゆる面において男女平等である事が必要である。いろんな面で昔の考え方を変える必要がある。親がしっかりして子供を育てる必要がある今は親も子も野放しの状態である教育が必要である。(70代・男性)
- 男女平等の社会を目指すには、男性女性共に学ぶ必要があると考えます。男性は稼いでこそ家事育児なんてしなくていいと考えるのは、年配の女性にも多く見られるように思いますので。未来を歩む子どもたちに平等を教え込むより、今いる大人たちが少しずつかわっていくその背中をみせることも重要なのかなとそう思っています。(20代・男性)

- 能力を認めて十分に働らきやすい環境をつくる事が大事。日々の活動をきたいします。(70代・男性)
- 女性に対する就労支援、賃金、労働時間等一人で生きていく者も多くなるのもっとサービスや手当てを充実させて欲しいです。両親の介護も結婚して家を出た長男より実家で面倒を見る女性の方に負担がかかりすぎる場面があるので独身者に対する介護サービス等あれば良いなと思います。(40代・女性)
- 女性が就業しやすく、十分な収入を得られる環境づくりを強く望みます。(30代・女性)
- まだまだ会社でも家庭内でも女性の負担は大きいと感じます。若い人はかなり男女の格差はなくなっていますが、50代60代~からの人達は女性の役割が大きく負担があると思います。定年後の男性がもっともっと外で活躍できるように家にひきこまらないようにしてほしい。(60代・女性)
- 親の介護について 男女関係なく同じ子供で財産もほぼ等分になるのに、介護を受け負う子供とそうではない子供がいることは非常に不平等だと思う。介護も病院で即亡くなる場合もあれば10年以上も長々と面倒見る場合もありピンキリ。こういうことが今の法律に反映されていないことが不平等だと思う。介護のある人生とない人生では月とスッポンです。(60代・女性)
- 男性が高齢者の介護について理解して欲しいのと目を向けてほしい。お年寄りの考えや気持ちをうけてとめてほしい。女性の気持ちを全面的にうけとめてほしい。(30代・女性)
- 私は、62歳ですが、やはり介護は、女性が主になってしまいます。主人は自分の母親でもイヤがります。面会にも行きませんし。残念ですが。(60代・女性)
- 「ぼけますから、よろしくをお願いします」は、ずい分前友達と行きましたが、後で食事をしながら、あんなふうにはならないようにしようねと話したことでした。82歳になっていますが、町内・校区の役員を7つほどやり、腹話術のボランティア、習いごとなど、で毎日忙しくしています。ありがとうございました。(70代・女性)
- 高齢になり、介護にも、かかわって生活する様になり本当のきびしさがわかる。一から家族のみでしていないと分らない事も多い。(70代・男性)
- 私ども高齢者は認識がまだまだ低いと思いますが、年代が下がる程、認識は教育の力などで改善されてきていると思います。しかし、政治家等社会のリーダーの一部に認識に欠ける言動があったり、資質をうたがいますが、社会のリーダーの意識改革の取り組みが重要と思います。(70代・男性)
- シニア向けの催事や、講演会などを開催してほしいです。(介護や医療に関する事も)情報がほしいです。(60代・女性)
- 70才すぎて男女共同参画について今まで考えたこともありませんでした。自分が介護される立場に近い年齢になって、子ども達に迷惑をかけたくないという思いで一杯です。(70代・女性)
- 女性だけの問題ではないことも多いので、事更「女性」を強調する表現に違和感を覚える。(40代・男性)
- 男女平等なんて言うけれど、女性への差別等がなくなる限り実現しないと思います。(30代・女性)

- 学生から社会人になった時、男女差別の多さにびっくりしました。男女平等を学校で教えられていたのに、社会のあり方に失望したことを覚えています。現在、改善はされてきていますが、上の世代は差別と気付かず、男女を分けていると思います。もっと女性が政治に関るべきだと強く思いますが、相変わらず、お飾りでしかなく、最近は段々と腹が立つよりあきれてきました。日本はいつまでたってもこのままなのでしょうね。私が死ぬまでには女性の権利がもっと上がると思います。(40代・女性)
- 管理職の数だけを平等にしても意味がない。それぞれの人がキャリアアップを目指したいと思った時に、能力で選ばれる社会になればいい。家庭を第一に考えたいと思う人のことも尊重される社会になってほしい。子を持たない選択も尊重されてほしい。(30代・女性)
- わたしの働く職場では、女性活躍推進が進められており、女性も男性と同じように活躍できる環境が整ってきています。会社全体でそのような風潮となっているため、不自由な思いはあまりないですが、一方で、友人や知人の話を聞くと、まだまだ男女共同参画の観点から、改善すべき点がたくさんあるように感じています。(やはり、職場環境では男性優位が目立ちます。)男性にとっても女性にとっても平等な仕組みづくりを今後もしていただきたいと思います。よろしく願いいたします。(20代・女性)
- 男性と女性が同じ場に集まると、なんとなく女性は男性に譲るといふか、消極的になってしまう傾向があると思います。仕事面では昇給は望むけれど、昇進はしたくないような様子があり、その理由をたずねると、だいたい多いのは“時間がない”“他に考ないといけないことが多く、仕事のことばかり考えられない”というような答えが返ってきます。(40代・女性)
- 徐々にではありますが、女性の活動家や経営者などが増えてきている様に感じています。特に女性を後押しする事はせずに、性別に関係なく様々な機会に女性が関わりやすい社会になっていると思います。女性の社会進出、起用をどんどん取り入れていただきたいと思います。(50代・男性)
- パワハラ、マタハラなどはよく取り上げられる。しかし、今回の質問紙調査の内容をみても、介護をする人の負担などについては、あまり深く聞いていないように思いました。先日も、母(認知症)の受診のために1日お休みをいただきたいと上司に相談をしようとしたのですが、お休み希望について伝えただけで、「勤務表みれば人数が足りないです、わかるでしょう?ムリです」と言われました。お休み希望を出す理由すら聞かれませんでした。広島在住の弟に相談し、弟が休みを取ってくれ大分に帰って来てくれ、受診する事ができました。男女共同参画とはちがうかもしれませんが50才の女性1人で働きながら両親の介護をしている身としては、これが一番の悩みです。(50代・女性)
- 被害を受けた方が独立しない社会を少しずつでも実現して頂けるよう頑張って下さい。(40代・男性)
- 親子関係にて子が精神障害者の場合一方的に暴力をふるって悪いとされるが子としてはつねに料理を作らせられ家の事を父はしたがらず地域では私の不眠症を父が言って隣家へ木を切るのをやめるように言いに行くと私は言っていないことを言って困らせられた老年の父母母は精神の上限にて借金をくりかえしている家庭でもって早く行せいが動いてほしかった父親は妾の子で親がいる苦勞をしらない料理のもんくが異常に多く苦痛であったいつもとつきみあいであった。夫婦別せいについて書いておくが結婚して姓が変わるとおぼえるのが大変である女性から話しかけられ私の事を知っていて姓が変わった事により分からなかったので姓名が結婚してもかわらない方がよい。(40代・男性)

- 子供の権利条約について。国が強制的に1人しか親権者と認めない単独親権を廃止し、共同親権にしてほしい。ニュースで一向に無くならない子供の虐待死事件は単独親権にしている事が原因ではないかと思います。だけではないとは思いますが。（再婚相手の男性に虐待され殺されている子が多い）離婚したとしても、子供は両親2人で養育し、大きな問題のある親（DVやお酒等）からは保護すべき。問題がないのに子供に会えない（面会制限される）親や、お父さんに会えずDVされる子など、本当にどうにかならないのかとニュースを見るたび共同親権の可能性を考えずにいられません。DVについては、子供と動物（大人が守らねばならない存在として共通しています）に対する暴力の規制を強化してほしいです。発言できない弱者（子供・動物）への暴力が、大きな事件となって社会全体に返ってくると思うので、動物が好きでない方、子供のいない方にも自分に返ってくると思って規制してほしいです。（30代・女性）
  
- このアンケートを通して、知らない言葉もたくさんあることを知りました。DV、いじめ、ハラスメントは負の連鎖になり得ると思います。根絶する為には、どうすれば良いか考えなければいけないと思います。（60代・女性）
  
- 健康保険料、税金、教育にかかる授業料等を大幅に減らす→経済的な負担が減って生活しやすくなり、ゆとりができて少子化が緩やかになる→労働時間を減らし、男女とも家庭の時間を大事にする→子育てに時間と愛情をかける→大切にされた子どもが多く育ち、DV、ハラスメント、犯罪の類は減る→治安や働く環境が良くなり、健康な人が増える→犯罪者関連や医療にかかる税金の出費が減る→の繰り返しが良いのではないのでしょうか。今は逆の方向に進んでおり、不必要に不健康な人も増えるので、流れを変えた方がいいのだと思います。（30代・女性）
  
- 子供が虐待されていても、助けられない母親が大勢いること、父親が働かず子供が生活費を払ったりしていること。（18代・女性）
  
- 介護育児を行う方への支援は必要だと思うが、実際の現場では介護育児を行っていない方への負担が大きくなっている現状もある。設問99の施策について、女性とだけ記載しているものがあり、そもそもの時点で男女の格差を感じる設問だと思う。暴力を受けるのは女性だけではないし、貧困や介護に困っているのも女性だけではないと思う。男性への支援が確立しているわけでもないのでは？（30代・女性）
  
- 活動の効果など市報で報告があると身近に感じると思う。（40代・女性）
  
- 男女共同参画の事は大切な問題だと思いますが、私が今一番大切だと思うのは、地域、自地区などが、もう少し、近隣の高齢者や子供たちのことを気にかけてたり、声をかけたりすることが大切だと思います。女性が外で仕事をするのも大切なのだらうと思いますがきちんと、子供を育てて、優しさや思いやる心を子供の成長に必要な心のケアなどが、きちんと出来てから、女性が子育ての後に又、仕事に出ても良い様に思います。まずは、人間であるために大切な、土台を、きちんと家庭を作りあげてからの方が大切な気がします。男女が平等なのは、実は当たり前なのだと思います。平等だと感じられないのは何でなのかということの方が問題だと思います。本人がぶれてるからそんな風に思うのでしょうか？強い思いと意志を持てば、それほど問題はない様に思います。（50代・女性）
  
- 広く一般に向けて活動等もっとアピールしてください。名前や場所を知っていても実際 何をしている機関なのか詳しい事を知っている人は数少ないと思います。（50代・女性）
  
- 男女、年齢に関係なく自由になんでも選択でき、安心して働ける社会になって欲しいです。せめて自分の住んでる地域は人に優しい地域になれるように心がけたいと思っています。（60代・女性）

- 現在の世の中の状況ではなかなか難しいと思うけれどこうして税金を使って事業を行なっていく事に市民、県民にはつきりと分かり易く、結果を見せて下さい。実際、介護に直面している現在、行政が助けてくれる事項を知らない人が、自分も含め非常に多いと思います。行政からの積極的な働きかけを希望します。(50代・女性)
- 強制的に男性と女性の数を半分にする市議、県議、自治会等の組織図。(60代・男性)
- 政策と考えるだけでなく、具体的な対応策をどんどん実行していくことが、変化に繋がっていくと思います。(20代・女性)
- 人を性ではなく、一個人、一人間としての行政の扱い、処置を進めて頂きたい。(40代・男性)
- 興味がある人や、実際困っている人等は、自分から情報収集したり、勉強したりすることもあると思うが、そうでない人たちに理解が広まらないと、問題の解決や、男女共同参画は進まないと思う。そのような人たちに、いかに情報を届けるかが必要だと感じる。(30代・女性)
- 「男女共同」という名前での組織にお伺いすべきかわからないので恐縮なのですが、現在心療内科に通っており、病名も付かず、頂く薬でなんとか10年ほど仕事をしている状況です。このような病名が診断されない「グレーゾーン」と呼ばれる人に対する面談や、在宅ワークなど適性と思われる仕事の紹介などを支援して下さる場所が欲しいです。(30代・女性)
- それを市民に分かりやすく伝える術が少なすぎる CM、YouTube広告、公共施設の看板など。(30代・男性)
- 知らない言葉があることが怖いと思った。知らないが増えると、社会の問題にも意識を向けにくいし、どうすれば社会良くなるのか考えることが減ってしまうなと思った。みんなが社会の問題について知り、考える(みんな同じ考えになる)のは無理だけど、こういうアンケートを通して、少しでも知るきっかけになると思う。何も考えずに過ごしていることが社会をどんどん悪くしてしまうと思うので、仕事や学校など日常的に通っている所や場所で、こういったセミナー??や講義があれば1人でも多くの人に考えてもらうきっかけになりそう。(20代・女性)
- よくわかりません。男女共同参画とうたっていますが、むずかしい気がします。アンケートが多いですが本当に反映されるのでしょうか?突然のアンケートで、びっくりしています。ありがとうございました。(40代・女性)
- アンケートを答えることで、心の中の状態を整理することが出来ました。(私は自営業で毎日主人と顔を合わせているのでなかなか改めて考えを整理するという行動をおこしていなかったのも…)男女共同参画はまだまだ大分の人には浸透していない感じがするので…このようにアンケートを送って意識する企画は良いことだと思います。ありがとうございました。(50代・女性)
- ①女性のうち A働きたくないが社会の変化の中で働く道を選んだ(選ぶしかなかった) B(社会変化が起こる前から)(社会がどのような状況でも)働きたいと思う A:Bの比率が知りたいです。これを調査しているアンケート見たことがない。②DV、セクハラ等が虚偽申告である場合があり各センター機関 申告内容の真偽見抜くノウハウもっているかどうか心配。(40代・男性)

- すみません。今回の調査何の目的なのか内容が良くわかりませんでした。男女共同参画推進プランと言う事はわかりますが、調査を行う前に、もう少し、どういう事で推進しているのか説明が必要かと… アンケート内容では女性目線で作られているので… だいたい全く男女共同参画センターがある事も知りませんでした。無作為にアンケートを出してあるのであれば、こういう活動を日頃して今回この調査を行なって、結果を聞いて、どういう事に役立てるのかとか詳しい説明がいると思います。少し説明が短縮されてるかな？と思いました。(50代・女性)
  
- 調査票の内容を見て、改めて認識を致しました。ありがとうございました。(70代・女性)
  
- 男女共同参画センターの取組についてはまだ知らない事が多いですが、今回のアンケートの協力をきっかけに関心を持ちたいと思います。全くアンケートと関係ない事ですが、私の職場は県の外敦団体にもかかわらず、マスクをしている人としていない人がいて、毎日その事が気になって仕事以上に疲れます。経理事務を担当していますが、周りの人がくしゃみをする度にひまつが気になります。テレビでコロナの報道が必ずあるのに、関心がある人はそれなりに対策をとっていますが、マスクをしていない人に限って相手の事を気を使う事が出来ない人が多すぎる職場です。嘱託職員なので、もっと正社員の人が職場環境を良くしようと思わない限り、今の状態は続くでしょう。大分市のアンケートに書く事ではないですが、誰にも相談できない現状を一人でも多くの人に知ってもらいたいと思って書きました。とり急ぎ、来訪者の消毒、マスクの徹底と職員全てのマスク着用を義務付けてほしいです。(40代・女性)
  
- ありがとう！こういうアンケートはだいじだと思ふし良いと思ふ！(18代・女性)
  
- 男女共同参画センター（たびねす）があるとわかりました。このアンケートで大分市がどう変わっていくのだろう～。よくなって欲しいです。期待してます。みんなが住みやすい大分になってくれたらうれしいです。ありがとうございました。(50代・女性)
  
- 質問に答えることで、社会、日常生活を改めて考えるきっかけになりました。まだまだ知らないことも多いことにも気付きました。(30代・女性)
  
- アンケートの質問がわかりにくい アンケートを封筒に入れにくい アンケートを記入する人の気持ちを考えてない。(30代・男性)
  
- こんなに多くの質問を何人が答えるのでしょうか。考えた方が良いのではありませんか。(60代・男性)
  
- 全く知りませんでした。封筒に入っていた広告で、こんな良い活動があったのかと思いました。私はあまり当てはまるトコがなさそうですが、もっとアピールした方が良いと思います。（こーゆー考えが、少し遠ざけているような感じですね 第三者的な!?) (40代・女性)
  
- 男女かかわらず、あり得る問題かと思えます。また相互に役割も尊敬しあえる事が大切かと！！母の介護をしながら気付かず開いた封筒が先日の事、遅延し申し訳けない。(60代・男性)
  
- アンケートの間が多すぎる。(50代・男性)
  
- 昨今の感染症にかかわる人権問題がクローズアップされ、これまでに、啓発活動を推進してきたにもかかわらず、なかなか人権思想が定着しないものだと思います。そもそも人間の心に形成される妬みや僻みといった感情とどう向きあって生きていくか、という根本を見つめ、どのように生きていくか、永遠の課題かもしれません。よって人は常に学び、研鑽し続けなければならないのでしょうか。(60代・男性)



- せっかくたびねすというセンターがあるのに、仕事の関係で利用できない人がいるのがもったいないと思う。難しいかもしれないが、街中以外にも、同じような施設があると、行きやすい人も増えるのかなと思います。あと、もっと看板などで周知していけたらと思います。(30代・女性)
- 男女共同参画についてあまり知らない。(18代・女性)
- 相談出来ずに悩んでる方が多いと思います。今後1人でも相談しやすい感じにしてほしいです。(50代・女性)
- 返信用封筒はA4サイズにして下さい。(60代・男性)
- 同性婚やパートナーシップ制度を大分でも行ってほしい。私は同性愛者ではないが、同性の友人と結婚できるならしたいと考えている。そこに同性愛はなくとも、友情婚をして、精子バンクで子を授かってうめば、2人の母で育てることができるし、正直みずしらずの男性と結婚するより幸せだと思う。少子化の解消にもつながるのではないか。DVもへると思うし、男性の育休が～など考えなくていい。別に結婚にエロ的な愛はいらぬ時代なんじゃないかと思う。アガペーの愛でも子は育てられる。男性も、そうしたいと考えている人がいると思う。そういった男女のありかたもアリなんじゃないでしょうか。(20代・女性)
- 毎日の生活そのものがとても忙しく特別に意識することはほとんどありません。(50代・女性)
- 言葉ばかりで内容がはいってこない。いいように言葉をならべているだけで実際それが自分にどのように影響しているのかよくわからない。(30代・女性)
- 風俗や、売買春をしなくてもいいようになれば、女性への偏見や、役割を押しつけられる事もないのかなと サービス等(受付等)に男性を積極的に登用、性産業の取りしまり、技術職等に女性を誘致、「男の仕事」というものの解体。  
※「たびねす」のHPがありません、見つかりませんでした。また、ネット回答しようにも応答がなく、出来ません。ちゃんとした所ではないのだなと感じました。FBはメジャーでないでHP、他SNS等があるといいかと。  
(30代・女性)
- 一刻も早く選択制夫婦別性を導入してほしい。実際、女性が男性の苗字に変える事が普通という世の中の意識がある。苗字の変更したくなく結婚をためらった事は事実です。夫婦が同じ苗字と言うのは私達世代にとって違和感でしかなく、一層少子化が進むと思います。(30代・女性)
- 性別だけでなく、年齢・出身地(国)・健康状態などで人が区別されるべきではないと思っています。女性や障害を持っている人を優遇する社会ではなく、困ってる人がいたら自然にその都度手を差しのべられる社会になってほしいと願っています。法置国家とは言っても、家族・友人・同僚など身近な人に全員が親切にすることができれば、本当は必要ない法律なので、本当に残念で情けなく感じます。これからも真の平等な社会に少しでも近づくよう願っています。  
(30代・女性)
- コンパルホールの2階に、「たびねす」が、できたことをこの調査で初めて知りました。とても、心強いと感じました。どうぞ、よろしくお願いします。(60代・女性)
- 何んでも人権でくくらずに人権尊重と、民俗学の知識は、区別して取扱って下さい！六曜などは民俗学的分野であり過度な差別とくつつけるやり方はおかしい！！(50代・男性)
- 知らない事ばかりで、何かの時は利用したいです。(50代・女性)

- 九州には男尊女卑の空気が残っている。人々には力関係で上下を判断する意識がある。社会には勝ち負けで勝者敗者を決定する経済ルールがある。人々はこれらを根本的に馬鹿げているということを学習しなければならない。命の役割とは何かという大切な点を近代社会は見失っている。(70代・男性)
  
- なかなか各家庭の事等に入り込むのは、非常に難しい事ですが啓蒙活動等で周知していくしかないかと思います。特に地域（近隣）の目は大事かなと思います。とはいうものの、その近隣で問題もあるようなので何が正解なのかは分かりません。人の考えていることですから…。(40代・男性)
  
- 幼少期の頃から高齢者に至るまであらゆる場面で学びが必要だと思います。また、学びだけでなく、安心して話せる場づくりももっとあって欲しいです。困ったらいつでもおいで！と昔ありましたが、あらゆるジャンルで悩んでいる方が多いです。特別でなく、気軽に相談できる人の認定をして欲しいです。私は、ガールスカウトのリーダー、保護司としての活動をしていますが、お手伝いできることがあれば喜んで致します。いつでも声をかけて下さい。(50代・女性)
  
- コンパルホールの2階でセンターがあった事を知らなかった。15日の映画上映頑張ってください。(40代・男性)
  
- 大分市の発展のためのご協力はさせていただきます。男女が平等に生活出来る社会を願っております。(50代・男性)